SONY

3-866-152-**02** (1)

ミニディスク AVレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MD DISCAM SNAP & EDIT　Video MD

MD DATA2　Mini Disc　InfoLITHIUM L

DCM-M1

SONY DCM-M1

目次

必ずお読みください

本機でお使いになれるミニディスクは

MD DATA2ロゴ：左のロゴのついたMD DATA2ディスクをお使いください。
MD DATAディスクはお使いになれません。MD VIEWはMD DATA2ディスクのソニーの登録商標です。

MiniDiscロゴ：左のロゴのついた音楽用ミニディスクは再生のみお使いになれます。

お使いになる前に

ためし撮り
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。
万一、ミニディスクAVレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について
あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真やイラストについて
液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
また、イラストも実物と違うことがあります。

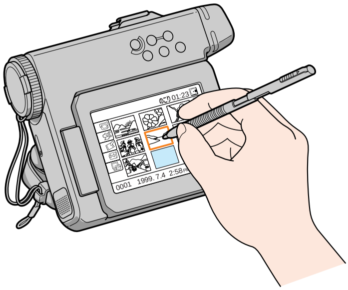
液晶画面、ファインダーおよびレンズについて
液晶画面やカラーファインダーは非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがありますが、故障ではありません(有効画素99.99%以上)。これらの点は、ディスクに記録されません。
液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

こんなことができます

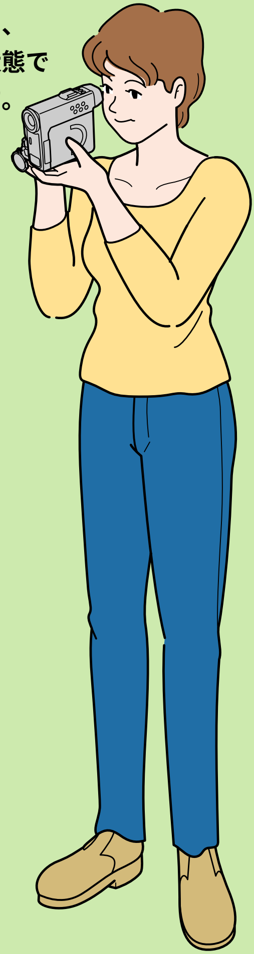
本機はMD DATA2**ディスクに、動画を**SP**モードで最大**10**分または**LP**モードで最大**20**分、静止画なら最大**4,500**枚、音声だけなら最大**260**分記録できるミニディスク**AV**レコーダーです。**

液晶画面で好きな画像をタッチすれば、すぐにその画像を再生します。
36**ページ**

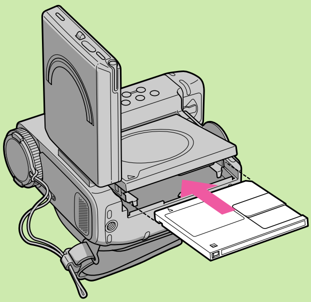
液晶画面上のメニューなどを押して、再生・編集できます。



両手で支え、安定した状態で撮影します。



ディスクは底から入れます。
22**ページ**

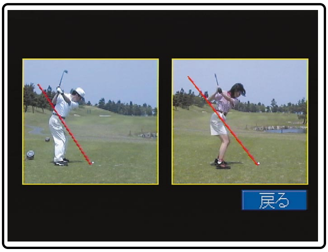


MDならではの機能を楽しめます。

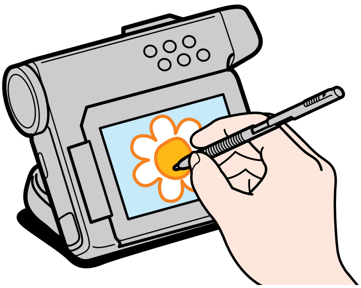
デジタル映像編集機能
（74ページ）



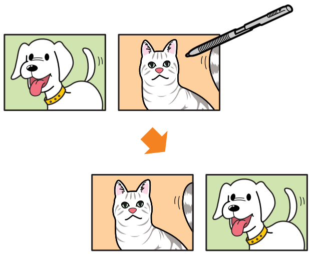
撮ったその場ですぐチェック
（57ページ）



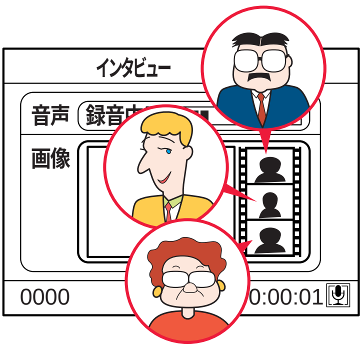
画像に落書き（98ページ）



画像の入れかえや削除が簡単
（81、83ページ）



静止画3枚を入れて長時間録音（インタビュー撮影 43ページ）



音楽用MDを聞く（122ページ）



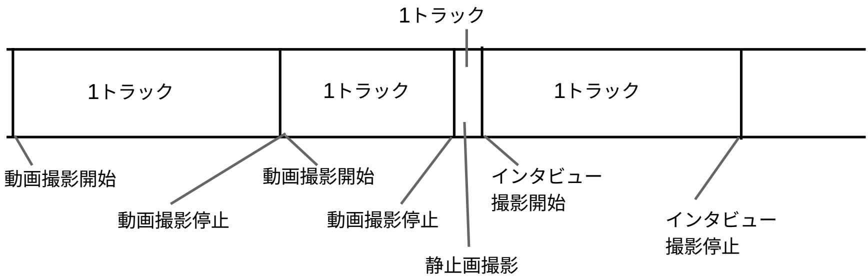
「トラック」ってどういう意味ですか？

ミニディスクに記録される画像や音声の区切りを「トラック」と呼びます。1トラックの長さに決まりはなく、録画または録音した時間の長さによって変わります。

- 動画の場合は、スタート／ストップボタンを押してから、もう一度押すまでの間に記録された画像が「1トラック」です。(ただし、地面撮り防止モードのときは、スタート／ストップボタンを押している間が「1トラック」になります。）
- 静止画の場合は、1枚が「1トラック」です。
- インタビュー撮影の場合は、録音ボタンを押して録音を始めてから、停止ボタンを押して停止するまでが、その間に入れた静止画を含めて、「1トラック」です。
- 自分で作ったタイトル画面や、落書き画面も1画面が「1トラック」になります。

各トラックには自動的にトラック番号が付きます。さらに自由に名前をつけることもできます。

ディスク内では、下図のようにトラックが並んでいます。インデックス画面には、トラックの長さや種類にかかわりなく、1トラックが1画像で表示されます。



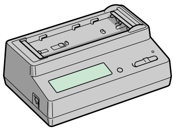
画像や音声の編集は

トラック単位で行われます。したがって、画像や音声を移動／削除／コピーすると、トラックが移動／削除／コピーされます。

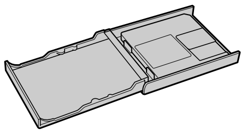
付属品を確認する

次の付属品がそろっていることを確認してください。もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店またはソニーテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

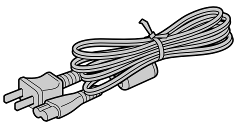
- ACアダプター／チャージャー
  AC-VQ800（1）



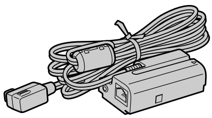
- MD DATA2ディスク
  MMD-650A（1）



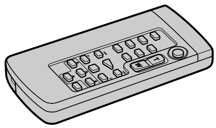
- 電源コード（1）



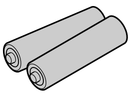
- 接続コードZK-ET1
  （1）



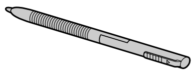
- リモコンRMT-DCM1
  （1）



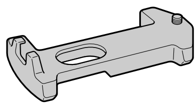
- 単3型乾電池（2）



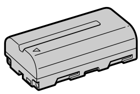
- 入力ペン
  （1、本体に装着）



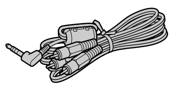
- 三脚アタッチメント
  （1）



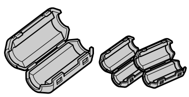
- バッテリーパック
  NP-F550（1）



- AV接続ケーブル（1）



- フェライトコア
  （大×1、小×2）



- レンズキャップ（1、本体に装着）
- 取扱説明書（1）
- 保証書（1）

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

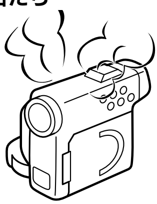
故障したら使わない

ミニディスクAVレコーダー本体やACアダプター／チャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

不具合が生じた場合に備え、お手近なコンセントを使用してください。本機をご使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

変な音・においがしたら、煙が出たら



❶ 電源を切る
❷ バッテリーをはずすか、電源プラグをコンセントから抜く
❸ テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電　指挟み

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止　接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く　強制

警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により
死亡や**大けが**の原因となります。

運転中に使用しない

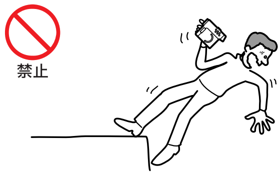
- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、撮影／再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- 自動車内に置くときは急ブレーキなどで本体が落下してブレーキ操作の妨げにならないように十分にご注意ください。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。





撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。
事故やけがなどの原因となります。



分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。特にACアダプター／チャージャーや液晶画面には高電圧回路が内蔵されており危険です。また、ミニディスクAVレコーダーに使われているレーザーが目にあたると危険です。絶対に自分で分解しないでください。
内部の点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACアダプター／チャージャーをコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。



つづき

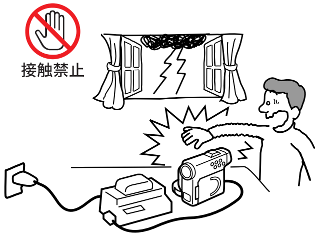
⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

雷が鳴りだしたら、使用しない

遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにご使用を中止してください。
屋外で使用時は、安全な場所へ避難してください。



持ち運びのときに振り回さない

ショルダーベルトやグリップベルトに手を通したまま本体を固定しないで持ち運ぶと、本体に衝撃を与えたり、ドアにはさまったりして故障やけがの原因となります。持ち運ぶときは、手でおさえるか、かばんに入れるなど固定してください。

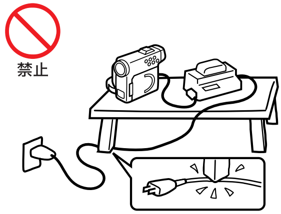


電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、テクニカルインフォメーションセンターに交換をご依頼ください。



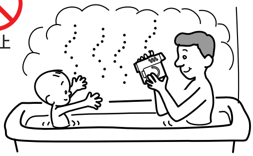
⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

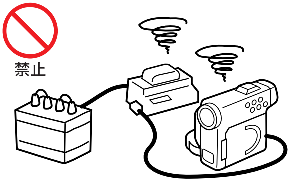
禁止



指定以外のACアダプター／チャージャー、カーバッテリーアダプターなどを使わない

破裂や液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止



ぬれた手で電源コードやACアダプター／チャージャーをさわらない

感電の原因となることがあります。

禁止



長期間使用しないときは、電源をはずす

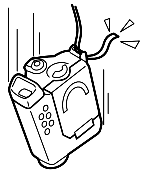
長期間使用しないときは電源コードやバッテリーをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

バッテリーやショルダーベルト／グリップベルトは正しく取り付ける

正しく取り付けないと落下によりけがの原因となることがあります。また、ショルダーベルトやグリップベルトに傷などがないか使用前に確認してください。万一、傷などがある場合は、テクニカルインフォメーションセンターにて交換をご依頼ください。

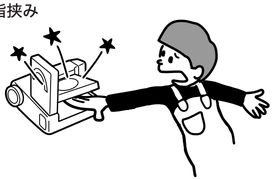
禁止



幼児の手の届かない場所に置く

ディスクやバッテリー取り出し口、駆動部に手をはさまれ、けがの原因となることがあります。
お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指挟み

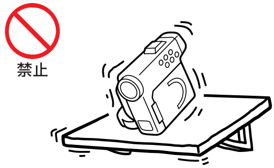


つづき

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

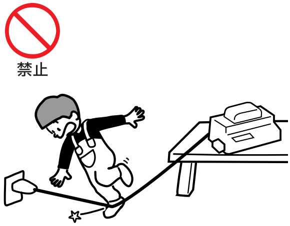
安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちてけがの原因となることがあります。万一破損した場合は、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。



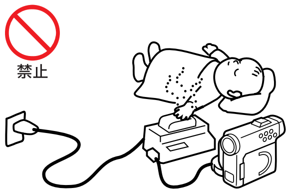
コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。



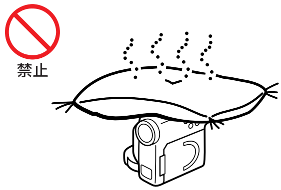
通電中のACアダプター／チャージャー、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



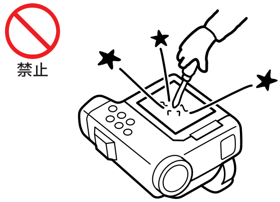
本体やACアダプター／チャージャーを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止



はじめから音量を上げすぎない

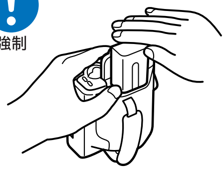
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

バッテリーを取りはずすときは、バッテリーに手をそえる

バッテリーがとび出すことがあり、落ちるとけがの原因になることがあります。その他のアクセサリーをご利用になる場合にも、取り落とさないようご注意ください。

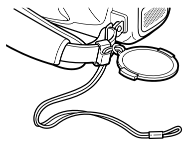
強制



レンズキャップは本体とひもでつなぐ

お子さまが誤ってレンズキャップを飲み込まないよう、レンズキャップを本体とひもでつないでください。

強制



包装用ポリ袋を放置しない

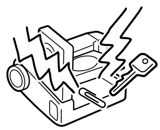
お子さまが誤ってポリ袋をかぶり、窒息する恐れがあります。

禁止

ディスクの挿入口や端子などから内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落としこんだりしない

火災・感電の原因となります。

禁止



電池についての安全上のご注意

使い方を誤ると、液漏れ・発熱・発火・破裂によりやけどや大けが・失明の原因になります。また、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

ニカド
(Ni-Cd)

ニッケル水素
(Ni-MH)

リチウムイオン
(Li-ion)

乾電池

アルカリ

マンガン

ボタン型電池

アルカリ、リチウムなど

充電式電池について

⚠危険

- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直接日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。

お願い

使用済みニカド電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、ニカド電池リサイクル協力店にご持参ください。

乾電池、ボタン電池について

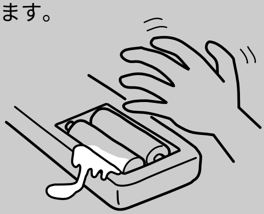
⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。万一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直接日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない
- 乾電池は充電しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- 液漏れした電池を使わない。

⚠注意

- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

アルカリ電池の液が漏れたときは
素手で液をさわらない
アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。



必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。



- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

本機の発熱についてのご注意

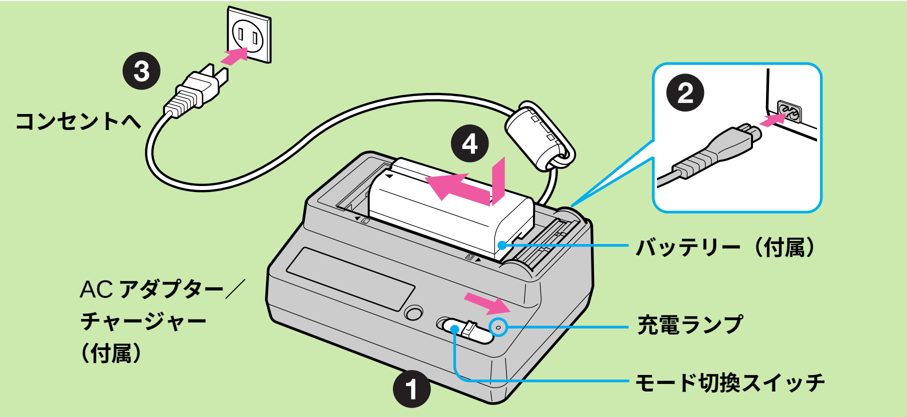
- 使用中に本体が熱くなることがあります。内部回路の動作によって発熱していますが、故障ではありません。使用しているモードによって発熱量は異なります。
- 本体が普段よりも異常に熱くなったときは、本機の電源を切り、バッテリーパックを取り外してください。ACアダプター／チャージャーを使用時には、コンセントから抜いてください。次にテクニカルインフォメーションセンターに連絡してください。

準備1 電源を準備する

バッテリーを充電する

バッテリーは充電してからお使いください。

本機の電源にはインフォリチウムバッテリー（Lシリーズ）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。**屋内ですぐ使うときは、ACアダプター／チャージャーでお使いください。** → 21ページ



ご注意

- 充電する場合はACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチを「充電」側にしてください。「ビデオ/カメラ」側にしていると充電できません。
- 充電端子には衝撃を与えないでください。バッテリーを取り付けるときなどは、ぶつけないよう、特にご注意ください。
- 充電中にモード切換スイッチを「ビデオ／カメラ」にすると、充電は中断されます。
- 充電ランプが点灯しなかったり点滅したときは、バッテリーがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。

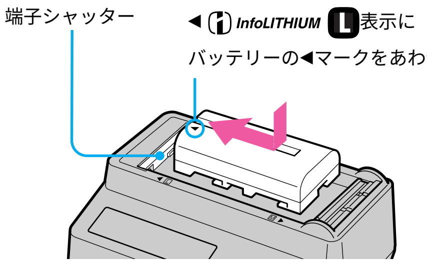
❶ モード切換スイッチを「充電」にする。

❷ 電源コードをつなぐ。

❸ コンセントにつなぐ。

「ピーッ」という音がして、表示窓が点灯します。

❹ バッテリーを押しながら矢印の方向へずらして、取り付ける。



InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは

"インフォリチウム"バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機は"インフォリチウム"バッテリー（Lシリーズ）対応です。"インフォリチウム"バッテリーには *InfoLITHIUM* マークがついています。InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

ご注意

- 新品のバッテリーで使用可能時間を表示するには、本機にバッテリーを取り付け、30秒程度ご使用ください。その後、ACアダプター／チャージャーに取り付け、充電を開始すると使用可能時間が表示されます。
- 表示時間は室温が10℃〜30℃で充電したときの目安です。使用環境によって実際の時間と異なる場合があります。
- 以下のときは表示時間が「–– ––」になることがありますが、故障ではありません。
  - 使用可能時間が5分以下のとき
  - 表示時間と実際の充電時間にずれが生じたとき（そのまま充電を続けてください。）

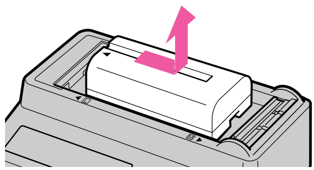
充電が始まると、表示窓のバッテリーマークが順番に点滅し、充電ランプが点灯します。充電されるとバッテリーマークがすべて点灯します（**実用充電**）。さらに充電ランプが消え、バッテリーマークに「FULL」が表示されるまで充電を続けると、若干長く使えます（**満充電**）。

バッテリーマークの点灯

実用充電の終了	満充電の終了
	

充電器から取りはずす

バッテリーを取り付けたときと反対の方向にスライドさせ、真上に持ち上げる。



充電時間

	実用充電時間	満充電時間
NP-F550（付属）	約55分	約115分

- 上記以外のバッテリーはお使いになれません。
- 使い切ったバッテリーを付属のACアダプター／チャージャーで充電したときの時間です。周囲の温度やバッテリーの状態によっては、上記の充電時間と異なる場合があります。

付属のバッテリーは、充電の前に使いきったり放電したりする必要はありません。

- 実用充電終了から満充電終了までは約1時間です。この間にACアダプター／チャージャーからバッテリーを取りはずすと、次回充電するときの表示時間が実際とずれることがあります。
- 表示時間が実際とずれるバッテリーは、一度ACアダプター／チャージャーで満充電してからお使いください。より正しい時間を表示できます。
- 満充電済みのバッテリーを取り付けると「満充電まで1時間」の表示が出ることがありますが、故障ではありません。
- 表示切換ボタンを押してから時間を表示するまでしばらく時間がかかることがあります。

液晶画面とファインダーの両方を使って撮影をするとき
バッテリーの使用時間は、液晶画面を使っての撮影時間より、若干短くなります。

撮影時間

バッテリー	ファインダーで撮影		液晶画面で撮影	
	連続撮影時*	実撮影時**	連続撮影時*	実撮影時**
NP-F550（付属）	75 (70)	37 (35)	65 (60)	32 (30)

満充電（（　）内は実用充電）してからの時間（約　分）。
* 25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。
**録画、スタンバイ、電源入／切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

再生時間

MD DATA2ディスクの再生時間

バッテリー	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-F550（付属）	80（75）	100（95）

音楽用ミニディスクの再生時間

バッテリー	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-F550（付属）	100（95）	135（130）

満充電（（　）内は実用充電）してからの時間（約　分）。
低温では使用時間が短くなります。

バッテリーの上手な使いかた

- せっかく充電してあっても、少しずつ自然に放電してしまいます。なるべく、使用直前（1～2日以内）に充電し直してください。
- 撮影中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。一時停止やスタンバイ状態でもバッテリーは消耗しています。
- なるべく涼しい所で保管し、充電はまわりの温度が10℃～30℃のところで行ってください。バッテリーを長持ちさせることができます。
- 寒いところでは、バッテリーを使用できる時間が短くなります。寒冷地でお使いになる場合は、バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影直前に本機に取り付けてください。
- カイロをお使いの場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。
- バッテリーは撮影予定時間の2、3倍用意していただくと安心です。

バッテリーの寿命について

バッテリーを使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われます。新しいバッテリーをお買い求めください。

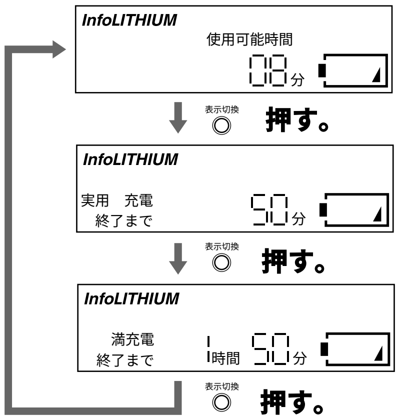
充電の状況を確認する

充電の状況は表示窓で確認することができます。充電を開始してからしばらくすると、表示窓に「使用可能時間」が表示されます。

充電中に表示切換ボタンを押す。

ボタンを押すたびに表示は次のように変わります。

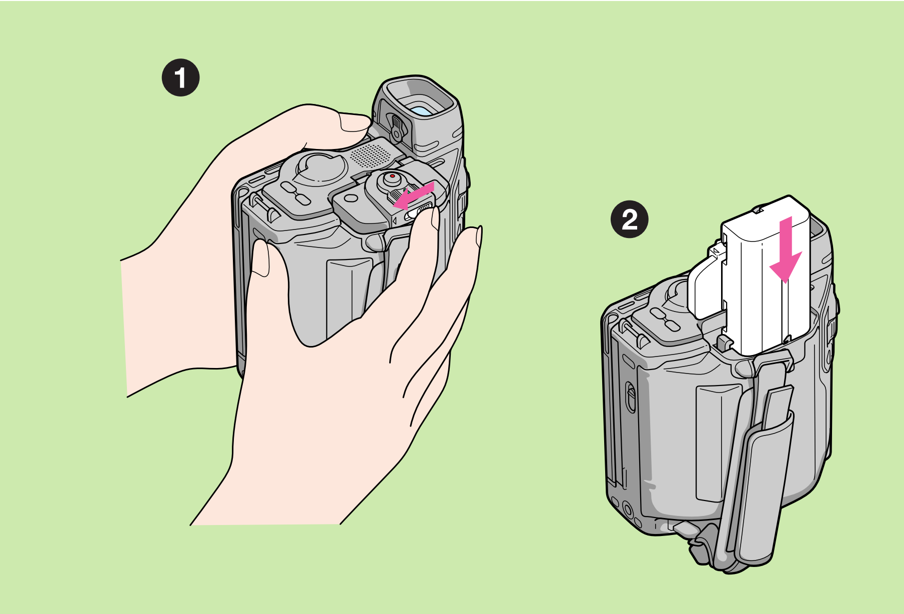
充電中のバッテリーをお使いのインフォリチウム対応のビデオカメラに取り付けたときの使用可能時間（5分未満は表示されません。）



充電中のバッテリーの実用充電が終了するまでの残り時間

充電中のバッテリーの満充電が終了するまでの残り時間

バッテリーを取り付ける



バッテリー残量時間表示

- 連続撮影時間の目安を液晶画面、またはファインダーに表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。
  液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。
- ACアダプター／チャージャーで表示される時間と本機で表示される時間はずれることがあります。

ご注意

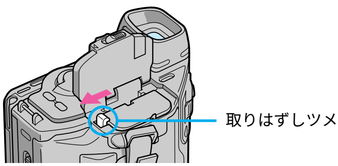
取り出すときは、バッテリーが落ちないように手をそえてください。

❶ **バッテリー取出しつまみを下にずらす。**
バッテリー入れのふたが開く。

❷ **▼マークを下側にして、カチッというまでバッテリーを入れ、ふたを閉める。**

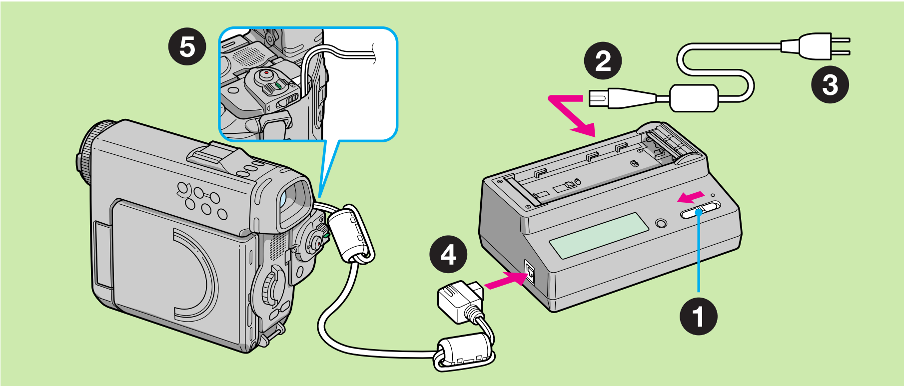
本体から取り出す

ふたを開け、取りはずしツメを押して取り出す。



コンセントにつないで使う場合

ディスクを再生または編集するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントを使うとバッテリー切れの心配がなく使えます。



ご注意

- ショートを防止するため、接続コードの金属部（接点）に触れないでください。
- コンセントにつないで使う場合は、ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ／カメラ」側にしてください。「充電」側にしていると、電源は供給されません。

自動車の電源では

別売りDCアダプター／チャージャーでお使いになれます。

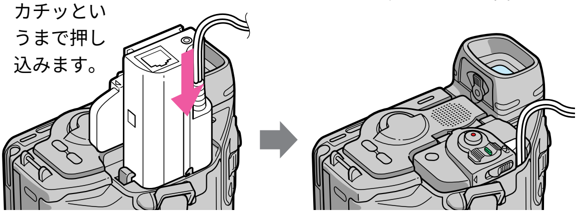
1 モード切換スイッチを「ビデオ／カメラ」にする。

2 電源コードをつなぐ。

3 コンセントへつなぐ。

4 接続コードをDC OUT端子へつなぐ。

5 接続コードを本機に取り付ける。

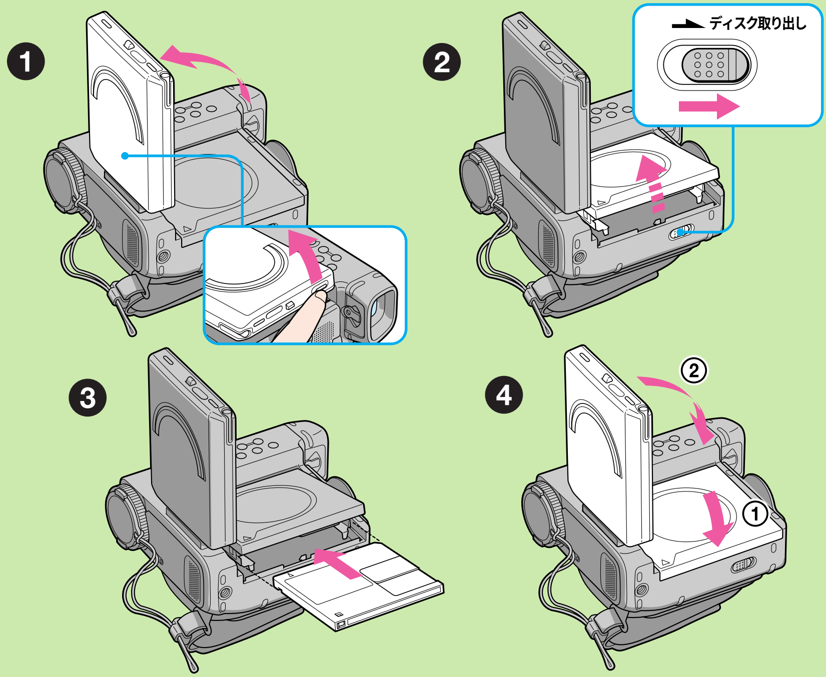


接続コードを取りはずす

ふたをあけ、取りはずしツメを押して取り出す。

準備2 MD DATA2ディスクを入れる

MD DATA2ディスクをお使いください。その他のMDディスクでは録画できません。



ご注意

ディスクが落下してしまいますので、ディスクの出し入れ時は挿入口を下にむけないでください。

誤動作を防ぐために

ディスクを出し入れするときは、必ず電源スイッチを「切」にしましょう。

❶ 「◀開く」つまみに指をかけ、液晶画面を止まるまで開く。

❷ 底面のディスク取り出しつまみを矢印の方向へずらし、手でディスクぶたを開ける。

❸ ディスクを入れる。

ディスクのラベル面を上にして、矢印の向きに奥まで押し入れる。

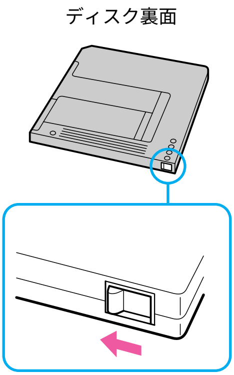
❹ ディスクぶたを閉める。

ご注意

電源スイッチが「カメラ」や「インタビュー」になっていると、ディスクを取り出せないことがあります。取り出せないときは、電源スイッチを一度切り、バッテリーまたは接続コードを取り付けなおしてから操作してください。

間違って消さないために

ディスクの背にある誤消去防止ツマミをずらして、穴が開いた状態にします。



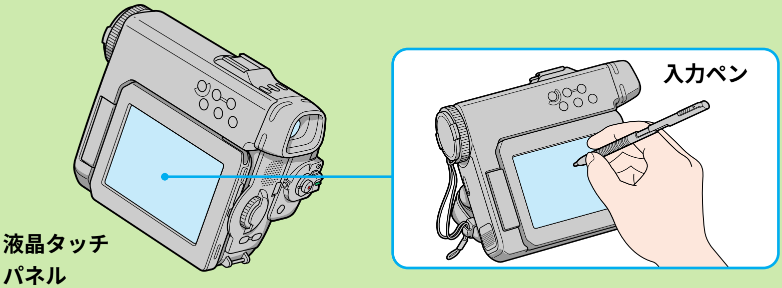
ディスクを取り出す

「MD DATA2ディスクを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。

準備

準備3 タッチパネルの使いかたの確認

本機では、撮影や再生、編集のための多くの機能を、液晶画面上に表示されるインデックス画面やメニューで選択します。トラックやメニュー項目の選択は、入力ペンまたは指で直接タッチするか、コントロールダイヤルを使って行います。
ここでは、メニュー項目の選びかたを説明します。



液晶画面は
- 温度や気圧によって動作筆圧が変わることがあります。
- 指で軽く押して操作することもできます。ただし、ぬれた手で触れないでください。
- ペンなど先の尖ったもので押さないでください。

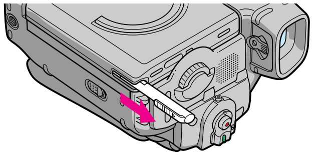
入力ペンは
- 本機に付属のものをお使いください。市販の入力ペンでは操作できないことがあります。
- 入力ペンでタッチするとき、液晶画面を強く押したり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 入力ペンの先端を傷つけたり汚したりしないようにご注意ください。

入力ペンで直接画面を押す場合

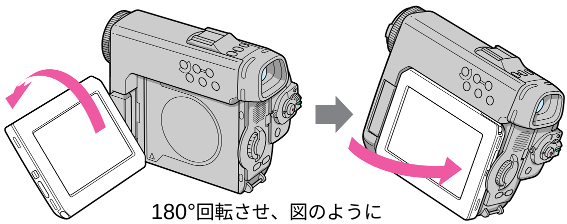
例）おしらせブザー（ピー音）を切る

❶ 入力ペンを取り出す。

入力ペンは約1cm伸ばすことができます。使いやすい長さに調節してください。



❷ 「◀開く」つまみに指をかけて開け、液晶画面を外側に向けて本体に閉じる。



180°回転させ、図のように本体に取り付けた状態で入力ペンでタッチすると、より正確です。

- 入力ペンを伸ばして使ったときは、元の長さに縮めてから本体に収納してください。

液晶画面が汚れたら

- 液晶画面にゴミやホコリなどの汚れが付いたまま入力ペンを使うと、液晶画面に傷がつく恐れがありますのでおやめください。
- 液晶画面が汚れた場合は、電源スイッチを「切」に戻してから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

押しても動作しないときは

キャリブレーションが必要です（134ページ）。

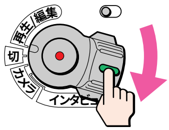
何も記録されていないディスクでは

インデックスは出ません。

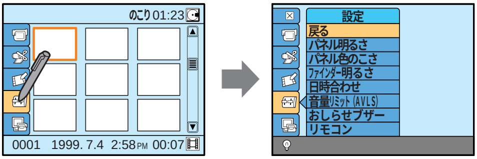
「お待ちください」と表示されているときは

本機に衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。

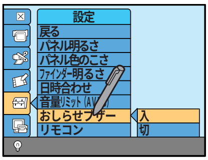
❸ 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「再生／編集」にする。



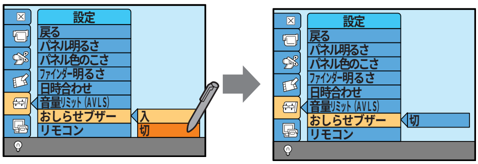
❹ 画面左の アイコンをタッチする。



❺ 「おしらせブザー」をタッチする。



❻ 「切」をタッチする。



❼ ☒をタッチして、メニューを消す。

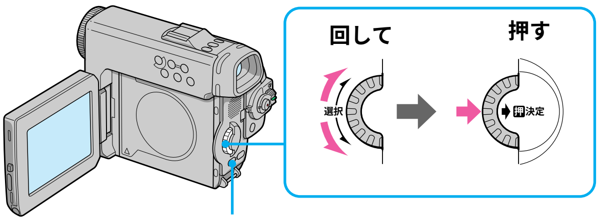
インデックス画面に戻る。

この取扱説明書では各項目の説明を、上記の入力ペンで画面を押すことで操作する方法で説明します。

コントロールダイヤルは両方向へ回ります
回転が止まる位置はありません。

本体のコントロールダイヤルで選ぶ場合

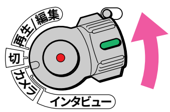
コントロールダイヤルを上下に回して項目を選び、押して選択します。



例）撮影スタンバイ時にデジタルズームを「入」にする

---

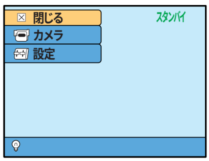
❶ 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「カメラ」にする。



---

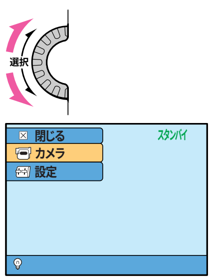
❷ メニューボタンを押す。

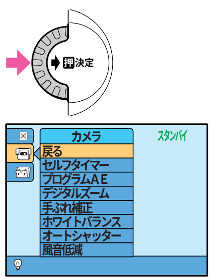




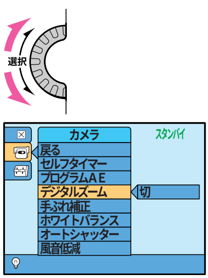
---

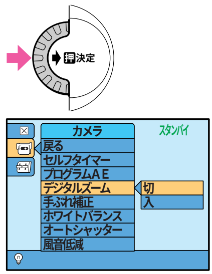
❸ コントロールダイヤルを回して カメラを選び、ダイヤルを押す。



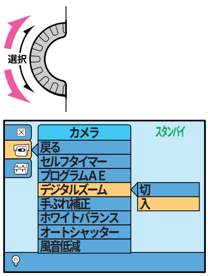


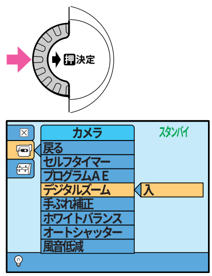
4 **コントロールダイヤルを回して「デジタルズーム」を選び、ダイヤルを押す。**





5 **コントロールダイヤルを回して「入」を選び、ダイヤルを押す。**



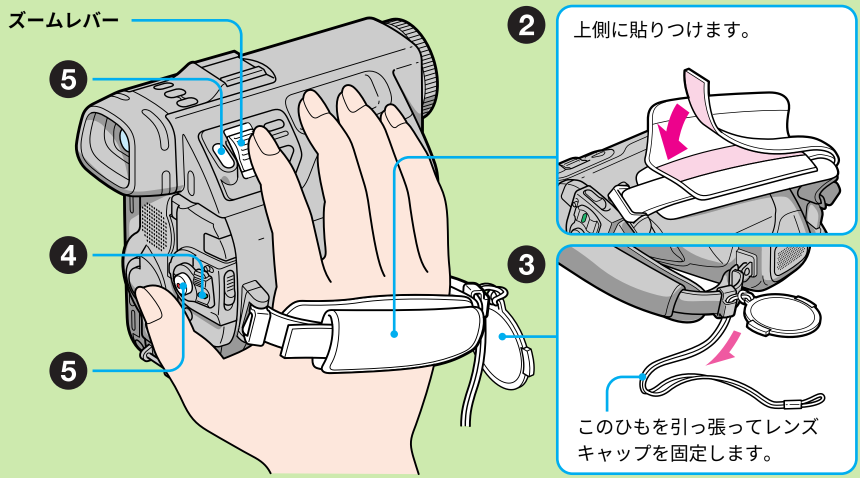


6 **メニューボタンを押す。**

メニューが消える。

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。



ご注意

ファインダーや液晶画面、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

長時間録画したいときは

メニューの「録画モード」を「LP」にします（32ページ）。
録画時間がSPモードの2倍になります。ただし画質はやや低下します。

撮影スタンバイが5分以上続くと

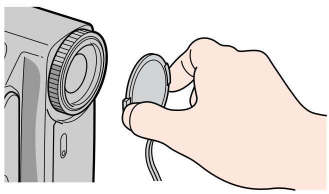
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再び撮影をはじめるときは電源スイッチを一度「切」にしてから「カメラ」に戻します。

❶ バッテリーなどの電源を付け、ディスクを入れる。

「準備1、2」（16～23ページ）をご覧ください。

❷ グリップベルトをしっかり締める。

❸ レンズキャップの両側をつまんで取りはずす。



ご注意

ディスクに書き込み中は

画面の「スタンバイ」表示が点滅します。

- 点滅中は絶対に本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったりディスクやバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが破壊されるだけでなく、ディスクが使えなくなることがあります。
- 点滅中は次の撮影を始めることはできません。

1回の撮影が1トラックになります

- スタート／ストップボタンを押して撮影を開始してから、もう一度押して撮影を止めるまで撮った画像が、最後の1トラックとして記録されます。
- 地面撮り防止モードのときは、スタート／ストップボタンを押している間が「1トラック」になります。→ 117ページ
- 10秒ごとに自動的にトラックを更新することもできます。→ 117ページ
- 静止画は1枚が1トラックとして記録されます。

静止画撮影について

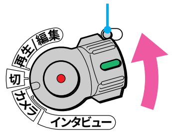
動きのある被写体の場合は、再生したときに画像がぶれることがありますが、故障ではありません。

暗いときは

別売りのビデオフラッシュをご使用ください。⚡マークが出たらビデオフラッシュが使えます。明るさを手動調整しているときはフラッシュは発光しません（⚡も出ません）。

❹ 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

数秒してから撮影スタンバイになる。





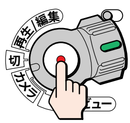
ロックつまみについて

ロックつまみを左側（ロック）にすると、気付かないうちに電源スイッチが「インタビュー」になるのを防ぎます。（お買い上げ時は右側（解除）になっています。）

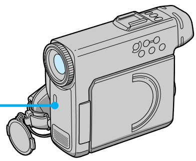
❺ [動画を撮るときは] スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まる。

もう一度押すと止まる。

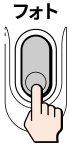






[静止画を撮るときは] フォトボタンを一回押す。

押した時点の静止画が記録される。



撮る

撮影中にマイクに手を触れると
雑音が入りますので、ご注意ください。

風が強いときは
メニューの「風音低減」を「入」にすると、ボコボコという風音を低減して録画できます。→ 116ページ

撮影時に接続コードのLINE IN端子から音声を入力すると
LINE IN端子からの音声が優先されて記録されます。

ヘッドホンを使っているときは
録画開始時、停止時に音声が一瞬とぎれることがありますが、ディスクへの記録には影響しません。（LINE IN接続時のスピーカーも同様です。）

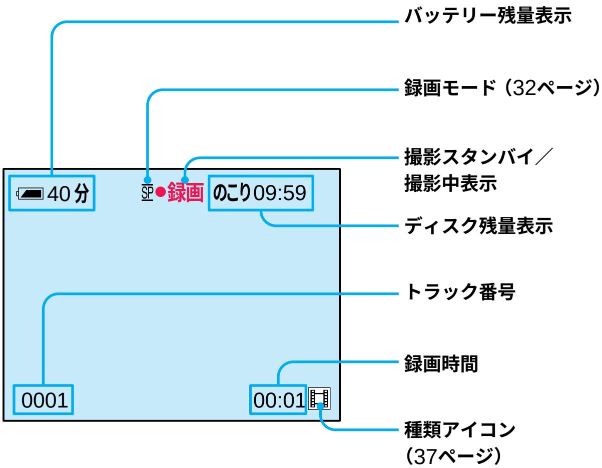
ディスクを取り出す前にバッテリーを取り出すと
「カメラ」と「インタビュー」モードではディスクぶたがロックされるので、バッテリーを取り出すとディスクぶたが開かなくなります。

撮影が終わったら

1. **電源スイッチを「切」にする**
2. **ディスクを取り出す。**
3. **バッテリーを取り出す。**

撮影中の表示

これらの表示はディスクには記録されません。



液晶画面を開いていると
ファインダーに画像は出ません。ただし、対面撮影（33ページ）中は液晶画面を開いているときもファインダーに画像が出ます。

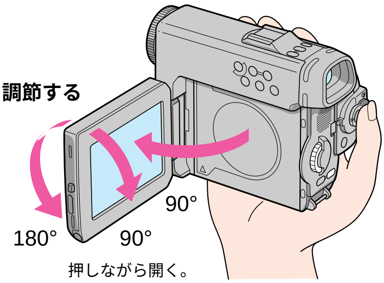
ご注意

- 液晶画面を無理に開いたり動かしたりしないでください。故障の原因になります。
- 液晶画面の角度を調節する場合は、必ず90°まで開いた状態で行ってください。
- 屋外では日差しの加減で液晶画面が見えにくいことがあります。

液晶画面の明るさは
メニューで調整します。
→ 110ページ
調節してもディスク上に記録される画像に変化はありません。

液晶画面を見ながら撮影する

「◀開く」つまみに指をかけながら、液晶画面を開く。

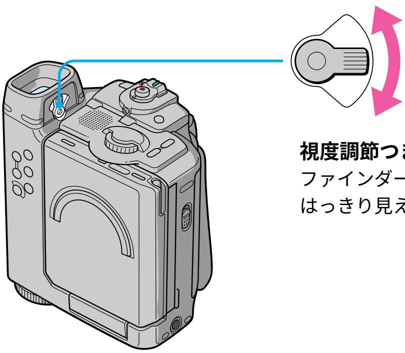


前方向に180°まで、手前に90°まで回転し、角度を調節できます。

液晶画面を閉じるときは、液晶画面を垂直にしてから本体に戻します。

ファインダーの視度を調節する

液晶画面を閉じて撮影するときはファインダーで画像を見ます。自分の視力に合わせてファインダー内の文字がはっきり見えるように調節します。



視度調節つまみ
ファインダー内の表示文字がはっきり見えるようにする。

撮る

録画モードの設定方法

1 メニューボタンを押す。

2 設定の「録画モード」を選ぶ。

3 好みの録画モードを選ぶ。

＊画質の低下
動きの変化や明るさの変化が大きい被写体などを撮影すると、ブロック状のノイズや輪郭にザラつきが出ることがあります。

撮影時間について

MD DATA2ディスク1枚に記録できる時間・枚数

種類	モード	記録できる時間・枚数
動画	SP	最大10分
	VP	13分～20分
	LP	最大20分
静止画		最大4500枚
音声		最大260分

動画の録画モード

SP：高画質モードです。お買い上げ時は「SP」に設定されています。

VP：被写体により使用データ量を自動的に調節します。画質の低下＊も目立たず、録画時間は「SP」より長くなります。

LP：長時間モードです。画質は「SP」よりやや低下＊します。

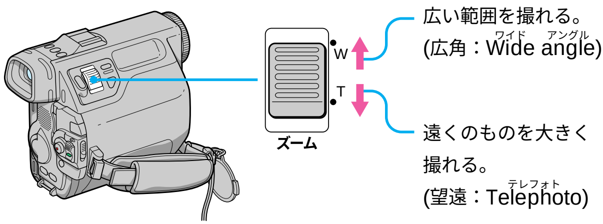
近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にします。
ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

デジタルズームについて
- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は40倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。

ズームする

ズームレバーを動かす。

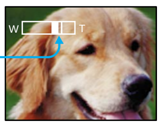
軽く動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。使いすぎると見づらい映像になります。



10倍を超えるズームをするには

メニューで「デジタルズーム」を「入」にします（116ページ）。お買い上げ時は「切」になっています。

このラインよりT側がデジタルズームになります。
メニューで「デジタルズーム」を「入」にすると表示されます。



液晶画面を見せながら撮影する－対面撮影

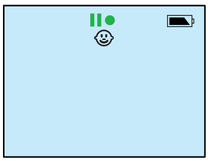
液晶画面を180°回転させると、相手に自分が撮られている映像を見せながらファインダーをのぞいて撮影できます。本体を固定しておけば、液晶画面を見ながら自分も一緒に映ることもできます。本体を固定してリモコンをお使いになると便利です。



自分を撮るとき　　液晶画面に映る映像　　記録される映像

❶ 「撮影スタンバイ中」に液晶画面を180°回転させる。

対面撮影モード表示 ☺ が出る。



❷ 撮影する。

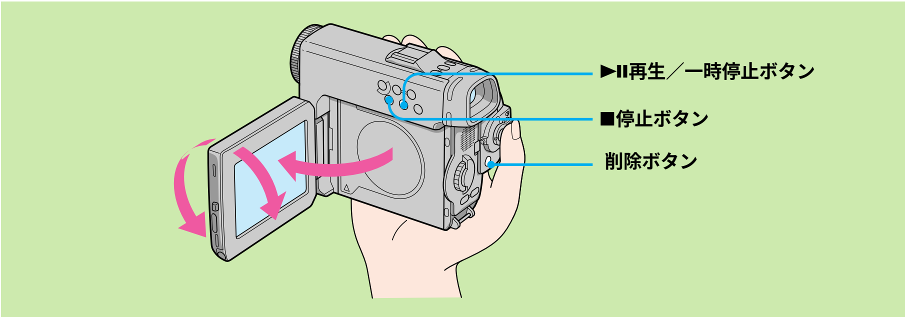
対面撮影では
液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。ただしメニュー表示中は画像が左右反転しません。

対面撮影中の表示
撮影スタンバイ中はII●、撮影中は●が表示されます。その他の表示は左右が反転します。表示が出ないものもあります。

対面撮影時のバッテリーの使用時間は
液晶画面を使っての撮影時間（18ページ）より若干短くなります。

撮影直後に確認する

撮った画像が気になるときは、電源スイッチは「カメラ」のままで、見てみることができます。不必要な部分があれば消すこともできます。



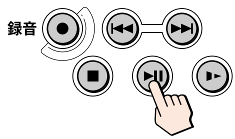
「カメラ」モードで再生できるトラックは
最後のトラックのみです。

最後に撮影したトラックを再生する

❶ **[撮影スタンバイ中]に、▶II再生／一時停止ボタンを押す。**

最後に撮影したトラックが繰り返し再生される。

止めるときは、■停止ボタンを押す。



最後に撮影したトラックを削除する

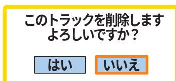
ご注意
削除したトラックは復活できません。

全部のトラックを削除するときは
撮影スタンバイ中に削除ボタンを押しながら、スタート／ストップボタンを押します。

❶ **[撮影スタンバイ中]または[再生中]に、削除ボタンを押す。**

最後に撮影したトラックが再生され、確認メッセージが出る。





❷ **コントロールダイヤルを回して「はい」を選び、ダイヤルを押す。**

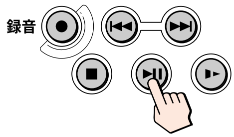
「お待ちください」表示の後に撮影スタンバイに戻る。

トラックが削除される。

最後に撮影したトラックの終わりの部分を削除する

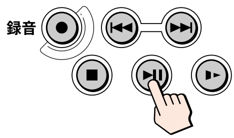
❶ **[撮影スタンバイ中]に、▶II再生／一時停止ボタンを押す。**

最後に撮影したトラックが再生される。



❷ **再生されている場面から後を削除したいときに、▶II再生／一時停止ボタンを押す。**

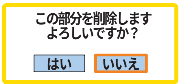
一時停止になる。



❸ **削除ボタンを押す。**

一時停止した後の画像（消される画像）が再生され、確認メッセージが出る。





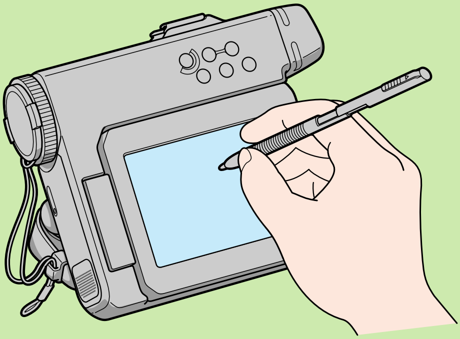
❹ **コントロールダイヤルを回して「はい」を選び、ダイヤルを押す。**

画像が削除される。

撮る

再生する

撮影したディスクを液晶画面でもファインダーでも見られます。液晶画面で見るときは、図のように傾けて置いて、安定した状態でご覧ください。

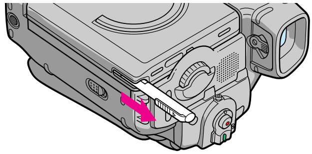


液晶画面を開けたり閉じたりするときは
液晶画面を必ず垂直にしてから行ってください。

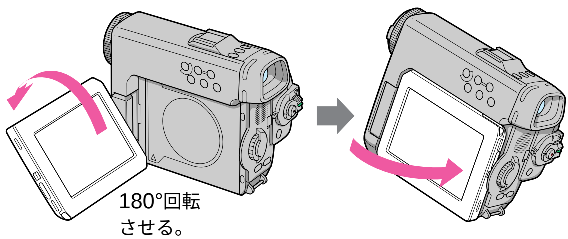
❶ **バッテリーなどの電源を取り付け、再生したいディスクを入れる。**

❷ **入力ペンを取り出す。**

入力ペンは、約1cm伸ばすことができます。使いやすい長さに調節してください。



❸ **「◀開く」つまみに指をかけて開け、液晶画面を外側に向けて本体に閉じる。**



トラックによっては
再生が始まるまで、時間がかかることがあります。

動画トラックのインデックスには
別の場面を使うことができます。→ 79ページ

インデックス画面の各トラックは
次のアイコンで区別できます。



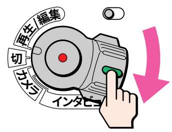
動画トラック
静止画トラック
音声トラック
タイトルトラック
メモトラック
グループトラック

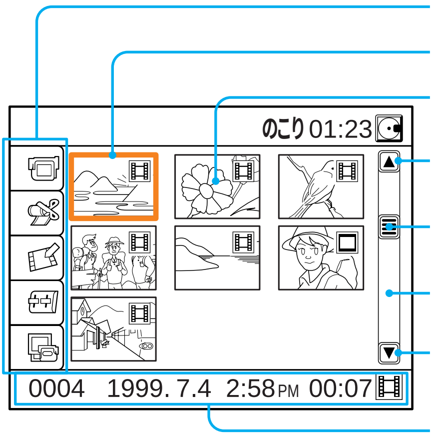
日付・時刻を設定しないで撮影したディスクは
「－－.－－.－－ －－:－－」を表示します

静止画の再生時間は
メニューの「静止画再生時間」で設定できます。
→ 72ページ

❹ 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「再生／編集」にする。

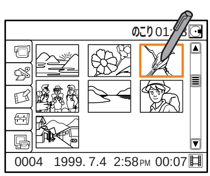
撮影した映像がトラックごとにインデックスで表示される（**インデックス画面**）。





❺ 入力ペンで再生したいトラックにタッチする。

選ばれたトラックがオレンジ枠で囲まれる。



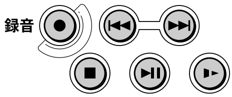
❻ もう一度タッチする。

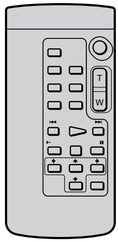
枠が赤くなり、再生が始まる。

静止画の場合は、1枚につき3秒間ずつ再生される。

変速再生中は
音は出ません。

本体やリモコンのボタンを使う





下の操作で、本体とリモコンで使うボタンが違う場合は、（　）内にリモコンのボタンを示します。

再生する

- 再生したいトラックを選んだ後で、▶II再生／一時停止（▶再生）ボタンを押す。
- コントロールダイヤルを回して（カーソル⬅/⬆/⬇/➡を押して）トラックを選び、ダイヤル（決定）を押す。

止める

[再生中]に■停止ボタンを押す。

一時停止する

[再生中]に▶II再生／一時停止（II一時停止）ボタンを押す。

もう一度、▶II再生／一時停止（II一時停止）ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像の頭出しをする

[再生中]に▶▶I早送りボタン／I◀◀早戻しボタンを短く押す。
I◀◀を1回押すと再生しているトラックの頭から再生する。その後すぐに、I◀◀を押すたびに前のトラックの頭から再生する。

▶▶Iを押すたびに後ろのトラックの頭から再生する。

画像を見ながら早送り/早戻しする

[再生中]に▶▶I早送りボタン/I◀◀早戻しボタンを押したままにする。離すと、ふつうの再生に戻る。

静止画再生中にコマ送りすると
後ろのトラックの頭のコマに移ります。

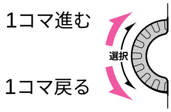
スロー再生中は
- コントロールダイヤルを回すと速度が変わります。
- 早送り、早戻しすると、スロー再生が解除されます。

速度調整バーは
スロー開始時と速度調整中に表示されます。

コマ送りで見る

❶ **[再生中]に▶II再生／一時停止（II一時停止）ボタンを押す。**

❷ **コントロールダイヤルを回す（カーソル⬅/➡を押す）。**



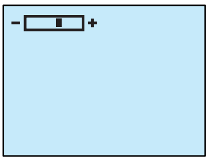
▶II再生／一時停止（II一時停止）ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

スロー再生する（動画トラックのみ）

希望の速度で再生できます。

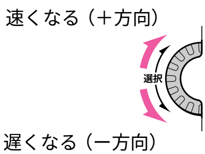
❶ **[再生中]にI▶スローボタンを押す。**

約1/3倍の速度で再生される、速度調整バーが出る。



❷ **速度を変える場合は、コントロールダイヤルを回して調節する（カーソル⬅/➡を押す）。**

速度が設定される。



▶II再生／一時停止ボタンを押すと一時停止になり、もう一度押すとふつうの再生に戻る。

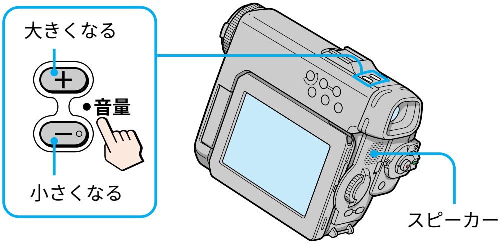
（リモコンでは、▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。）

ヘッドホンで音を聞くには
前面の ◯（ヘッドホン）端子につなぎます。音量＋／－ボタンで音量調節ができます。このとき、スピーカーから音は出ません。

音量リミット（AVLS）**を**
メニューで設定できます。
→ 119ページ

音量を調節する

❶ 音量＋／－ボタンを押して調節する。



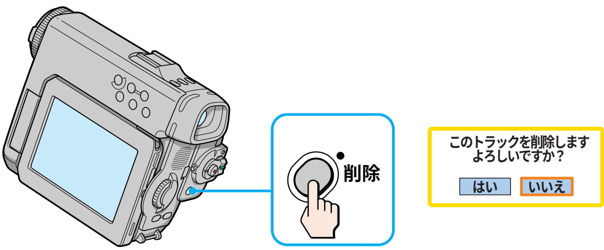
ご注意
削除したトラックは復活できません。

トラックの削除は
削除したいトラックを再生中に、削除ボタンを押しても削除できます。

トラックを消す

❶ インデックス画面（37ページ）で消したいトラックにタッチする。

❷ 削除ボタンを押す。
確認メッセージが出る。



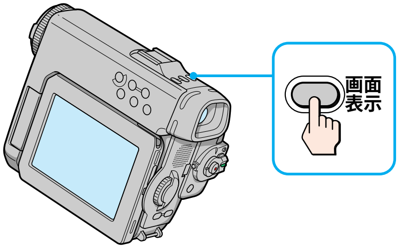
❸「はい」をタッチする。
「お待ちください」の表示が消えたら、トラックが消えてインデックス画面に戻る。

再生中は
画面表示ボタンを押すと、トラックのデータが表示されます。

画面表示を出したり消したりする－画面表示機能

❶ インデックス画面で画面表示ボタンを押す。

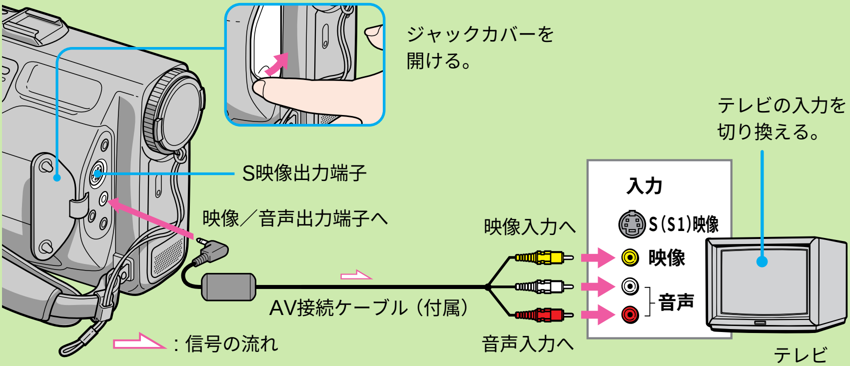
トラックのアイコン表示が消える。



出すときは、もう一度押します。

テレビで見る

撮影したディスクをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源はACアダプター／チャージャーを使ってコンセントからとることをおすすめします（21ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。



別売りのS映像ケーブルを使うと再生画像がより鮮明になります
テレビにS（S1）映像入力端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルを接続することをおすすめします。
本機のS映像出力端子とテレビのS(S1)映像入力端子を接続します。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。

音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。

モノラル音声でお聞きになりたいときは別売りの接続ケーブルをお使いください。

静止画を入れて録音する–インタビュー撮影

MD DATA2ディスクに音声を記録しながら、同じトラックに静止画を3枚撮影することができます。MD DATA2ディスク以外には録音できません。

インタビュー撮影したトラックのインデックスには🎙アイコンが表示されます。

いつ使う? インタビュー時など、主に音声を記録するとき

マイクを使うときは
前面のマイク端子にマイク（別売り）をつなぎます。

電源は
長時間のインタビュー撮影を行う場合は、コンセントにつないで使うことをおすすめします（21ページ）。

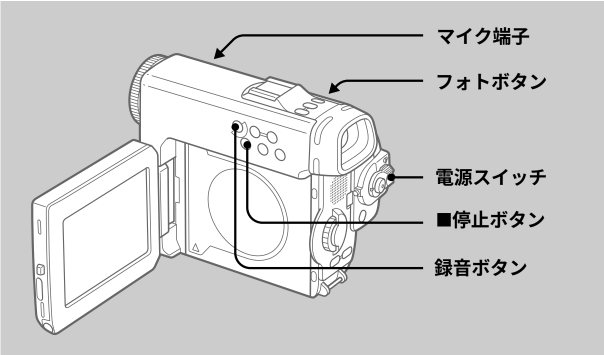
録音時間は
最大約260分です。

静止画は
- 1トラックにつき、3枚まで撮影することができます。
- 録音していないときは静止画を撮影できません。

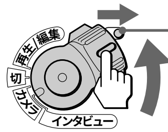
インタビュー撮影時は
対面撮影時、液晶画面の映像は反転しません。

CDプレーヤーなどのオーディオ機器から録音するときは
本機に装着した接続コードのLINE IN端子にオーディオ用接続ケーブル（別売り）をつなぎます。

再生や削除は
「インタビュー」モードではできません。



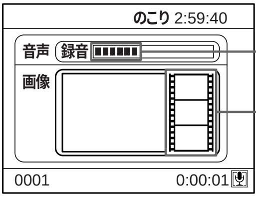
❶ 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「インタビュー」にする。



ロックつまみが左側になっているときは、右側（解除）にする

❷ 録音ボタンを押す。

録音ボタンが赤く点灯し、録音が始まる。



10秒ごとに増える。いっぱいになると、また1つめから始まる。

撮った写真が表示される。

❸ 画像を入れたいところで、フォトボタンを押す。

ヘッドホンを使っているときは
録画開始時、停止時に音声が一瞬とぎれることがありますが、ディスクへの記録には影響しません。（LINE IN接続時のスピーカーも同様です。）

インデックス画面には
1枚めに撮影した静止画が表示されます。

変速再生は
音声トラックのスロー再生とコマ送り再生はできません。

録音を止めるには

■停止ボタンを押す。

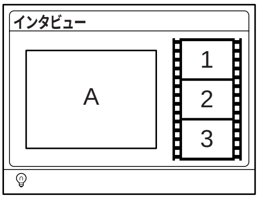
インタビュー撮影終了後は

ロックつまみを左側（ロック）にすることをおすすめします。

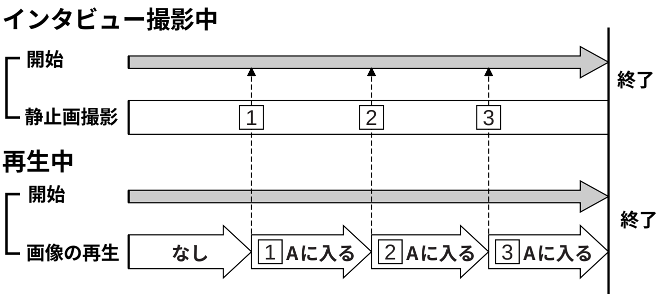
「インタビュー」モードで撮影されたトラックを再生すると

音声の再生中に、撮影された静止画が以下のように再生されます。

インタビュートラックの再生画面



小さい画面（1、2、3）をタッチすると、音声もその位置に移ります。大きな画面（A）をタッチすると、拡大画面になります。「戻る」をタッチすると戻ります。



セルフタイマー撮影をする

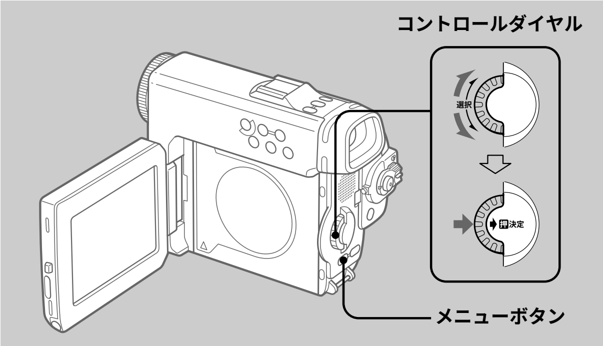
セルフタイマーを使用すると、10秒後に自動的に撮影が始まります。

いつ使う? 自分も入れて撮影したいときなど

リモコンを使うと便利です。

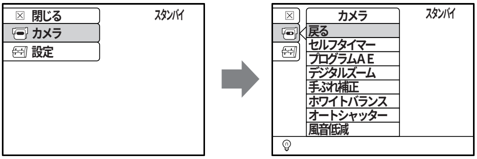
次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます

- セルフタイマー録画を実行したあと
- 電源スイッチを「切」、「再生／編集」または「インタビュー」にしたとき

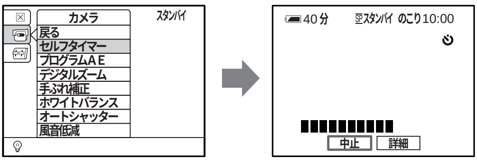


❶ [撮影スタンバイ中]に、**メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

❷ **コントロールダイヤルを回してカメラを選び、ダイヤルを押す。**



❸ **コントロールダイヤルを回して「セルフタイマー」を選び、ダイヤルを押す。**



次のページへつづく

セルフタイマー撮影をする（つづき）

秒読みが始まったあとで、セルフタイマー撮影を止めるには
動画撮影時：スタート／ストップボタンをもう一度押す。
静止画撮影時：フォトボタンをもう一度押す。

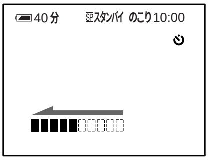
❹ 撮影する。

動画を撮るとき：

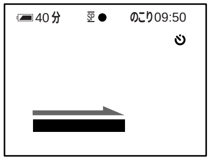
スタート／ストップボタンを押す。

10秒後から録画が始まり、10秒間記録するとスタンバイになる。

スタンバイ時
■が1秒ごとに減っていきます。



撮影時
撮影時間の経過とともにバーがのびていきます。



静止画を撮るとき：

フォトボタンを押す。

10秒後に静止画が記録される。

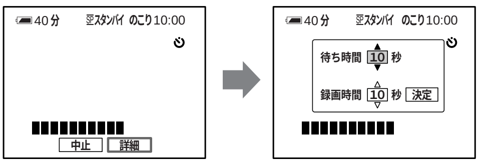
待ち時間、撮影時間は

待ち時間は、5秒、10秒、15秒の中から選べます。

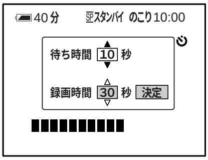
動画の録画時間は、5秒、10秒、20秒、30秒、60秒の中から選べます。

手順3の後、「詳細」の設定で選びます。

❶ コントロールダイヤルを回して「詳細」を選び、ダイヤルを押す。



❷ コントロールダイヤルを使い、希望の時間を設定する。



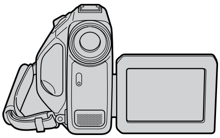
❸ コントロールダイヤルを押して決定する。

対面モードでは

- 「詳細」ボタンが表示されません。待ち時間や録画時間を設定してから、対面モードにしてください。
- カウントダウンや録画時間のバーの伸縮は逆方向になります。

対面モードで撮影状態を確認する

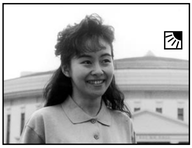
対面モードにしておくと、撮影状態を確認できます。



逆光を補正する

逆光のときは背景が明るすぎて被写体が暗めになるので、明るさ補正をして撮ります。

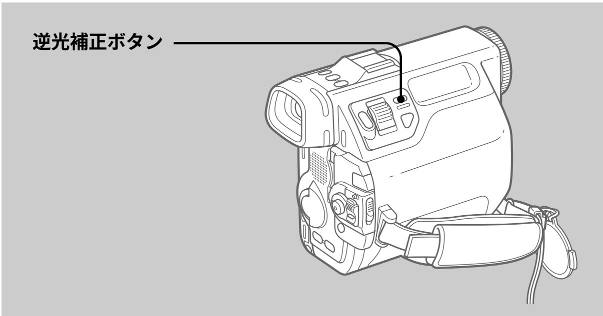




いつ使う?

- 被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映るとき
- 画面の中に強い光を発するものがあるとき
- 白い服を着た人が白い壁の前にいるとき

明るさボタンを押すと
逆光補正は解除されます。



❶ [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に
逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示が出る。
被写体の明るさが補正される。

逆光補正を解除する

逆光補正ボタンをもう一度押して、逆光補正表示を消す。

目的に合わせて撮る－プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。



スポットライトモード
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。



ソフトポートレートモード
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。



スポーツレッスンモード
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。



ビーチ&スキーモード
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。



サンセット&ムーンモード
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。



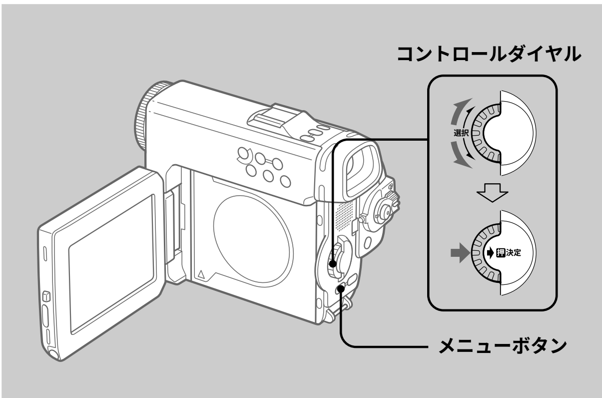
風景モード
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。



シャッター1000/500モード
シャッタースピードがそれぞれ1/1000秒、1/500秒に固定されます。絞りなど、その他の調節は自動になります。動きの速い被写体のぶれを少なくします。ただし、室内では画像は多少暗くなります。

ご注意

- 次のモードでは近くのもの（距離約50cm以内）にピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  – スポットライトモード
  – スポーツレッスンモード
  – ビーチ＆スキーモード
- 次のモードでは遠景（距離約10m以上）のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  – サンセット＆ムーンモード
  – 風景モード



次のページへつづく

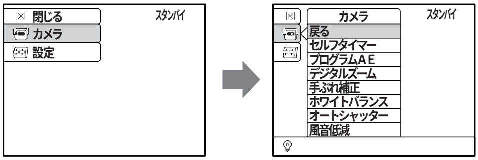
ホワイトバランスを「オート」にしているときは
プログラムAEを使うときにも自動的にホワイトバランスが調節されます。

プログラムAEモードで撮影中でも
明るさを調節できます。

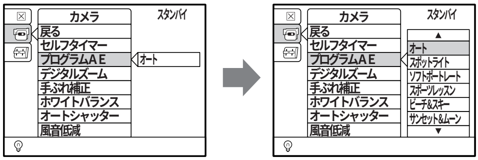
蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると
次のモードでは画面の明るさがちらつく現象（フリッカー）が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。
– ソフトポートレートモード
– スポーツレッスンモード

1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に**メニューボタンを押す。**

2 **コントロールダイヤルを回して カメラを選び、ダイヤルを押す。**



3 **コントロールダイヤルを回して「プログラムAE」を選び、ダイヤルを押す。**



4 **コントロールダイヤルを回して使いたいモードを選び、ダイヤルを押す。**

5 **メニューボタンを押す。**
選んだプログラムAEモード表示が出る。

プログラムAEを解除する

プログラムAEモードで「オート」を選ぶ。プログラムAEモード表示が消える。

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

いつ使う?
- 自動ではピントが合いにくいとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき
- 三脚を使い、ピントを固定して静止した被写体を撮るとき

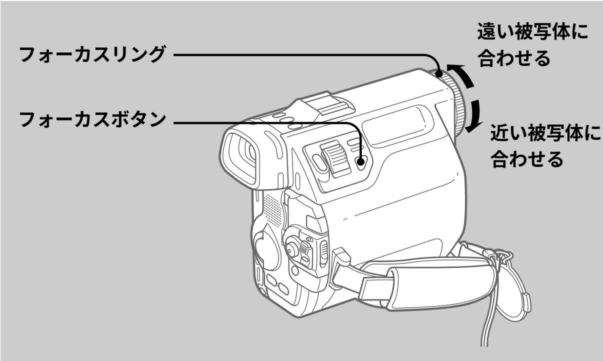
こんなときに使うと効果的です
- 被写体が水滴などのついた窓越しにあるとき
- 被写体が横じまだけのもののとき
- 被写体と背景とのコントラストが低いとき

このようなときには自動でピントが合いにくいことがあります。

暗い室内で撮るときや明るい野外で動きの激しいものを撮るとき
T側（望遠）で手動ピント合わせをしたあと、なるべくW側（広角）で撮ります。

近づいて大きく撮るとき
ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります
- 無限遠にあるとき
- それ以上近くにピント合わせをすることができないとき



1 ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に**フォーカスボタンを短く1回押す。**

手動ピント合わせ表示が出る。

2 **フォーカスリングを回し、ピントを合わせる。**

自動調節に戻す

フォーカスボタンを短く押して、または、表示を消す。

ピントを無限遠にして撮影する

フォーカスボタンを1秒以上押すとピントが無限遠になり、の表示が出る。

遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントがあってしまうときに使います。フォーカスリングを回して、手動でピントを合わせることができます。

画像の明るさを調節する

好みに合わせて手動で画像の明るさを調節し、固定することができます。

いつ使う?

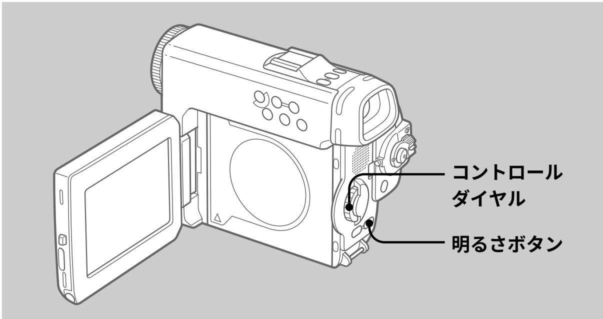
- 逆光補正を細かく行いたいとき
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき
- 夜景を撮りたいとき、など

ご注意

明るさ調節をしているときは逆光補正ボタンは働きません。

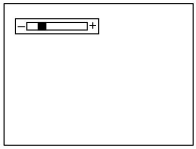
明るさを手動調節しているとき

メニューで「プログラムAE」を選ぶと、明るさ調節は自動に戻ります。その後もう一度明るさを手動調節してください。



❶ ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に**明るさボタンを押す。**

明るさ表示が出る。



❷ **コントロールダイヤルを回し、明るさを調節する。**

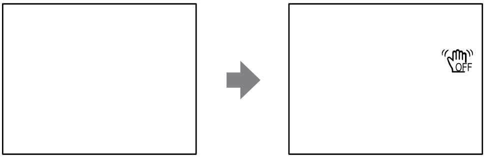
自動調節に戻す

明るさボタンを押して、明るさ表示を消す。

手ぶれ補正を解除する

手ぶれ補正はカメラの揺れを検知して、その揺れを補正します。ミニディスクAVレコーダーを手に持って撮るときに効果があります。

三脚を取り付けるなど、手ぶれの心配がないときは、手ぶれ補正を「切」にしたほうが自然な画像になります。

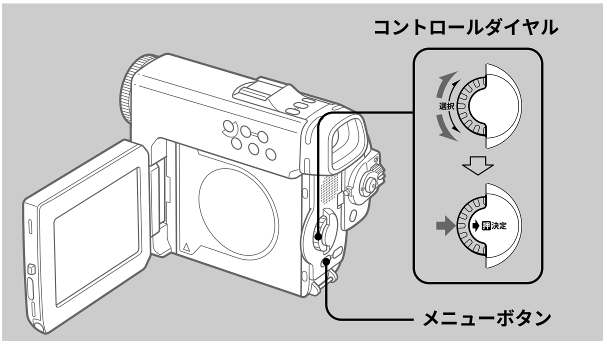


ご注意

手ぶれ補正が「入」になっていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。

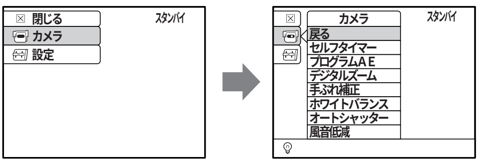
次の別売りのレンズを取り付けると手ぶれ補正が効きにくくなります

- テレコンバージョンレンズ
- ワイドコンバージョンレンズ



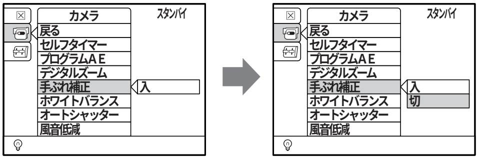
❶ [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に**メニューボタンを押す。**

❷ **コントロールダイヤルを回してカメラを選び、ダイヤルを押す。**



次のページへつづく

❸ コントロールダイヤルを回して「手ぶれ補正」を選び、ダイヤルを押す。



❹ コントロールダイヤルを回して「切」にして、ダイヤルを押す。

❺ メニューボタンを押す。

メニューが消え、手ぶれ補正「切」表示が出る。

手ぶれ補正を働かせる

「手ぶれ補正」を「入」にして、手ぶれ補正「切」表示を消す。

自然な色あいに調節する－ホワイトバランス

これから撮ろうとする光のもとで、自然な色あいの画像になるように手動で調節できます。通常は、自動的に色あいの調節が行われています。

いつ使う?
- パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- 夜景やネオンサインなどを屋外で撮るとき、など

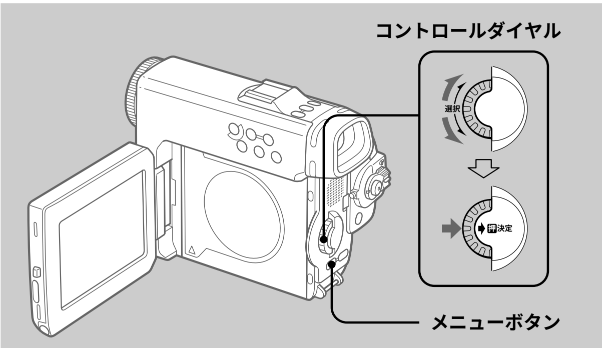
手動で色合いを調節するほうがよい場合

撮影条件例	ホワイトバランス表示
• パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき • スタジオなどビデオライトの下で撮るとき • ナトリウムランプや水銀灯の下で撮るとき	「屋内」にする
• 夜景やネオン、花火を撮るとき • 日の出、日没などを撮るとき • 昼光色蛍光灯の下で撮るとき	「屋外」にする
• 単一色の被写体や背景を撮るとき	HOLD（ホールド）にする

スタジオ照明やビデオライトで撮影する場合は
「屋内」に設定して撮影することをおすすめします。

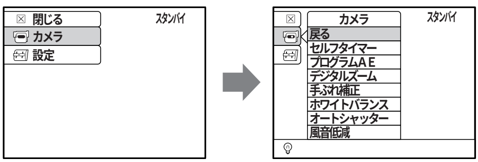
蛍光灯照明下で撮影する場合は
ホワイトバランスを自動調節にするか、ホールドに設定して撮影することをおすすめします。「屋内」に設定して撮影すると、ホワイトバランスが正しくとれない場合があります。

ホワイトバランスを「オート」にしたままで
次のように撮影条件を変えたときは、電源スイッチを「カメラ」にしてから10秒間くらい白っぽい被写体に向けるとよりよい色あいに調節されます。
- バッテリーを交換したとき
- 画像の明るさを固定させたまま屋外と屋内を行き来したとき



❶ ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に**メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

❷ **コントロールダイヤルを回して カメラを選び、ダイヤルを押す。**



次のページへつづく

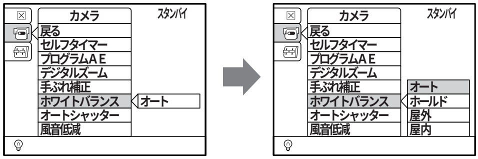
自然な色あいに調節する−ホワイトバランス（つづき）

ホワイトバランスを「ホールド」にしたままで

次のように撮影条件を変えたときは、ホワイトバランスを一度「オート」にしてしばらくしてから「ホールド」に戻してください。

- プログラムAEのモードを変えたとき
- 屋外と屋内を行き来したとき

❸ コントロールダイヤルを回して「ホワイトバランス」を選び、ダイヤルを押す。



❹ コントロールダイヤルを回して希望のホワイトバランスを選び、ダイヤルを押す。

❺ メニューボタンを押す。

選んだホワイトバランスモード表示が出る。

自動調節に戻す

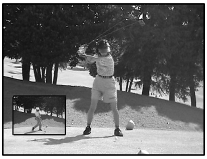
ホワイトバランスモードで「オート」を選ぶ。ホワイトバランスモード表示が消える。

子画面で見る－子画面表示

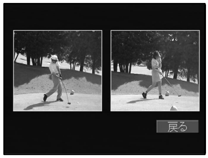
好みの画像を静止画の子画面にして、再生画面上に表示します。

また、子画面と再生画を同じ大きさで表示することもできます。

子画面表示



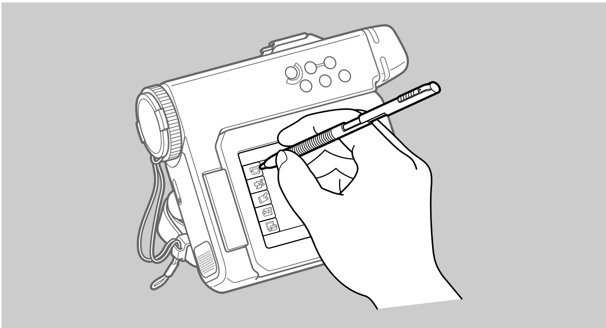
2画面表示



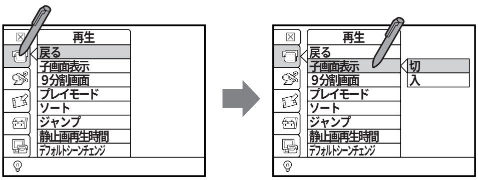
操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

すでに子画面表示が設定されていると
前に取り込まれた場面が子画面に表示されます。
「取込」をタッチすると、その時点の場面に変わります。

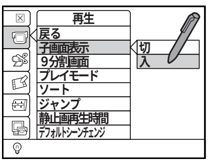
「子画面表示」はショートカットメニューで選ぶこともできます
再生中または一時停止中に、メニューボタンを押すと、ショートカットメニューが表示されます。



❶ インデックス画面で、**再生をタッチし、「子画面表示」をタッチする。**



❷ **「入」をタッチする。**



次のページへつづく

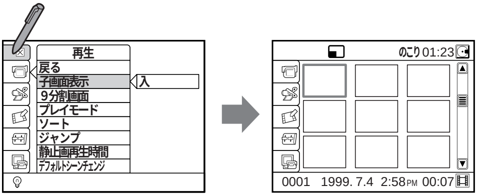
次の場合、子画面に取込んだ画像は解除されます
- 電源スイッチを「切」にしてしばらくたったとき
- 「カメラ」や「インタビュー」モードで電源が自動的に切れたとき
- 電源を抜いたとき

子画面や2画面表示では
シーンチェンジ、ピクチャーエフェクトの効果は表示されません。

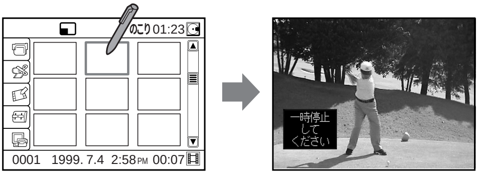
音声トラック再生時は
子画面は表示されません。

❸ ☒をタッチしてメニューを閉じる。

インデックス画面に戻り、が表示される。



❹ 再生したいトラックを選んで再生する。



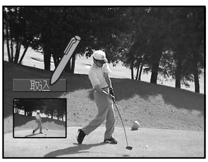
❺ 子画面にしたい場面で一時停止する。



コントロールダイヤルを回して、場面を選び直すことができます。

❻ 「取込」をタッチする。

その画面が子画面に表示される。



❼ 一時停止を解除する。

子画面表示をやめる

「子画面表示」で「切」を選ぶ。

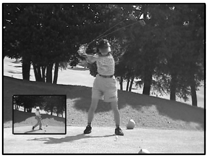
別のディスクの画像を比較するときは
子画面取り込み後、電源スイッチを切らずにディスクを交換してください。

2画面モードでは
左側：子画面に取り入れた静止画
右側：再生中のトラックの静止画
になります。

2つの画像を比較する－2画面表示

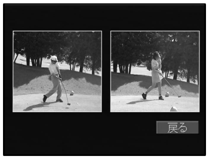
同じディスクの別トラックの画像のみでなく、別のディスクの画像とも2画面表示できます。

❶ 子画面の映像と比較したいトラックを再生する。



❷ 子画面をタッチする。



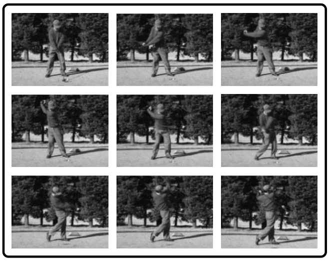


子画面表示に戻るには、「戻る」をタッチします。

動画を9枚の静止画で見る－9分割画面

動画の一部分を、9枚の連続写真で見ることができます。ゴルフのスイングチェックなどに便利です。

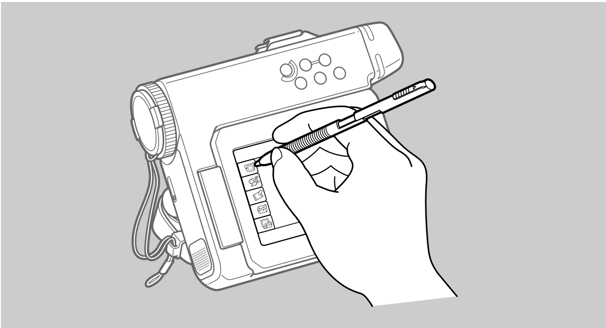
9分割画面は、1つのトラックの中の連続した場面を0.2秒ごとの静止画で表示します。トラックをまたいでの表示はできません。



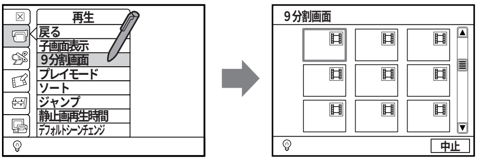
操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

「9分割画面」はショートカットメニューで選ぶこともできます
再生中または一時停止中に、メニューボタンを押すと、ショートカットメニューが表示されます。

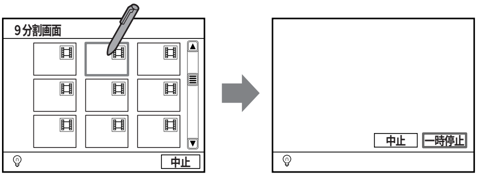
選べるトラックは
動画トラックのみです。



❶ インデックス画面で、再生をタッチし、「9分割画面」をタッチする。



❷ 9分割で見たいトラックを再生する。

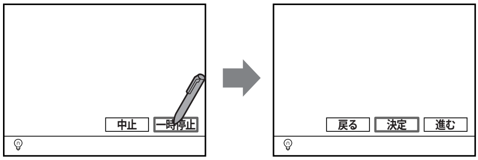


位置調整は
コントロールダイヤルを回して位置を調整し、ダイヤルを押して決定することもできます。

9分割画面と拡大画では
落書き、シーンチェンジ、ピクチャーエフェクトの効果は表示されません。

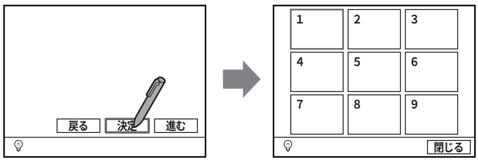
トラックの後ろの方で9分割すると
9枚表示されないことがあります。

❸ 9分割画面で見たい場面で、「一時停止」をタッチする。



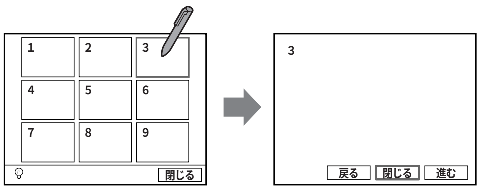
❹ 「戻る」や「進む」をタッチして位置を調整し、「決定」をタッチする。

9分割画面になる。



拡大画を見る

❶ 見たい画像をタッチする。



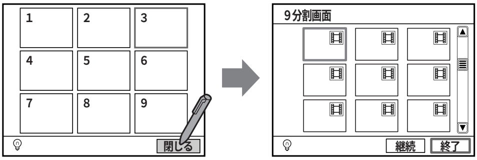
9分割画面に戻るには、「閉じる」をタッチします。

「戻る」をタッチすると前のコマが表示され、「進む」をタッチすると次のコマが表示されます。

他のトラックを9分割で見るときは
「継続」をタッチします。

インデックス画面に戻る

❶ **「閉じる」をタッチする。**



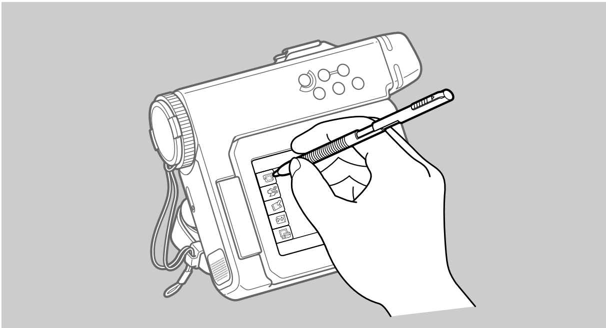
❷ **「終了」をタッチする。**

繰り返し再生する—リピート再生

次のリピート再生が楽しめます。

- 1トラックのみ繰り返し再生
- ディスク全体を繰り返し再生
- 動画の一部分のみ繰り返し再生（A-Bリピート）

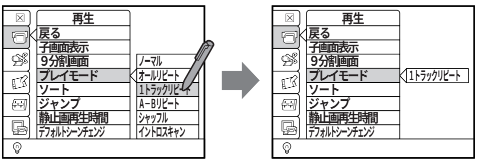
操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。



1トラックのみ繰り返し再生する

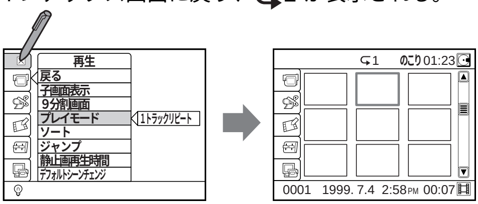
❶ インデックス画面で、再生をタッチし、「プレイモード」をタッチする。

❷ 「1トラックリピート」をタッチする。



❸ ☒をタッチしてメニューを閉じる。

インデックス画面に戻り、⮌1 が表示される。



次のページへつづく

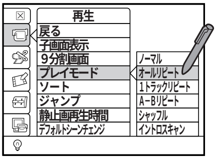
❹ **リピートしたいトラックを再生する。**

再生が始まる。

ディスク全体を繰り返し再生する ーオールリピート

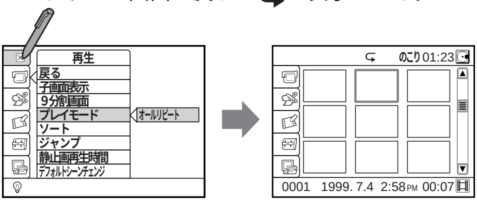
❶ インデックス画面で、**再生をタッチし、「プレイモード」をタッチする。**

❷ **「オールリピート」をタッチする。**



❸ **☒をタッチしてメニューを閉じる。**

インデックス画面に戻り、が表示される。



❹ **リピートしたいトラックを再生する。**

再生が始まる。

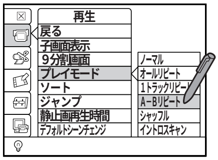
A-Bリピートの設定は
- 動画トラックのみ行えます。その他のトラックを選ぶと、ABB表示は出ますが設定できません。
- 1つのトラックの中でのみ行えます。2つ以上のトラックにまたがっては設定できません。
- グループ化されたトラックでは、グループの中の動画トラックには設定できます。
- A点とB点の間が0.5秒以下に設定された場合は、自動的に0.5秒に調整されます。

登録したA点とB点を取り消すには
- コントロールダイヤルを押す。（トラックの頭から再生されます。）
- 再生を停止する。

動画の一部を繰り返し再生する ーA-Bリピート

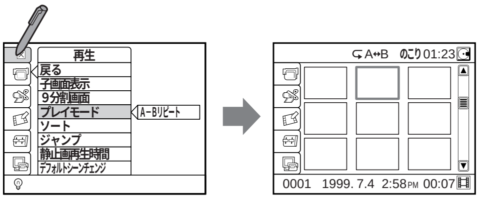
1 インデックス画面で、**再生をタッチし、「プレイモード」をタッチする。**

2 **「A-Bリピート」をタッチする。**



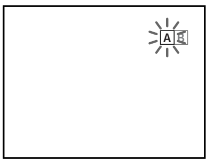
3 **☒をタッチしてメニューを閉じる。**

インデックス画面に戻り、A↔Bが表示される。



4 **A-Bリピートをする画像を再生する。**

ABのAが点滅する。



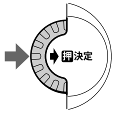
次のページへつづく

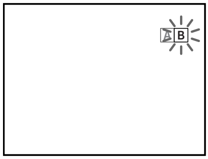
繰り返し再生するーリピート再生（つづき）

A点とB点は
入力ペンでABマークを
タッチしても設定できます。

❺ 「ここから繰り返す点」Aでコントロールダイヤルを押す。

A点が設定され、Bが点滅する。





❻ 「ここまで繰り返す点」Bでコントロールダイヤルを押す。

B点が設定される。
A点に戻り、B点まで繰り返し再生される。

リピート再生をやめる

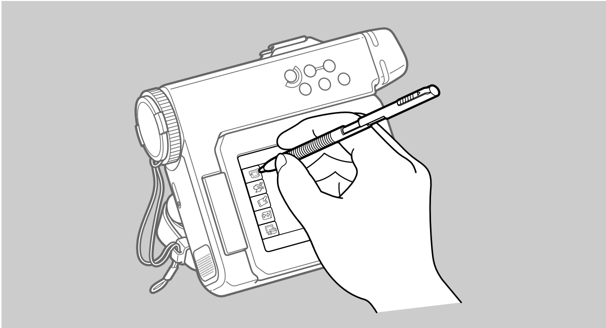
「プレイモード」で「ノーマル」を選ぶ。

順不同で再生する–シャッフル再生

操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

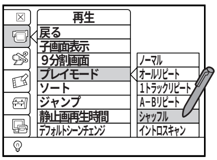
シャッフル再生は以下のとき、取り消されます
- ディスクを取り出したとき
- 電源を切ったとき

シャッフル再生が設定されていると
インデックス画面ではメニューは出ません。（ショートカットメニューは使えます。）



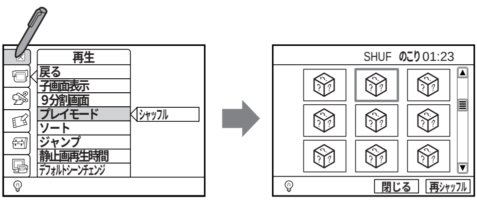
❶ インデックス画面で、**再生をタッチし、「プレイモード」をタッチする。**

❷ **「シャッフル」をタッチする。**



❸ **☒をタッチしてメニューを閉じる。**

インデックス画面に戻り、SHUFと表示される。



再生されたトラックは
再生を停止してインデックス画面にすると、画像が表示されます。

別の順番にシャッフルするときは
「再シャッフル」をタッチします。

❹ **いずれかのトラックをタッチする。**

再生が始まる。

シャッフル再生をやめる

「閉じる」をタッチする。

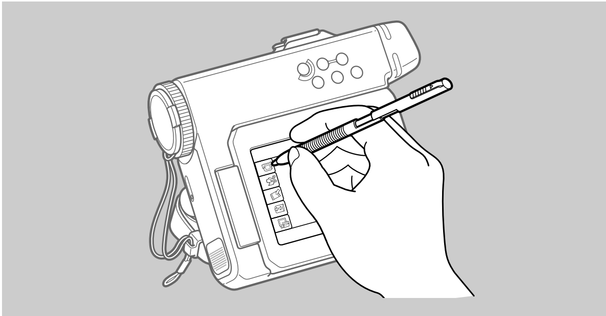
トラックを頭出しする―イントロスキャン

各トラックの最初の画像だけを3秒ずつ見ることができます。

静止画やメモ、タイトルトラックも3秒ずつ再生されます。

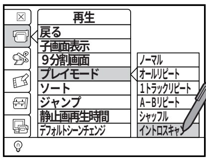
録画時間が3秒以下の動画トラックは、録画時間の分だけ再生されます。

操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。



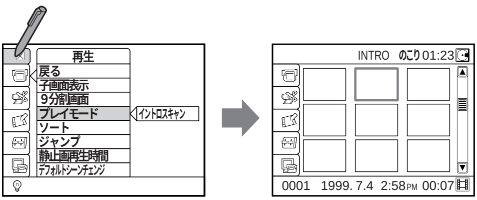
❶ インデックス画面で、**再生をタッチし、「プレイモード」をタッチする。**

❷ **「イントロスキャン」をタッチする。**



❸ **☒をタッチしてメニューを閉じる。**

インデックス画面に戻り、INTROと表示される。



❹ **最初に頭出ししたいトラックを再生する。**

各トラックの冒頭3秒ずつが再生される。

イントロスキャンをやめる

「プレイモード」で「ノーマル」を選ぶ。

希望の順で再生する—ソート

ディスク内の動画をまとめて再生したり、マークの付いた画像を優先させたり、日付順などで再生することができます。

この並べ変えは、ディスクに記録されません。

種類順
　動画、静止画、音声、メモ、グループ、タイトルの順に表示します。

マーク順 (76ページ)
　マーク付きの画像を先に表示します。

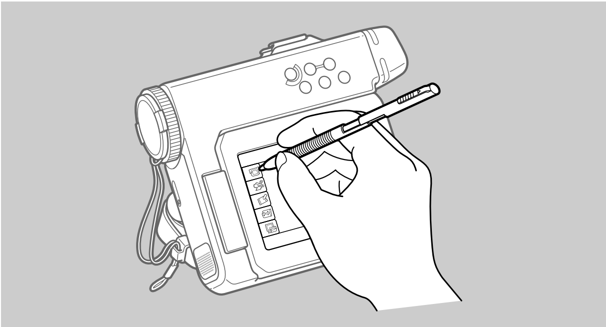
トラック名
　数字に続いてアイウエオ順で表示します。

日付順
　日付けの早い画像から表示します。

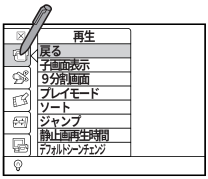
操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

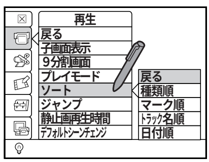
ソートが設定されていると
インデックス画面ではメニューが出ません。(ショートカットメニューは使えます。)

ソートは以下のとき取り消されます
- ディスクを取り出したとき
- 電源スイッチを「切」にしたとき



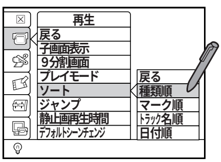
1 インデックス画面で、再生をタッチし、「ソート」をタッチする。





2 希望の順番をタッチする。

ソート画面が表示される。

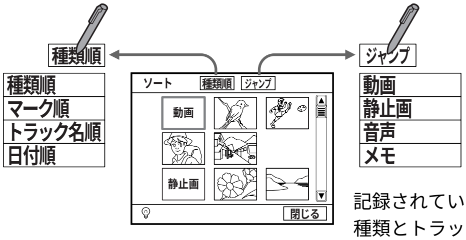


使いこなす—再生—

次のページへつづく

例：「種類順」を選んだ場合

動画や静止画など、画像の種類を示すタイトルトラックが自動的に表示されます。タイトルトラックごとに改行されています。



記録されている画像の種類とトラック名またはタイトル名が表示されます。

❸ **再生したいトラックを再生する。**

画像の種類のタイトルトラックも再生される。

ソートの方法を変える

❶ **順番の項目（ここでは「種類順」が選ばれているので「種類順」）をタッチする。**

❷ **希望の項目をタッチする。**

希望の種類のトラックを表示する

❶ **「ジャンプ」をタッチする。**

ディスクに記録されているトラックの種類とトラック名またはタイトル名が表示される。

❷ **希望の種類をタッチする。**

インデックス画面に戻る

「閉じる」をタッチする。

希望の画像まで飛ばす—ジャンプ

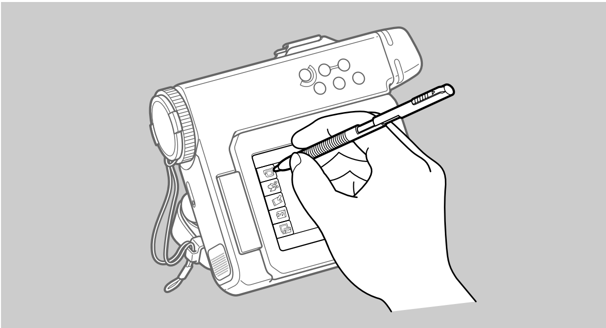
希望のトラックを、タイトル名やトラック名で直接検索することができます。

ディスクにたくさんのトラックが記録されている場合などに便利です。

タイトル名
タイトル機能を使って作成したタイトル名（103ページ）、または自動日付タイトル機能を使ってつけた撮影日時（117ページ）

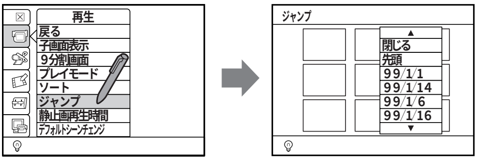
トラック名
トラック情報画面で入力したトラック名（76ページ）

操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。



❶ インデックス画面で、**再生をタッチし、「ジャンプ」をタッチする。**

タイトル名やトラック名のリストが表示される。



スクロールするには、▲や▼をタッチするか、コントロールダイヤルを回します。

❷ **リストの中の希望の項目をタッチする。**

インデックス画面に戻り、選んだトラックに枠が付く。

検索を中止する

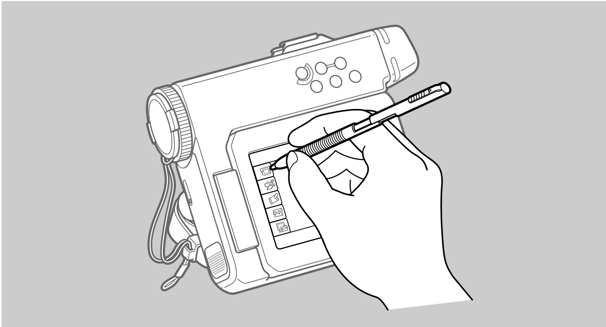
リストの中の「閉じる」をタッチする。

静止画の再生時間を設定する

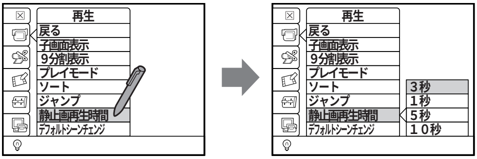
静止画や、メモ、タイトルトラックの再生時間を約1秒、約3秒、約5秒、約10秒に設定できます。お買い上げ時は、約3秒に設定されています。

操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

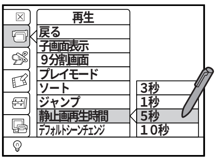
再生時間は
設定し直すまで、変わりません。



❶ インデックス画面で、 **再生をタッチし、「静止画再生時間」をタッチする。**

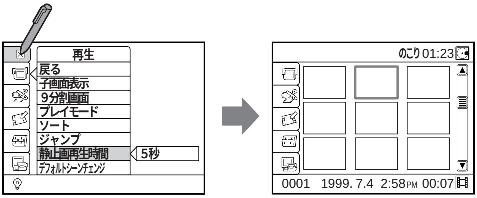


❷ **希望の再生時間をタッチする。**



❸ ☒をタッチしてメニューを閉じる。

インデックス画面に戻る。



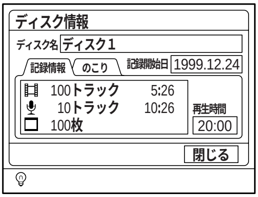
❹ 再生したいトラックを再生する。

使いこなす―再生―

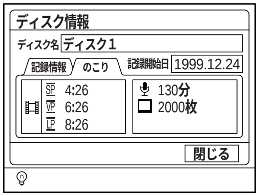
ディスクの情報を見る–ディスク情報

ディスクに記録されているトラック数、残り
時間などを見ることができます。

ディスク情報画面



ディスク残量画面



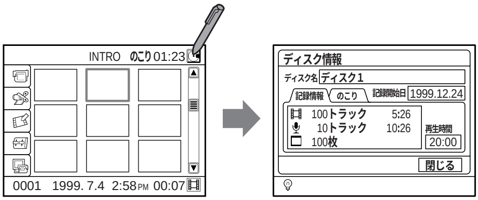
再生時間は
設定された静止画再生時間を元にすべてのトラックを再生したときの総時間です。（ディスク情報画面に表示されていないメモやタイトルトラックも含みます。）

10時間を超える場合は
「10HOver」と表示されます。

のこりは
- 撮影可能時間または枚数です。
- VPモードにすると表示されている時間より長く撮れることがあります。

❶ インデックス画面右上のをタッチする。

ディスク情報画面が出る。



❷ ディスク残量を見るときは、「のこり」をタッチする。

❸ 「閉じる」をタッチしてディスク情報画面を消す。

ディスクに名前をつける

50文字までの名前をつけられます。

❶ ディスク情報画面の「ディスク名」ボックスをタッチする。

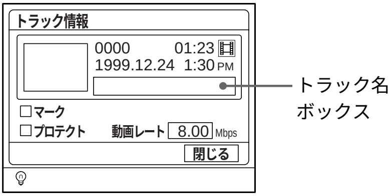
文字入力画面が出る。

❷ 文字を入力する（100ページ）。

トラックごとの情報を見る–トラック情報

トラックの種類や、撮影日、動画レートなどを見ることができます。情報は、トラックごとに記憶されています。

トラック情報画面



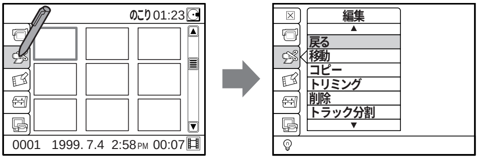
操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

トラック情報を直接表示できます
インデックス画面でトラックを選び、画面最下段のトラック情報をタッチするとトラック情報画面が表示されます。

動画レートは
動画トラックのみ表示されます。VPモードで記録されたときは平均レートを示します。

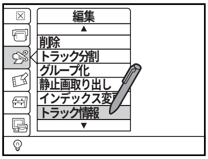
他のトラックの情報を見たいときは
「継続」をタッチします。

❶ 編集をタッチする。



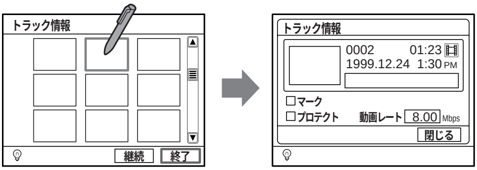
スクロールするには、▲や▼をタッチするか、コントロールダイヤルを回します。

❷ 「トラック情報」をタッチする。



❸ 表示したいトラックをタッチする。

トラック情報画面が出る。



❹ 「閉じる」をタッチしてトラック情報画面を消す。

❺ 「終了」をタッチする。

「お待ちください」表示のあとインデックス画面に戻る。

編集する

トラックに名前をつける

50文字までの名前をつけられます。

❶ トラック情報画面のトラック名ボックスをタッチする。

文字入力画面が出る。

❷ 文字を入力する（100ページ）。

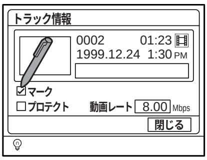
記録できる文字数は
1トラックに50文字、1ディスクに5,000文字まで記録できます。

以下のときはトラックに名前をつけられません
- ディスクが書き込み禁止になっているとき
- プロテクトボックスに✔がついているとき

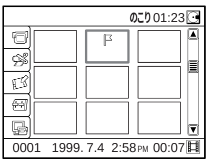
他のトラックと区別する（マーク設定）

特に気に入っているトラックなどにマークを付けて、他のトラックと区別できます。再生メニューの「ソート」で「マーク順」を選ぶと、マークの付いているトラックが先にまとめて表示されます。

❶ トラック情報画面の「マーク」ボックスをタッチして✔を付ける。



インデックス画面では、マーク設定された画像にマークが付きます。



マーク設定を解除する

「マーク」ボックスをタッチして✔を消す。

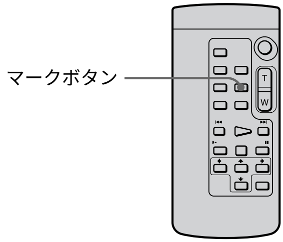
以下のときはマーク設定できません
- ディスクが書き込み禁止になっているとき
- プロテクトボックスに✔がついているとき

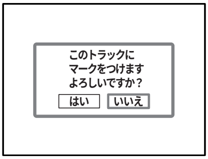
リモコンも使えます
インデックス画面でマーク設定したいトラックを選び、リモコンのマークボタンを押しても設定できます。

再生時にトラックにマークを付ける

❶ マークを付けたいトラックを再生中に、リモコンのマークボタンを押す。

確認メッセージが出て、そのトラックが繰り返し再生される。





❷ ←/→で「はい」を選んで、「決定」を押す。

マークを消す

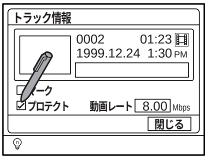
もう一度マークボタンを押す。

ディスクが書き込み禁止になっているときは
プロテクト設定はできません。

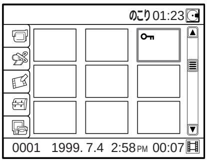
大事な画像を残す（プロテクト設定）

大切な画像を誤って消さないために、トラックに誤消去防止（プロテクト）設定ができます。

❶ トラック情報画面の「プロテクト」ボックスをタッチして✔を付ける。



インデックス画面では、プロテクト設定されたトラックに⊶（プロテクト）マークが付きます。



プロテクト設定を解除する

「プロテクト」ボックスをタッチして✔を消す。

インデックスを変更する–インデックス変更

動画の場合、インデックス画面にはトラックの最初の場面がインデックスとして表示されます。それを、希望の場面に変更することができます。

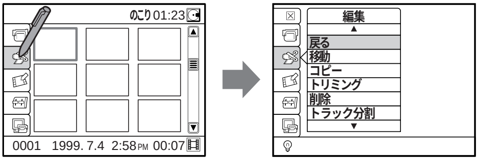
操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。また、リモコンを使うこともできます。

以下のときはインデックスを変更できません
- ディスクが書き込み禁止になっているとき
- トラックがプロテクトされているとき

インデックスには
落書き、シーンチェンジ、ピクチャーエフェクトの効果は表示されません。

「インデックス変更」はショートカットメニューで選ぶこともできます
再生または一時停止中に、メニューボタンを押すと、ショートカットメニューが表示されます。

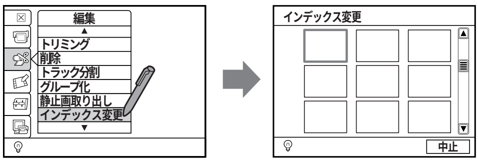
❶ 編集をタッチする。



スクロールするには、▲や▼をタッチするか、コントロールダイヤルを回します。

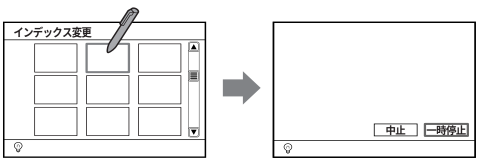
❷ 「インデックス変更」をタッチする。

インデックス変更画面になる。



❸ インデックスを変更をしたいトラックをタッチする。

選んだトラックが再生される。



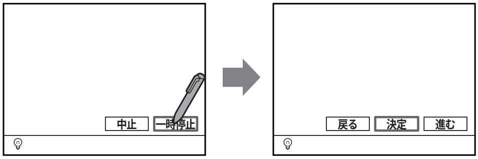
次のページへつづく

インデックスを変更する－インデックス変更（つづき）

位置調整は
コントロールダイヤルを回して位置を調整し、ダイヤルを押して決定することもできます。

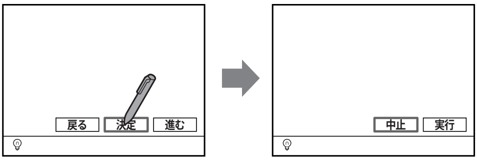
他のトラックのインデックスを変更したいときは
「継続」をタッチします。

❹ インデックスに表示したい場面で、「一時停止」をタッチする。



インデックス変更を中止するときは、「中止」をタッチします。

❺ 「進む」または「戻る」をタッチして位置を調節し、「決定」をタッチする。



❻ 「実行」をタッチする。

「お待ちください」表示のあと、インデックス変更画面に戻る。

❼ 「終了」をタッチする。

インデックス画面に戻る。

再生または一時停止中にインデックスを変更する

❶ インデックスにしたい場面で、リモコンのインデックス変更ボタンを押す。

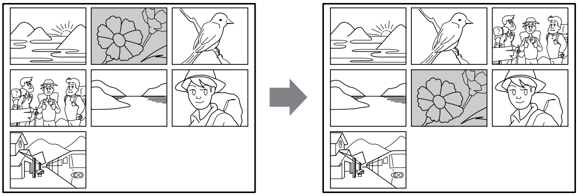
確認メッセージが出る。

❷ ←/→で「実行」を選んで、「決定」を押す。

「お待ちください」表示のあと、再生に戻る。

トラックを移動する

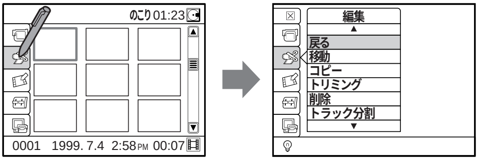
トラックを1枚ずつ、または複数のトラックをまとめて、希望の位置に移動することができます。



操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

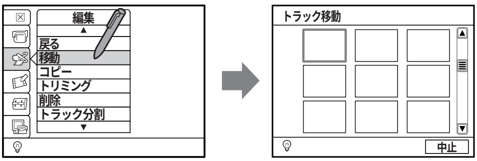
ディスクが書き込み禁止になっているときは
移動できません。

❶ **編集をタッチする。**

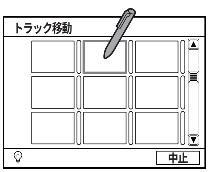


❷ **「移動」をタッチする。**

トラック移動画面になる。



❸ **移動したいトラックをタッチする。**



次のページへつづく

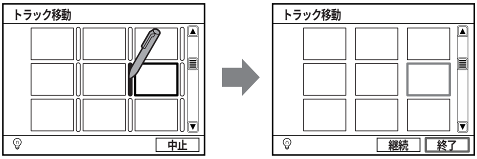
編集する

移動を中止するときは
「中止」をタッチします。

他の画像も移動するときは
手順5で「継続」をタッチして、手順3と4を繰り返します。

4 移動したい位置（トラックとトラックの間）をタッチする。

トラックが移動する。



5 「終了」をタッチする。

「お待ちください」表示の後に、インデックス画面に戻る。

複数のトラックを一緒に移動する

トラックをグループ化してから、移動します。

1 複数のトラックをグループ化する（94ページ）。

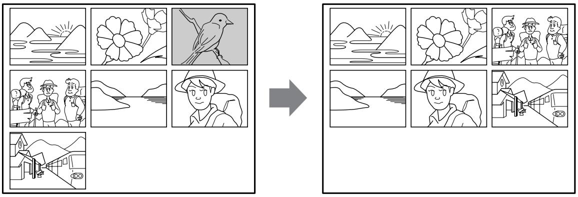
2 手順1〜5を行う。

トラックを削除する

不要なトラックを1枚ずつ、または複数のトラックをまとめて、削除することができます。

ご注意

削除したトラックは復活できません。消す前にトラックの内容をよく確認してください。



操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

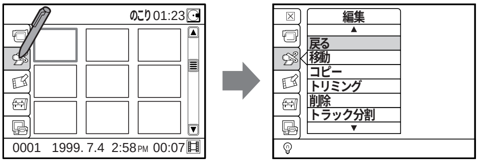
グループ化されているトラックは
1トラックとみなされて削除されます。

以下のときはトラックを削除できません
- ディスクが書き込み禁止になっているとき
- トラックがプロテクトされているとき

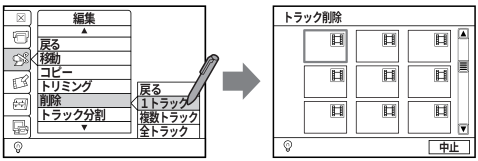
削除ボタンも使えます
削除したいトラックを選んで、削除ボタンを押します。選んだトラックが削除されます。

1つのトラックを削除する

❶ 編集をタッチする。

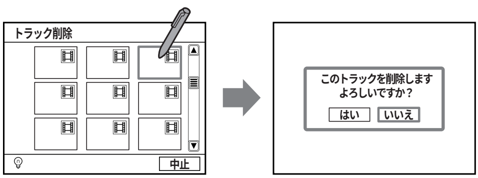


❷ 「削除」をタッチし、「1トラック」をタッチする。



❸ 削除したいトラックをタッチする。

確認メッセージが出て、選んだトラックが繰り返し再生される。



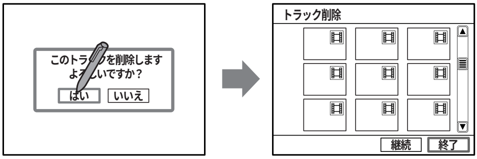
次のページへつづく

削除を中止するときは
「いいえ」をタッチします。

他のトラックを削除するときは
「継続」をタッチします。

ディスク残量は
トラックを削除しても増えないことがあります。

❹ 「はい」をタッチする。



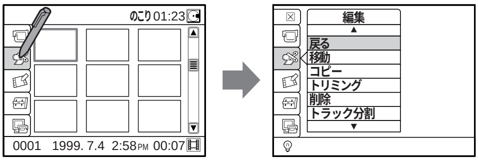
❺ 「終了」をタッチする。

「お待ちください」表示の後に、インデックス画面に戻る。

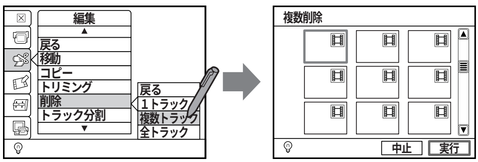
トラックが削除され、カーソルは削除したトラックの次のトラックに移動する。

複数のトラックを一緒に削除する

❶ 編集をタッチする。



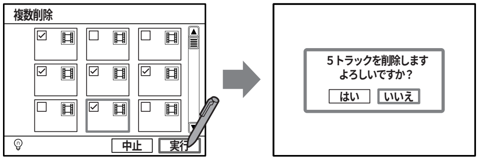
❷ 「削除」をタッチし、「複数トラック」をタッチする。



削除を中止するときは
「いいえ」をタッチします。

❸ 削除するトラックの左肩の窓をタッチして✔を付け、「実行」をタッチする。

確認メッセージが出る。



❹ 「はい」をタッチする。

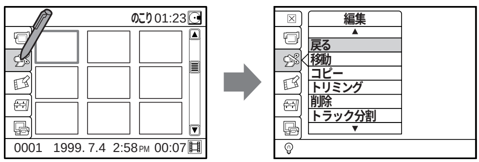
「お待ちください」表示の後に、インデックス画面に戻る。

トラックが削除され、カーソルは先頭のトラックに移動する。

すべてのトラックを一度に削除する

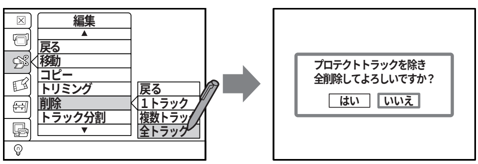
プロテクトされているトラックは削除されません。

❶ 編集をタッチする。



❷ 「削除」をタッチし、「全トラック」をタッチする。

確認メッセージが出る。



次のページへつづく

トラックを削除する（つづき）

削除を中止するときは
「いいえ」をタッチします。

❸ 「はい」をタッチする。

プロテクト設定されているトラックを除いて、すべて削除される。

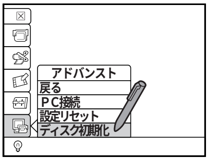
プロテクト設定されたトラックがない場合は、全トラックが削除され、ディスク名も消されます。

ディスクのすべての内容を削除する ー 初期化

❶ アドバンストをタッチする。

❷ 「ディスク初期化」をタッチする。

確認メッセージが出る。

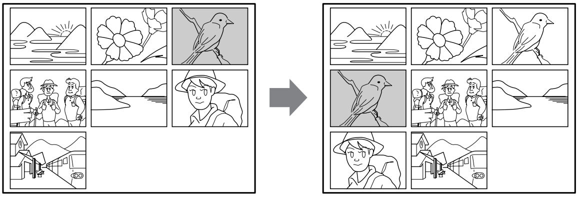


❸ 「はい」をタッチする。

ディスクの内容がすべて消去される。

トラックをコピーする

トラックを1つずつ、または複数のトラックをまとめて同じディスク内にコピーすることができます。



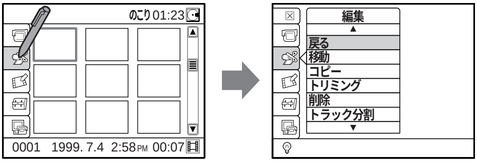
操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

ディスクが書き込み禁止になっているときは
コピーできません。

ディスク残量は
トラックをコピーしても変わりません。

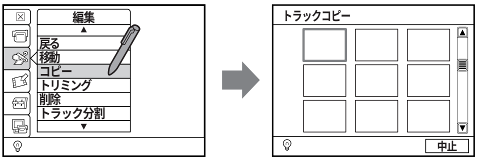
バックアップにも使えます
編集前に画像をコピーしてから行うと、誤消去などを防ぐことができます。

❶ 編集をタッチする。

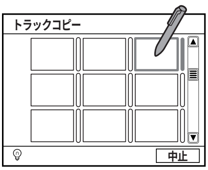


❷ 「コピー」をタッチする。

トラックコピー画面になる。



❸ コピーしたいトラックをタッチする。



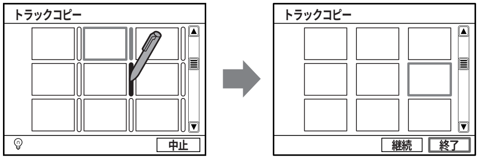
次のページへつづく

コピーを中止するときは
「中止」をタッチします。

他のトラックをコピーするときは
「継続」をタッチします。

❹ コピー先（トラックとトラックの間）をタッチする。

コピー先に新しいトラックができる。



❺ 「終了」をタッチする。

「お待ちください」表示の後に、インデックス画面に戻る。

複数のトラックをコピーする

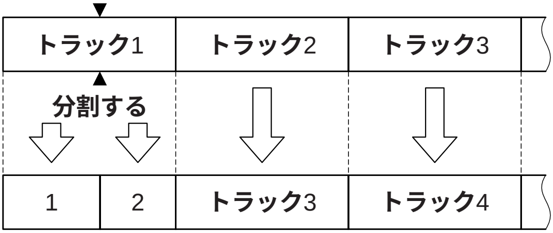
トラックをグループ化してから、コピーします。

❶ 複数のトラックをグループ化する（94ページ）。

❷ 手順1〜5を行う。

トラックを分割する

動画トラックの希望の位置で、トラックを分けることができます。



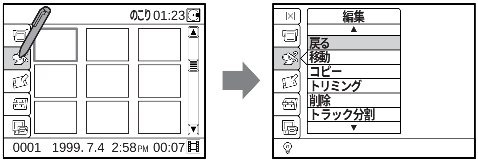
操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

トラック分割を中止するときは
「中止」をタッチします。

以下のときはトラック分割できません
- トラックの記録時間が約2秒以下のとき
- ディスクが書き込み禁止になっているとき
- トラックがプロテクトされているとき

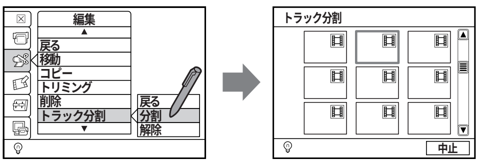
分割位置は
分割後のいずれのトラックも最低約0.5秒の長さになるように、自動的に分割位置が調整されます。

❶ 編集をタッチする。



❷ 「トラック分割」をタッチし、「分割」をタッチする。

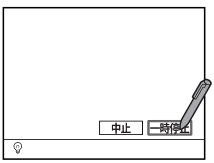
トラック分割画面になる。



❸ 分割したいトラックをタッチする。

選んだトラックが繰り返し再生される。

❹ 分割したいところで、「一時停止」をタッチする。



編集する

次のページへつづく

トラックを分割する（つづき）

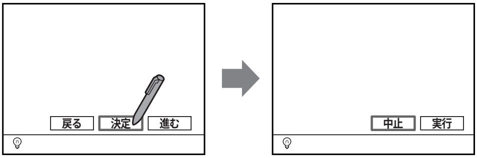
位置調整は
コントロールダイヤルを回して位置を調整し、ダイヤルを押して決定することもできます。

分割されてできたトラックのインデックスは
分割点の画像がインデックスになります。

分割されてできたトラックの撮影日時は
元のトラックと同じです。

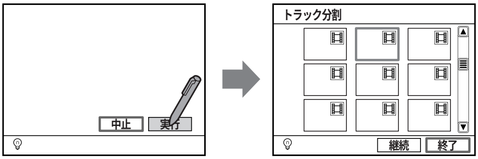
他のトラックを分割するときは
「継続」をタッチします。

❺ 「進む」または「戻る」をタッチして位置を調節し、「決定」をタッチする。



❻ 「実行」をタッチする。

「お待ちください」表示の後に、インデックス画面に戻る。分割されてできたトラックが元のトラックの次に表示される。



❼ 「終了」をタッチする。

続けて分割したトラックを戻すときは
手順5で「継続」をタッチします。

分割したトラックを元に戻す

分割したトラックが移動したりしていると元に戻せません。元通りに並べてから以下の操作を行います。

❶ **編集をタッチする。**

❷ **「トラック分割」をタッチし、「解除」をタッチする。**

トラック分割解除画面になる。

❸ **分割したトラックの最初のトラックをタッチする。**

確認メッセージが出る。

❹ **「はい」をタッチする。**

3で選んだトラックとその後のトラックが結合する。

❺ **「終了」をタッチする。**

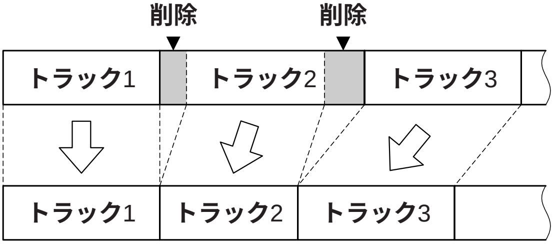
「お待ちください」表示のあと、インデックス画面に戻る。

動画の必要な部分だけを残す－トリミング

「トリミング」では、動画の前後の不要な部分（例えば電源を切り忘れて撮ってしまった地面など）を削除して、必要な場面だけを残すことができます。

ご注意

トリミングして削除した部分は復活できません。削除する前に内容をよく確認してください。



操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

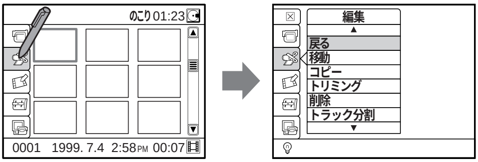
トリミングを中止するときは
「中止」をタッチします。

以下のときはトリミングできません
- トラックの記録時間が約2秒以下のとき
- ディスクが書き込み禁止になっているとき
- トラックがプロテクトされているとき

トリミング位置は
トリミング後のトラックが最低約0.5秒になるように、自動的にトリミング位置が調整されます。

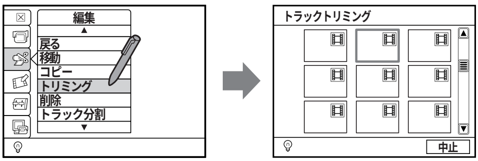
シーンチェンジの設定は
トリミングすると解除されます。

❶ 編集をタッチする。



❷ 「トリミング」をタッチする。

トラックトリミング画面になる。



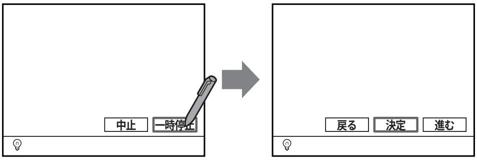
❸ トリミングするトラックをタッチする。

選んだトラックが繰り返し再生される。

位置調整は
コントロールダイヤルを回して位置を調整し、ダイヤルを押して決定することもできます。

続けて他のトラックをトリミングするときは
「継続」をタッチします。

❹ ここから残したい場面で、「一時停止」をタッチする。

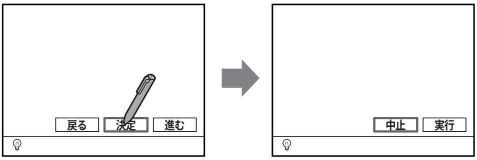


❺ 「進む」または「戻る」をタッチして位置を調節し、「決定」をタッチする。

❻ ここまで残したい場面で、「一時停止」をタッチする。

❼ 「進む」または「戻る」をタッチして位置を調節し、「決定」をタッチする。

残した場面が再生される。



❽ 「実行」をタッチする。

「お待ちください」表示の後に、インデックス画面に戻る。

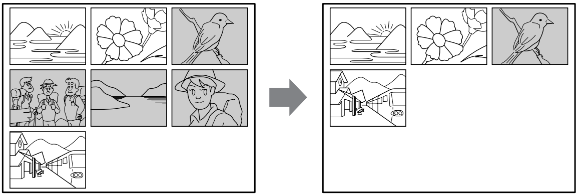
複数のトラックをくくる−グループ化

いくつかのトラックをひとまとめにして、インデックス画面に表示することができます。

トラック数が多いときや、一気に移動したりコピーしたりするときに便利です。

グループに入れることができるのは、インデックス画面上で連続したトラックです。

グループトラックのインデックスには🗗アイコンが表示されます。



操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

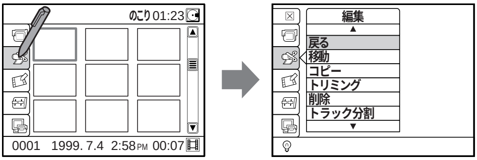
グループ化を中止するときは
「中止」をタッチします。

ディスクが書き込み禁止になっているときは
グループ化できません。

グループ化するトラックにプロテクトされているトラックが入っていると
グループトラックはプロテクトされたトラックになります。
このグループトラックのトラック情報画面でプロテクトをはずすと、グループ内の全トラックのプロテクトがはずれます。

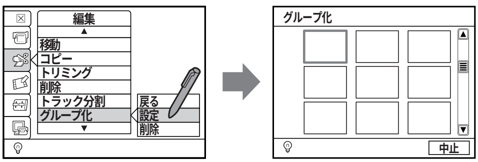
二重にグループ化できます
グループトラックをさらにまとめてグループ化することもできます。
このグループトラックをグループ解除すると、元のグループも解除されます。

❶ 編集をタッチする。

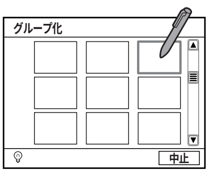


❷ 「グループ化」をタッチし、「設定」をタッチする。

グループ化画面になる。



❸ グループにまとめる最初のトラックをタッチする。



他のトラックをグループ化するときは
「継続」をタッチします。

グループ化したトラックでは以下の操作はできません

- 再生
  9分割画面（ショートカットメニューからは選べます。）
- 編集
  ートリミング
  ートラック分割
  ー静止画取り出し
  ーインデックス変更
- 落書き／効果
  ー落書き
  ーシーンチェンジ
  ーピクチャーエフェクト

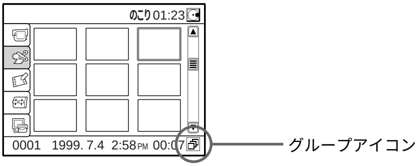
他のグループトラックをグループ解除するときは
「継続」をタッチします。

❹ グループにまとめる最後のトラックをタッチする。

❺ 「終了」をタッチする。

「お待ち下さい」表示の後に、インデックス画面に戻る。

グループの最初のトラックのインデックスのみが表示される。



グループ化を解除する

移動やコピーをした後で、各トラックをインデックス画面に表示するときは、グループ化を解除します。

❶ 編集をタッチする。

❷ 「グループ化」をタッチし、「解除」をタッチする。

❸ グループ化したトラックをタッチする。

グループ化されていたすべてのトラックが表示される。

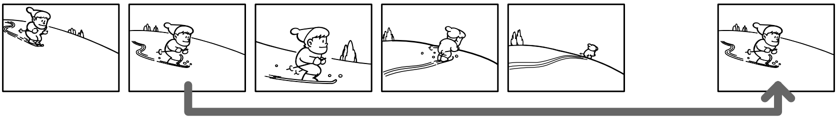
❹ 「終了」をタッチする。

「お待ちください」表示の後に、インデックス画面に戻る。

動画の一部を静止画にする–静止画取り出し

動画の希望の場面を静止画にすることができます。静止画が別の新しいトラックになります。

動画　　　　　　　　　　　　　　　取り出した静止画



操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

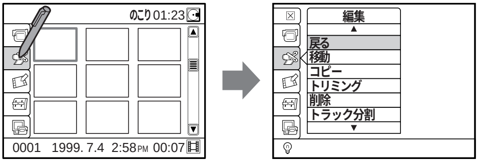
静止画取り出しを中止するときは
「中止」をタッチします。

ディスクが書き込み禁止になっているときは
静止画取り出しはできません。

静止画取り出しでできたトラックの画質は
フォト撮影した静止画より劣ります。

元の動画トラックの効果は
静止画取り出しのトラックには、シーンチェンジ、ピクチャーエフェクトの効果はつきません。

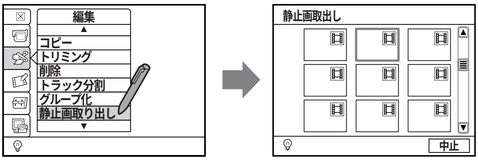
❶ 編集をタッチする。



スクロールするには、▲や▼をタッチするか、コントロールダイヤルを回します。

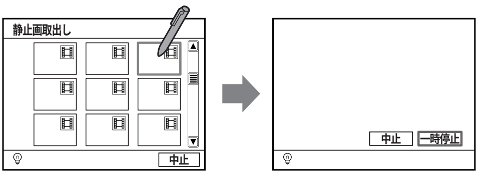
❷ 「静止画取り出し」をタッチする。

静止画取り出し画面になる。



❸ 静止画にしたい場面が入っているトラックをタッチする。

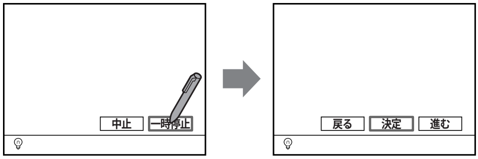
選んだトラックが再生される。



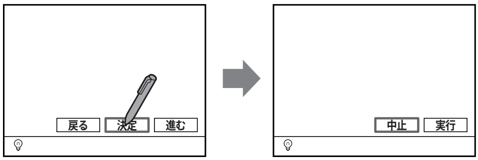
位置調整は
コントロールダイヤルを回して位置を調整し、ダイヤルを押して決定することもできます。

続けて静止画取り出しをするときは
「継続」をタッチします。

❹ 静止画にしたい場面で、「一時停止」をタッチする。



❺ 「進む」または「戻る」をタッチして位置を調節し、「決定」をタッチする。



❻ 「実行」をタッチする。

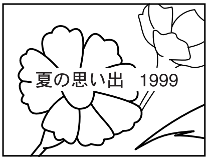
「お待ちください」表示の後に、選んだ場面が新しい静止画トラックとして、元のトラックの次に表示される。

❼ 「終了」をタッチする。

インデックス画面に戻る。

画像に落書きする

動画と静止画トラックに、文字やイラストを直接書き込むことができます（上書き／修正）。



また、白紙にメモを書くこともできます（新規メモ）。

落書きは、後で消すこともできます。

落書きしたトラックのインデックスにはアイコンが表示されます。

メモトラックのインデックスにはアイコンが表示されます。

操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

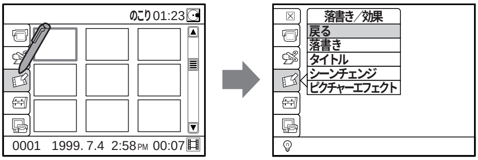
落書きをやめるときは
「中止」をタッチします。それまでの操作はすべて取り消されます。

以下のときは落書きできません
- ディスクが書き込み禁止になっているとき
- トラックがプロテクトされているとき

「落書き」はショートカットメニューで選ぶこともできます
再生または一時停止中に、メニューボタンを押すと、ショートカットメニューが表示されます。

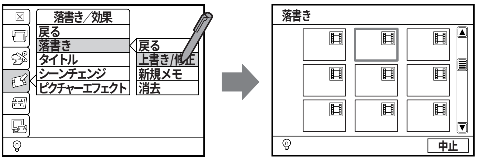
画像に書き込む

❶ 落書き／効果をタッチする。



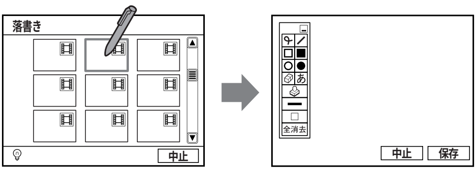
❷ 「落書き」をタッチし、「上書き／修正」をタッチする。

落書き画面になる。



❸ 書き込みをするトラックをタッチする。

イラストツールが出て、選んだトラックが繰り返し再生される。

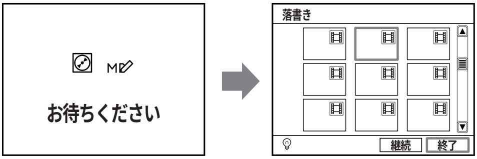


続けて落書きをするときは
「継続」をタッチします。

❹ 文字やイラストを入れて、「保存」をタッチする。

「お待ちください」表示の後、落書き画面になる。

次ページの「文字やイラストの入れかた」をご覧ください。



❺ 「終了」をタッチする。

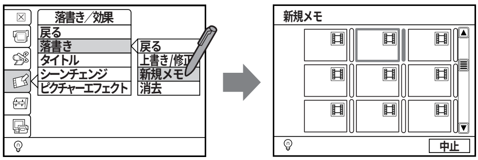
インデックス画面に戻る。

白紙に書く

「新規メモ」で作ったトラックを修正するときは
「上書き／修正」を選び、修正したいトラックを選びます。

❶ 落書きメニューの「新規メモ」をタッチする。

新規メモ画面になる。



❷ メモ画面を入れたい位置（トラックとトラックの間）をタッチする。

黒い背景にイラストツールが表示される。

❸ 文字やイラストを入れて、「保存」をタッチする。

「お待ちください」表示の後、新規メモ画面になる。

次ページの「文字やイラストの入れかた」をご覧ください。文字は一度に12字まで入れられます。

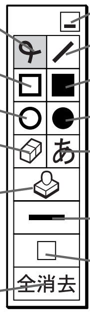
❹ 「終了」をタッチする。

インデックス画面に戻る。

文字やイラストの入れかた

イラストツール

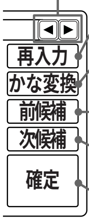
描きたいツールをタッチして、液晶画面に入力ペンで絵を描きます。



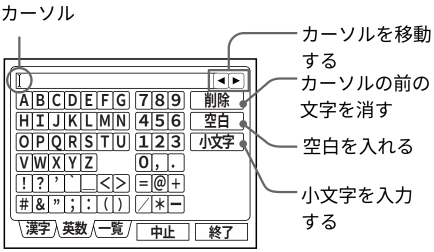
文字入力画面

文字入力画面には、かな入力画面、英数字入力画面、漢字／記号入力画面があります。

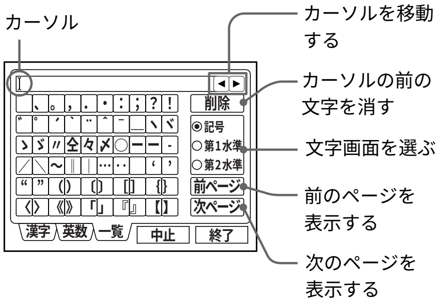




英数字入力画面



漢字／記号入力画面



「夏の思い出　1999」を入力する

例として、「夏の思い出　1999」を入力してみましょう。

❶ **「漢字」をタッチして、かな入力画面を出す。**

❷ **なつのおもいて゛をタッチする。**



❸ **「変換」をタッチする。**

正しく変換されないときは、◀/▶で文字範囲を選び、言葉ごとに変換してください。

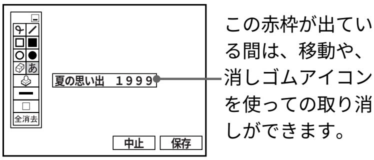


❹ **「英数」をタッチする。**

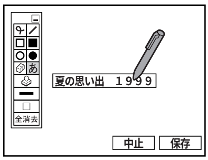
❺ **「出」の後ろに空白を入れるために、「空白」をタッチする。**

❻ **「1」「9」「9」「9」をタッチする。**

❼ **「終了」をタッチする。**



❽ **赤枠の中をタッチして、希望の場所に移動する。**



❾ **「保存」をタッチする。**

「お待ちください」表示の後に、落書き画面に戻る。

❿ **「終了」をタッチする。**

削除を取り消すときは
「いいえ」をタッチします。

落書きアイコンは
「上書き／修正」で全消去しても消えません。「消去」で行ってください。

「メモ」を消すときは
「編集」の「削除」で、メモトラックを削除します。

続けて落書きを消去するときは
手順4で「継続」をタッチします。

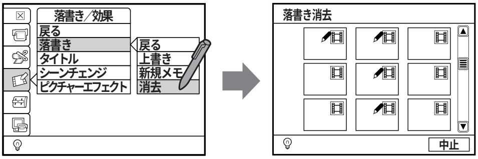
落書きを消す

消した落書きは、元に戻せませんのでご注意ください。

落書きを消しても元の動画や静止画は消えません。

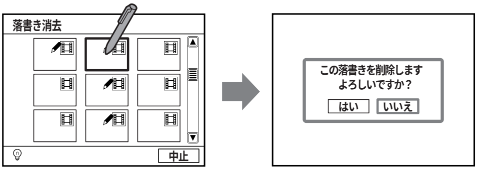
❶ 落書きメニューの「消去」をタッチする。

落書き消去画面になる。



❷ 落書きを消したいトラックをタッチする。

確認メッセージが出て、選ばれたトラックが繰り返し再生される。

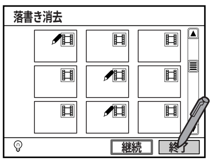


❸ 「はい」をタッチする。

落書きアイコンが消える。

❹ 「終了」をタッチする。

「お待ちください」表示の後に、インデックス画面に戻る。



トラックの間にタイトルトラックをはさむ

トラックの間にタイトルを入れて、検索するときの目安にしたり、ディスク内でトラックを分類したりすることができます。

タイトル画面は1トラックになります。

「タイトル挿入」画面で作成したタイトルトラックは、再生時のソートやジャンプで検索できます。

タイトルトラックのインデックスには□アイコンが表示されます。

操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

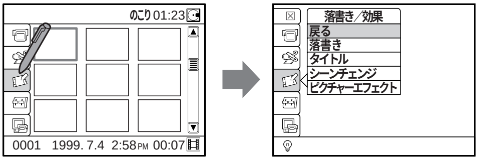
タイトル作成を中止する
「中止」をタッチします。

タイトルトラックのトラック名は
ここで入力したタイトルと同じです。

トラック情報画面でトラック名を変更すると
自動的にタイトルも変わります。

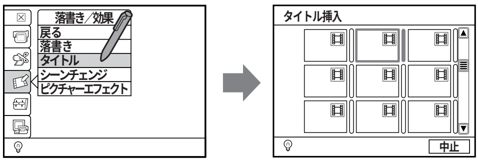
続けてタイトルトラックを作成するときは
「継続」をタッチします。

❶ 「落書き／効果」をタッチする。



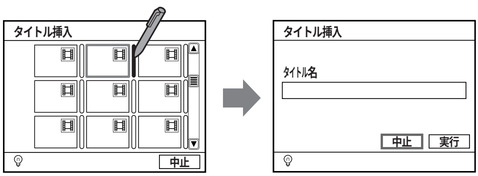
❷ 「タイトル」をタッチする。

タイトル挿入画面が出る。



❸ タイトルトラックを挿入する場所（トラックとトラックの間）をタッチする。

タイトル挿入画面が出る。



次のページへつづく

落書き・効果

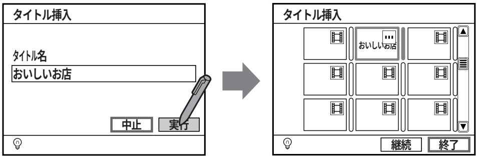
❹ タイトル名のボックスにタッチする。

文字入力画面が表示される。

文字入力のしかたは、100ページをご覧ください。

❺ タイトルを入力して、「実行」をタッチする。

作成したタイトルが表示される。



❻ 「終了」をタッチする。

「お待ちください」表示の後に、インデックス画面に戻る。

場面転換に特殊効果をつける－シーンチェンジ

フェードインやフェードアウト、ワイプなどの効果を使い、場面転換を演出することができます。シーンチェンジは、動画と静止画にのみ設定できます。シーンチェンジの設定はディスクに記録されます。

トラックの始めと終わりにかける効果

- **フェード**
  画像が徐々に現れ、徐々に消えていく
- **ワイプ**
  黒画面が開いて画像が現れ、黒画面におおわれて画像が消える
- **モザイク**
  モザイクが徐々に細かくなって画像が現れ、徐々に粗くなって画像が消えていく

2トラックにまたがってかける効果

- **クロスフェード**
  前のトラックが徐々に消えていくのと同時に、次のトラックが徐々に現れる
- **クロスワイプ**
  前のトラックがめくられるように、その下から次のトラックが出てくる
- **クロスディゾルブ**
  細かい砂をちりばめるように、画像が切り替わっていく

トラックの終わりのみにかける効果

- **ブラックアウト**
  各トラックが終わると黒画面を表示する
- **ホールド**
  各トラックの最後の場面を一時停止で表示する

操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

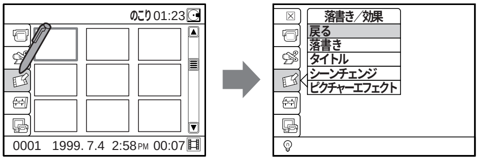
シーンチェンジの設定を中止するときは
「中止」をタッチします。それまでの設定はすべて取り消されます。

2トラックにまたがってかける効果は
前のトラック側（消えていくトラック）に設定します。

クロスフェード、クロスワイプ、クロスディゾルブは

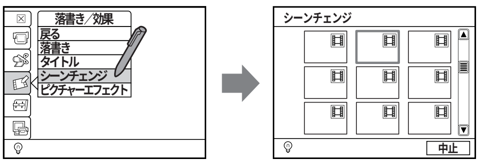
- 後ろのトラックが動画または静止画でないときは、手順4の設定画面に表示されません。
- 後ろのトラックにインの効果がつけられると取り消されます。
- トラックを移動したときは取り消されます。
- トラック間に移動やコピーで他のトラックが挿入されると、取り消されます。

❶ 落書き／効果をタッチする。

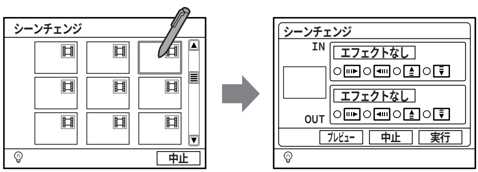


❷ 「シーンチェンジ」をタッチする。

シーンチェンジ画面になる。



❸ 効果をかけるトラックをタッチする。



落書き・効果

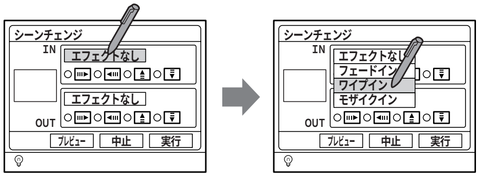
次のページへつづく

ワイプとクロスワイプを選んだときは
切り換え方向をタッチして選びます。

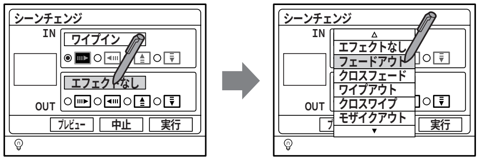
以下のときはシーンチェンジを設定できません
- ディスクが書き込み禁止になっているとき
- トラックがプロテクトされているとき

以下のときはシーンチェンジの効果が再生されません
- 子画面、2画面、9分割画面（拡大時も含む）
- 静止画の再生時間が1秒に設定されているとき
- 記録時間が短い動画トラック

❹ **トラックを出すとき（イン）の効果と方向をタッチする。**



❺ **トラックを消すとき（アウト）の効果と方向をタッチする。**



❻ **「プレビュー」をタッチする。**

前のトラックの終わり5秒とそのトラック、後ろのトラック5秒が効果をつけて再生される。

❼ **画像を確認して「戻る」をタッチする。**

❽ **「実行」をタッチする。**

❾ **「終了」をタッチする。**

「お待ちください」表示の後に、インデックス画面に戻る。

続けてシーンチェンジを設定するときは
「継続」をタッチします。

シーンチェンジを取り消す

「エフェクトなし」を選ぶ。

デフォルトシーンチェンジの設定は
電源スイッチを「切」にしても保持されます。

「編集」の「シーンチェンジ」でトラックに効果が設定されているときは
「シーンチェンジ」の設定が優先されます。

以下のときはデフォルトシーンチェンジの効果が再生されません
- 静止画の再生時間が1秒に設定されているとき
- 記録時間が短い動画トラック

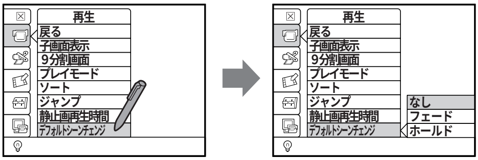
グループトラックでは
グループ内の個々のトラックに効果がつきます。

全トラックにフェードやホールド効果をかけて再生する

トラックが切り替わるときに、フェードまたはホールド効果をかけて再生することができます。

この効果はディスクには記録されません。

❶ インデックス画面で、再生をタッチし、「デフォルトシーンチェンジ」をタッチする。



❷ 「フェード」または「ホールド」をタッチする。

❸ ☒をタッチして、メニュー画面を閉じる。

インデックス画面に戻る。

❹ 最初に再生したいトラックを再生する。

選んだ効果がかかる。

効果をかけるのをやめる

「デフォルトシーンチェンジ」で「なし」を選ぶ。

画像に効果をかける–ピクチャーエフェクト

動画または静止画に、セピアやモザイクなどのデジタル処理をして画像効果を加えることができます。

画像効果はトラック全体にかかります。

画像効果の設定はディスクに記録されます。

セピア
古い写真のようなセピア色になる。

モノクロ
白黒の画像になる。

モザイク
タイルを組み合わせたようになる。

スロー
スロー再生する。他のデジタル効果と重複してかけられる。

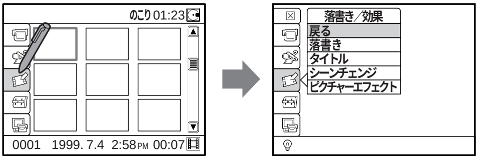
操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

画像効果をかけるのをやめるときは
「中止」をタッチします。それまでの操作はすべて取り消されます。

以下のときはピクチャーエフェクトを設定できません
- ディスクが書き込み禁止になっているとき
- トラックがプロテクトされているとき

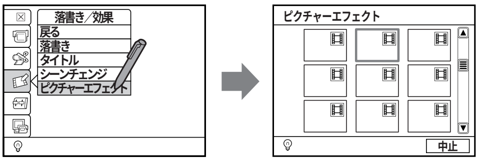
セピア、白黒、モザイク効果は
子画面、2画面、9分割画面(拡大時も含む)ではつきません。

❶ 落書き／効果をタッチする。

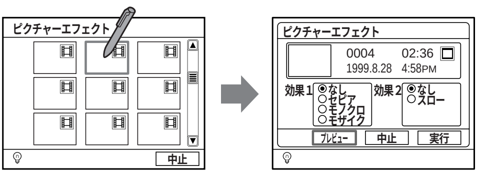


❷「ピクチャーエフェクト」をタッチする。

ピクチャーエフェクト画面になる。

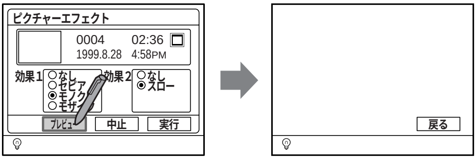


❸ 効果をかけるトラックをタッチする。



❹ 入れたい効果にタッチして丸を黒くし、「プレビュー」をタッチする。

選んだ効果が、プレビュー画面で実演される。



❺ 画像を確認して、「戻る」をタッチする。

❻ 「実行」をタッチする。

続けてピクチャーエフェクトを設定するときは
「継続」をタッチします。

❼ 「終了」をタッチする。

「お待ちください」表示の後に、インデックス画面に戻る。

かけた効果を取り消す

「なし」を選ぶ。

液晶画面の明るさや色の濃さを調節する

ご注意

液晶画面が閉じているときは設定できません。

操作について

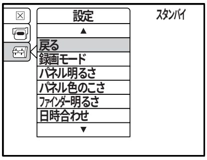
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

1 「カメラ」、「再生／編集」または「インタビュー」のとき

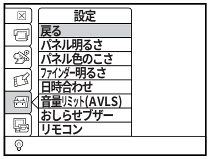
メニューボタンを押す。

2 **設定をタッチする。**

「カメラ」と「インタビュー」モードのとき



「再生／編集」モードのとき



3 **明るさを調節するときは、「パネル明るさ」をタッチする。**

色の濃さを調節するときは、「パネル色のこさ」をタッチする。

4 **コントロールダイヤルを回して調節し、ダイヤルを押す。**

調整バーが消える。

パネル明るさ



色のこさ



ファインダーの明るさを調節する

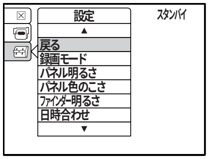
ご注意

ファインダーが消えているときは設定できません。

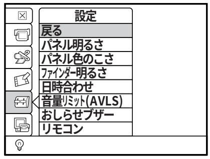
1 「カメラ」、「再生／編集」または「インタビュー」のとき
メニューボタンを押す。

2 **コントロールダイヤルを回して設定を選び、ダイヤルを押す。**

「カメラ」と「インタビュー」モードのとき



「再生／編集」モードのとき



3 **コントロールダイヤルを回して「ファインダー明るさ」を選び、ダイヤルを押す。**

4 **ファインダーをのぞきながら、コントロールダイヤルを回して明るさを調節し、ダイヤルを押す。**

調整バーが消える。



日付・時刻を合わせ直す

時計を合わせておくと、自動的に撮影日時が記録されます。

お買い上げ時にあらかじめ日付・時刻は設定されていますが、4か月近く使わなかったときなどに、内蔵の充電式ボタン電池が放電して、日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから（133ページ）、時計を合わせなおしてください。

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、
正午は12:00:00PMと表示します。

日時設定をしないと
ディスクには
「　　　　　　　　　が
記録されます。

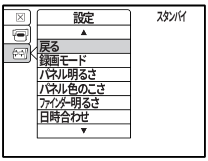
操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

年→月→日→時→分の順で合わせます。

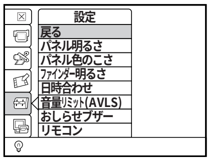
❶ 「カメラ」、「再生／編集」または「インタビュー」のとき
メニューボタンを押す。

❷ **設定をタッチする。**

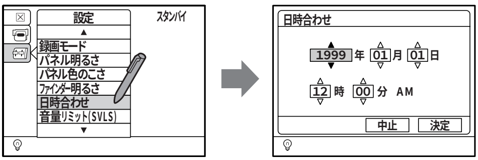
「カメラ」と「インタビュー」モードのとき



「再生／編集」モードのとき



❸ **「日時合わせ」をタッチする。**

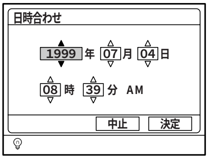


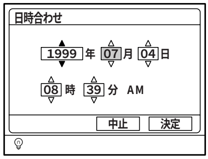
❹ 「年」を合わせる。

コントロールダイヤルを回して「年」を合わせ、ダイヤルを押す。

年表示は次のように変わる。

1999 →2000 →2001 --- →2098

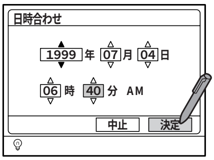




❺ 手順4と同様に「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。

❻ 「秒」を合わせる。

時報と同時に「決定」をタッチする。
時計が動き始める。



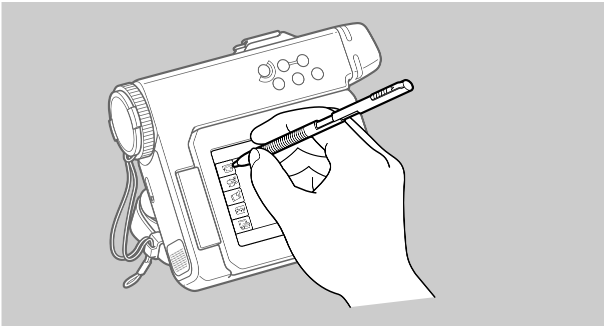
お買い上げ時の設定を変える

メニューで設定を変える

画面上のメニュー項目を、タッチして選択し、本機のお買い上げ時の設定を一部変更することができます。次の順で選択します。
メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

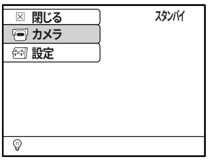
各メニューは
以下のアイコン（絵文字）で区別されています。

- カメラメニュー
- 設定メニュー
- 再生メニュー
- 編集メニュー
- 落書き／効果メニュー
- アドバンストメニュー

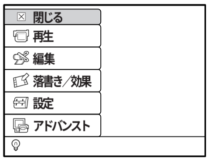


❶ 「カメラ」、「再生／編集」または「インタビュー」のとき
メニューボタンを押す。

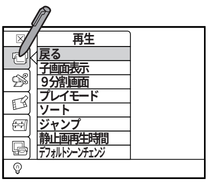
「カメラ」と「インタビュー」モードのとき



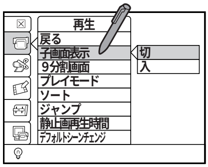
「再生／編集」モードのとき



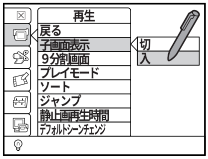
❷ **希望のアイコンをタッチする。**



❸ 希望の項目にタッチする。



❹ 希望の設定にタッチする。



❺ 必要なだけ手順2〜4を繰り返す。

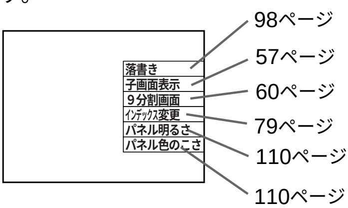
手順2に戻るには「戻る」をタッチする。

❻ ☒をタッチして、またはメニューボタンを押してメニューを閉じる。

ショートカットメニューについて

再生中または一時停止中に、メニューボタンを押すと、ショートカットメニューが出ます。

各メニュー項目を押すと、それぞれの設定や調整画面になります。



ショートカットメニューを消す

メニューボタンを押す。

「カメラ」と「インタビュー」のときのメニュー

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）
セルフタイマー*		設定した待ち時間が経過すると自動的に撮影が始まり、設定した録画時間が経過すると撮影が止まる。（45ページ）
プログラムAE		被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行う。（49ページ）
デジタルズーム	●切	デジタルズームを使用しない（ズームは10倍まで働く）。
	入	ズームが10倍を超えると40倍までデジタルズームが働く。
手ぶれ補正	切	手ぶれ補正が働かない。三脚を使用するときに自然な画像になる。
	●入	手ぶれ補正が働く。
ホワイトバランス		ホワイトバランスを調節する。（55ページ）
オートシャッター	切	明るいときでも電子シャッターが働かない。
	●入	明るいとき、自動的に電子シャッターが働く。
風音低減	●切	ー
	入	「ボコボコ」という風音（低音）を低減する。
録画モード*	●SP（8Mbps）	高画質で録画する。
	VP	被写体に合わせて画質を調節して、データ量を節約する。
	LP（4Mbps）	画質はやや低下するが長時間録画できる。（ただし、実際の動画レートは3.75Mbpsになります。）
パネル明るさ		液晶画面の明るさをコントロールダイヤルを回して、バーで調節する。（110ページ）
パネル色のこさ		液晶画面の色のこさをコントロールダイヤルを回して、バーで調節する。（110ページ）
ファインダー明るさ		ファインダーの明るさをコントロールダイヤルを回して、バーで調節する。（111ページ）
日時合わせ		日付・時刻を合わせ直す。（112ページ）

*「インタビュー」モードでは選べません。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）
音量リミット (AVLS)	●切	調節したままの音量になる。
	入	音量を上げたときに音もれを抑える機能を働かせる。スピーカーにも連動する。
おしらせブザー	切	ブザー音が鳴らない。
	●入	撮影スタート／ストップ時や、その他の操作ボタンを押したときにブザーが鳴る。
録画ランプ	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。
	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。
リモコン	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。
	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。
子画面表示*	●切	撮影スタンバイ時、最終トラックのインデックスを表示する。
	ノーマル	撮影スタンバイ時、最終トラックのインデックスを表示しない。
自動日付タイトル	●切	日付のタイトルトラックができない。
	入	撮影日ごとに自動的に日付のタイトルトラックができる。このタイトルトラックは「ジャンプ」で検索できる。
10秒トラック更新*	●切	録画を止めるまでトラックが更新されず、1トラックに記録される。
	入	動画を撮影中、10秒ごとに自動的にトラックが更新される。（最後のトラックは6秒以上16秒未満になる。）
スタート／ストップモード*	●ノーマル	押すと録画が始まり、もう一度押すと止まる。
	地面撮り防止	押している間だけ録画される。

*「インタビュー」モードでは選べません。

10秒トラック更新でできたトラックの撮影時間は
すべて撮影開始時の時間になります。
10秒自動トラック更新の設定を「入」にして一度に長時間撮影すると、撮影停止後ディスクへの書き込み時間が最大16分かかることがあります。

「再生／編集」のときのメニュー

各設定項目の説明

お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）
子画面表示	●切	表示しない。
	入	トラックの一場面を子画面に表示する。（57ページ）
9分割画面	—	動画の一場面を9枚の連続写真で表示する。（60ページ）
プレイモード	—	繰り返しや順不同で再生する。（63、67、68ページ）
ソート	—	希望の順で再生する。（69ページ）
ジャンプ	—	希望のトラックを直接画面に呼び出す。（71ページ）
静止画再生時間	—	静止画の再生時間を約1、3、5、10秒に設定する。（72ページ）
デフォルトシーンチェンジ	●なし フェード ホールド	トラックの切り替わり時に演出効果を入れる。（107ページ）
移動		トラックを希望の位置に移動する。（81ページ）
コピー	—	トラックを希望の位置にコピーする。（87ページ）
トリミング	—	動画の前後の不要な部分を消す。（92ページ）
削除	—	トラックを削除する。（83ページ）
トラック分割	—	トラックを2つに分ける。（89ページ）
グループ化	—	複数のトラックをひとまとめにする。（94ページ）
静止画取り出し	—	動画の一部を静止画にする。（96ページ）
インデックス変更	—	インデックス画面に入れる画像を変更する。（79ページ）
トラック情報	— —	撮影日などのトラックの情報を表示、編集する。 （75ページ）
落書き		画像に落書きする。（98ページ）
タイトル		検索用にタイトルトラックをはさむ。（103ページ）
シーンチェンジ	—	トラックの切り替わり時に演出効果を入れる。（105ページ）
ピクチャーエフェクト		画像にテレビや映画のような特殊効果を加える。（108ページ）

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）
パネル明るさ		液晶画面の明るさをコントロールダイヤルを回して、バーで調節する。（110ページ）
パネル色のこさ		液晶画面の色のこさをコントロールダイヤルを回して、バーで調節する。（110ページ）
ファインダー明るさ		ファインダーの明るさをコントロールダイヤルを回して、バーで調節する。（111ページ）
日時合わせ		日付・時刻を合わせ直す。（112ページ）
音量リミット (AVLS)	●切	調節したままの音量になる。
	入	音量を上げたときに音もれを抑える機能を働かせる。スピーカーにも連動する。
おしらせブザー	切	ブザー音が鳴らない。
	●入	撮影スタート／ストップ時や、その他の操作ボタンを押したときにブザーが鳴る。
リモコン	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。
	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。
PC接続	ー	コンピューターに画像を送る。（124ページ）
設定リセット	ー	設定メニューで設定した内容をお買い上げ時の設定に戻す。
ディスク初期化	ー	ディスクの内容をすべて消して、初期化する。（86ページ）

電源をはずして１日以上たつと

「リモコン」、「プログラムAE」、「ホワイトバランス」、「逆光補正」、「フォーカス」、「明るさ調整」はお買い上げ時の設定に戻ります。
その他のメニュー項目は電源をはずしても設定を保持します。

被写体に接近して撮るとき

録画ランプが「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合、録画ランプを「切」にすることをおすすめします。

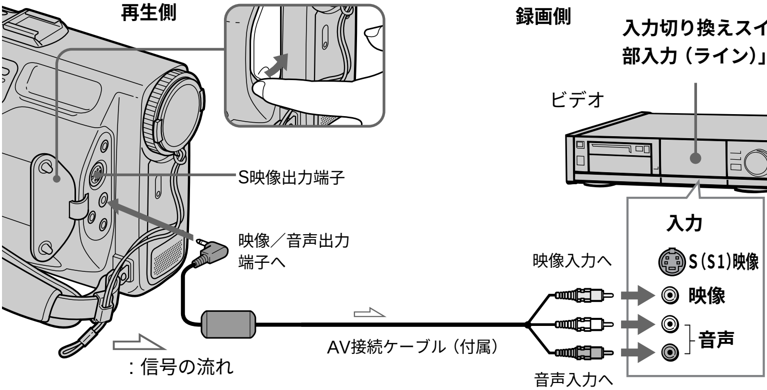
「設定リセット」を選ぶと

「設定を出荷時の状態に戻します。よろしいですか？」というメッセージが出ます。戻す場合は、「はい」をタッチします。
しばらくすると、インデックス画面に戻ります。
メニュー項目ばかりでなく、本体のボタンで設定した内容もお買い上げ時の設定に戻ります。
ただし、「日時合わせ」の設定は保持されます。

他のビデオへダビングする

電源は、ACアダプター／チャージャーを使ってコンセントからとることをおすすめします。

AV接続ケーブルでつなぐ（接続する機器の取扱説明書もご覧ください。）



録画機は以下のどの方式のビデオでも使えます

8、Hi8、VHS、VHSC、SVHS、SVHSC、β、ED Beta、DV、Mini DV、Digital 8

音声入力端子がひとつ（モノラル）の場合
AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。
音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像がより鮮明になります。ビデオにS(S1)映像入力端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子のかわりにS映像ケーブル（別売り）で、本機のS映像出力端子とビデオのS(S1)映像入力端子を接続することをおすすめします。高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

画面表示ボタンを押して画面の表示を消してから
ダビングしてください。消さないでダビングするとテープに記録されてしまいます。

❶ ディスクやカセットを準備する。

本機：撮影済みのディスクを入れる。

録画機：ダビングしたいカセットを入れる。

❷ 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。

詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

❸ 本機の電源スイッチを「再生／編集」にする。

❹ 本機で再生する。

❺ 録画機で録画をはじめる。

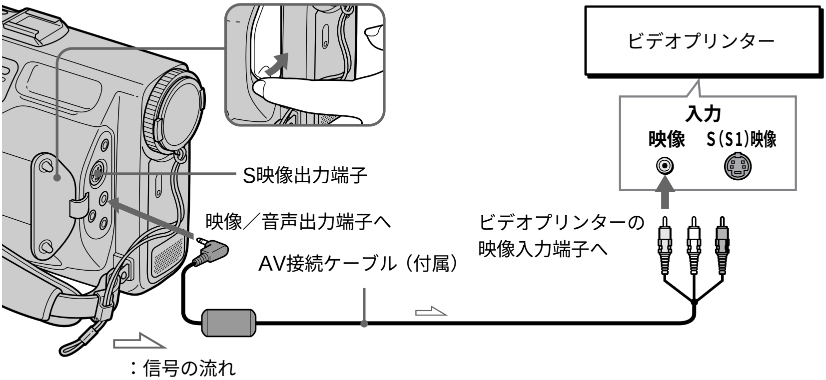
詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

録画機で録画を停止する。本機で再生を停止する。

静止画を別売りのビデオプリンターでプリントする

本機と別売りのビデオプリンターを使うと、ビデオプリンターに画像を取り込み、プリントできます。ビデオプリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。



ビデオプリンターにS(S1)映像入力端子がついているときは
別売りのS映像ケーブルでつなぐと、プリント画像がより鮮明になります。

音楽用ミニディスクを聞く

音楽用ミニディスクを再生することができます。ヘッドホンで聞くと、よりよい音で聞こえます。

ご注意

ヘッドホンは、ステレオミニプラグタイプのものをお使いください。

曲の選択は

コントロールダイヤルを回して選ぶこともできます。ダイヤルを押すと再生が始まります。

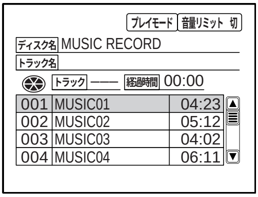
メニューは

音楽用ミニディスクが入っていると、メニュー操作が行えません。

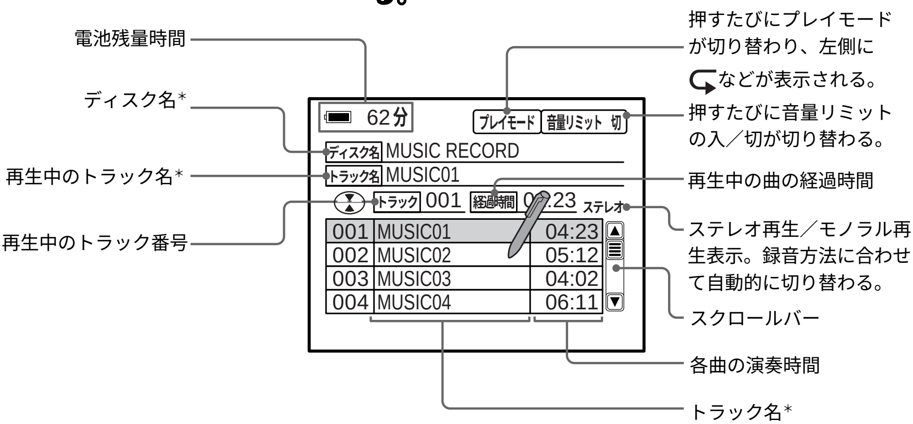
❶ 音楽用ミニディスクを入れる。

❷ 電源スイッチを「再生／編集」にする。

音楽用ミニディスク用の操作画面が表示される。



❸ 再生したい曲名またはトラックをタッチする。



＊ディスクに入力されている場合のみ表示される。

❹ ►II再生／一時停止ボタンを押す。

選んだ曲の再生が始まる。

高速で早送り／早戻しするには
一時停止中にI◀◀／▶▶I ボタンを押したままにします。このとき、音は出ません。

音もれを抑える（AVLS－**音量リミット**）
「音量リミット」をタッチして「入」にしたあと、音量を一定のレベル以上に上げようとすると、画面に「AVLS」が表示され、それ以上音量が上がらなくなります。ヘッドホンをお使いになる場合、音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。
スピーカーで聞くときも音量を抑えます。

ご注意

ジョギング中など、連続的な振動が加わる状況で使用すると、再生中に音飛びすることがあります。

いろいろな再生

再生を一時停止•再開する	▶IIボタンを押す。
次の曲を頭出しする	▶▶Iボタンを短く押す。
今聞いている曲を頭出しする	I◀◀ ボタンを短く押す。
再生しながら早送りする	▶▶Iボタンを押したままにする。
再生しながら早戻しする	I◀◀ ボタンを押したままにする。
再生を停止する	■ボタンを押す。
音量を上げる	音量+ボタンを押す。
音量を下げる	音量–ボタンを押す。

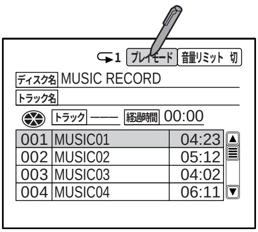
繰り返しや順不同で聞く

音楽用ミニディスク全曲のリピート、1曲のリピート、シャッフルリピートの3通りの方法があります。

❶ 音楽用ミニディスクを入れ、電源スイッチを「再生／編集」にする。

音楽用ミニディスクの操作画面が表示される。

❷「プレイモード」を繰り返しタッチして、再生モードマークを表示させる。



なし：通常の再生。
↻1：再生中の曲を繰り返し再生する。
↻：ディスクの全曲を繰り返し再生する。
↻SHUF：全曲を順不同に並べかえて再生し、さらに繰り返し並べかえて再生する。

コンピューターに接続して見る

本機は、MD DATA2ディスクに記録された動画や静止画を、World Wide Web (WWW)のホームページにして発信する機能を内蔵しています。

接続コードの10BASE-T接続端子をコンピューターに接続し、コンピューターのブラウザソフト（Internet ExplorerやNetscape Navigatorなど）を利用して画像を見ることができます。



推奨ブラウザ

- Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以降
- Netscape Navigator Ver.4.5以降

本機内蔵のホームページでは

- インタビュー、グループ、メモトラックは表示されません。グループ化したトラックを見るときは、一度コンピューター接続をとりやめ、グループ解除を行ってください。
- 本機で設定したシーンチェンジやピクチャーエフェクト、落書きなどの効果は表示されません。
- 音声を取り込むことはできません。

コンピューターで静止画を再生するときは

静止画はJPEG形式になります。

コンピューターで動画を再生するときは

本機内蔵のホームページでは動画はQuickTime形式（Motion JPEGフォーマット）になります。動画を再生するには、Apple Quick Time Ver.3.0以降が必要です。
最新のQuick Timeは次のwebサイトで入手できます。
http://www.apple.co.jp/quicktime

データ容量について

静止画で1枚あたり約96Kバイト、動画で1コマあたり、最小で約8Kバイト、最大で約96Kバイトです。

Windows 98の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating systemです。
Windows 95の正式名称は、Microsoft® Windows® 95 operating systemです。

操作について
メニューの項目は、コントロールダイヤルを使って選ぶこともできます。

IPアドレスの先頭値は
0〜223の範囲で切り換わります。

ネットマスクは
255-254-252-248-240-224-192-128-0-255の順で切り換わります。

前の画面に戻るときは
「戻る」をタッチします。

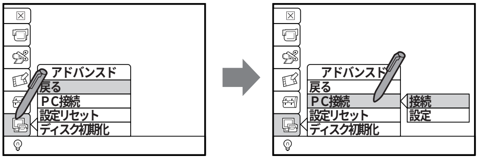
ネットワーク上のDHCPサーバーを利用して
アドレスの設定を自動ですることができます。手順3で「自動設定」にタッチし、手順5に飛びます。

準備１　本機でアドレスを設定する

コンピューターから本機にアクセスするためのアドレスを設定します。この設定は、コンピューターの使用環境が変わった場合、再度設定し直します。同じ環境の場合は、一度設定したら設定し直す必要はありません。

---

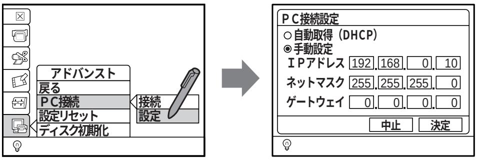
❶ 「アドバンスト」をタッチし、「PC接続」をタッチする。



---

❷ 「設定」をタッチする。

IPアドレスなどを設定する画面が出る。



---

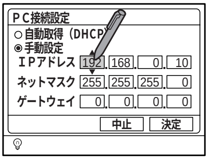
❸ 「手動設定」にタッチして、白丸に黒い印をつける。

IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイのアドレス設定枠が白くなり、設定可能になる。

次のページへつづく

コンピューター側でも
本機に合わせてIPアドレスを設定してください。
右の例の場合は、次のように設定します。
IPアドレス：
「192.168.0.1」
ネットマスク：
「255.255.255.0」
ゲートウェイ：
「0.0.0.0」
詳しくは、お使いのコンピューター／OSの取扱説明をご覧ください。

❹ IPアドレスなどを設定する。



IPアドレス：例「192.168.0.10」
この番号が、ホームページのアドレスになります。
ネットマスク：例「255.255.255.0」
ゲートウェイ：特に値がわからないときは「0.0.0.0」と設定します。

❺「決定」をタッチする。

設定を再度変えるときは「中止」をタッチし、手順1から繰り返す。

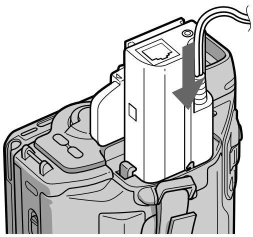
❻「確認」をタッチする。

本機の電源が一旦切れ、再度電源が入ります。
設定が終了します。

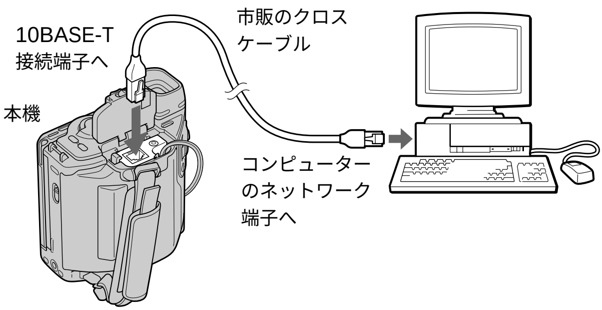
準備2　コンピューターを本機と接続する

市販のクロスケーブルを使います。

❶ 本機に接続コードを接続する。



❷ クロスケーブルで図のように接続する。



ご注意

- 本機とコンピューターの電源を切ってからつないでください。
- 右図のようにクロスケーブルを接続すると、電池ぶたは閉められません。

コンピューターのネットワーク端子は

10BASE-T専用の端子でも、10BASE-T/100BASE-T両対応端子でも接続できます。

ご注意

本機のホームページに、複数のコンピューターからアクセスしないでください。誤作動することがあります。

「ネットワークケーブルを接続してください」と表示されたら
「準備2　コンピューターを本機と接続する」にしたがってケーブルを接続してください。

ホームページ表示中にディスクを入れ換えないでください
一度ホームページを終了してからディスクを入れ換えてください。

ディスク交換後に
コンピューターに前のディスクの内容が表示されることがあります。接続を再度確認して、ブラウザの再読み込みボタンを押して再読み込みを行ってください。

推奨ブラウザがないときは
アドレスの末尾に/text.htmをつけるとアクセスできることがあります（例：http://192.168.0.10/text.htm ）。

ブラウザソフトの「プロキシ」は設定しないでください
本機にアクセスできないことがあります。

コンピューターで画像を見る

コンピューターのブラウザソフト（Internet ExplorerやNetscape Navigatorなど）を利用して画像を見ます。

❶ **コンピューターの電源を入れる。**

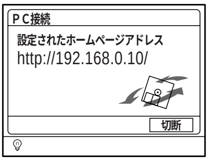
❷ **本機に撮影済みのMD DATA2ディスクを入れる。**

❸ **本機の電源スイッチを「再生／編集」にする。**

❹ **「アドバンスト」をタッチし、「PC接続」をタッチする。**

❺ **「接続」をタッチする。**

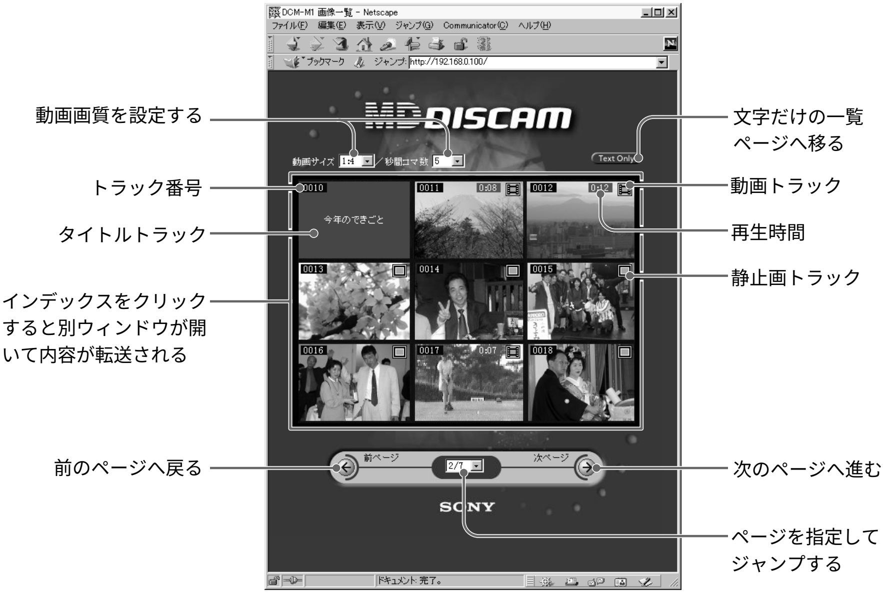
本機の画面にホームページアドレスが表示される。



❻ **コンピューターでブラウザソフトを起動し、手順5で表示されたホームページアドレスを入力してアクセスする。**

本機に入っているMD DATA2ディスク内の画像が表示されたホームページが、コンピューターの画面に出る。

ホームページ画面



インデックス画面は
設定画面で以下が設定できます。
動画の画像サイズ：
624×480、304×240、144×120
動画の1秒間のコマ数：
30、15、5、2、1

ホームページを終わらせるには

❶ コンピューターのブラウザを終了させる。

❷ 本機の画面の「切断」をタッチする。

❸ 本機の電源スイッチを切る。

使用上のご注意

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。
- ファインダーや液晶画面を太陽に向けたままにしない
  ファインダー内部や液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。

使用について

使用場所

- 強力な電波を出す所や放射線のある場所で使わないでください。正しく録画・再生できないことがあります。
- TVやAMラジオ、チューナーの近くで使わないでください。TVやラジオ、チューナーの雑音が入ることがあります。

取り扱い

- ディスクぶたを開け、レーザー発光部のレンズに絶対に触れないでください。
  レンズが汚れると画像の飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はディスクぶたを必ず閉じておいてください。
- 強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- ミニディスクのシャッターを開けてディスクに触れないでください。
- 三脚に固定する場合は付属の三脚アタッチメントをお使いください（150ページ）。
  三脚アタッチメントを使わない場合は、三脚がしっかり固定され、安定していることをよく確認してください。
- コンバージョンレンズで直接太陽を見ないでください。特にお子さまにご注意ください。
- 万一、アイカップで肌に異常が生じた場合は、ただちにご使用をおやめください。人によってはアイカップの材質が肌に合わないことがあります。

- 入力ペンやフェライトコアを飲み込まないよう、特にお子さまにご注意ください。
- ケーブルを結束してあるビニールタイを飲み込まないよう、特にお子さまにご注意ください。

操作時

- 接続コードなどが写り込まないように気をつけてください。

  ワイドコンバージョンレンズ使用時にマイクやリモートコードなどをつないでいる場合は、画面に入らないように、グリップベルトのフラップ内を通して固定してください。
- 屋外で液晶画面を使用する場合は、太陽などの写り込みを避けてください。

  画面が見難いだけでなく、目にも良くありませんので、角度を調節してお使いください。
- 太陽を直接撮影しないでください。故障の原因になります。
- 本機は動作中に断続的な音がする場合がありますが、これはMD特有の動作音で、故障ではありません。

結露

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。結露が起きたときは、バッテリーを取り出し、バッテリー入れのふたを開けて、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

結露が起こりやすいのは次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと

結露を起こりにくくするためには、本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面・タッチパネル

- 付属の入力ペン以外は使用しないでください。付属の入力ペン以外を使用すると、タッチパネルを傷つける恐れがあります。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）がある場合がありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面の裏側が熱くなりますが、故障ではありません。
- 液晶パネルをもって振り回したりしないでください。故障の原因になります。

ACアダプター／チャージャー

- ACアダプター／チャージャーはお手近なコンセントを使用してください。本機をご使用中、不具合が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電源を遮断してください。
- 充電するときは、バッテリーをACアダプター／チャージャーにしっかり取り付けてください。
- 周りの温度が10℃～30℃での充電をおすすめします。

  また、周囲の温度が低くなるほど充電しにくくなります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 使用後は必ず電源コードをコンセントから抜いておいてください。

  コンセントから抜くときは電源プラグを持って抜いてください。
- ACアダプター／チャージャーや接続コードの接点部に他の金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- ACアダプター／チャージャーを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- 電源コードをご使用になる前に電源プラグ部が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布で拭きとってからご使用ください。

バッテリーパック

- ⊖と⊕の端子をネックレスなどの金属類でショート（短絡）させないでください。
- バッテリー保護のため、充電が完了しましたら、24時間以内にACアダプター／チャージャーからバッテリーを取り外してください。
- 端子部分にゴミや砂などの異物が入らないように注意して使ってください。

  もし、異物が入ってしまった場合には、先の細い柔らかい棒で完全に取り除いた後、充電器やビデオ機器への取り付け、取り外しを数回繰り返してください。

リモコン

付属のリモコンは本機専用です。他機の操作はできません。また、他機種に付属のリモコンでは本機の操作はできません。

電源の取り外しについて

撮影中や撮影直後、または編集中や編集直後に、バッテリーを取り外したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。記録内容や編集内容がディスクに反映されない恐れがあります。また、こわれてしまったり、インデックスが黒く表示されることがあります。必ず電源スイッチを「切」にして、画面が完全に消えてから、電源を取り外してください。

お手入れについて

汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取りましょう。

本体のお手入れ

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

レンズのお手入れ

レンズ表面のほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングペーパーなどで拭き取ってください。

液晶画面のお手入れ

表面が汚れた場合は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し4か月近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合は日時は記録されないままで本機を使うことはできます。

充電方法

本機を付属のACアダプター／チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切」にして24時間以上放置します。

万一故障した場合は

内部を開けずに、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。

画面調節（キャリブレーション）について

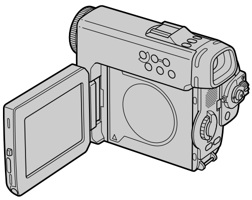
タッチパネルを押したとき、反応する項目にずれが生じることがあります。このような症状になったときは、次の操作を行ってください。

❶ **電源スイッチを「切」にする。**

❷ **ディスクを取り出す。**

他の機器を接続している場合は、接続ケーブルをはずす。

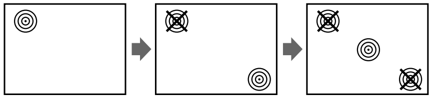
❸ **液晶画面を開く。**



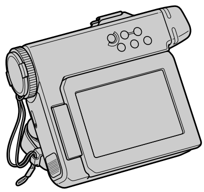
❹ **本体の画面表示ボタンと■停止ボタンを押しながら、電源スイッチを「再生／編集」にする。**

タッチパネル調整画面が表示される。

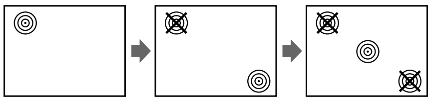
❺ **画面に表示される◎マークを3カ所、順に入力ペンで押す。**



❻ **液晶画面を反転して閉じる。**



❼ **画面に表示される◎マークを3カ所、順に入力ペンで押す。**



❽ **「終了」をタッチする。**

インデックス画面が表示される。

使えるミニディスク

ミニディスクとは

直径64mmのディスクをカートリッジに収めたデジタルメディア、それが、ミニディスク(MD)です。大きさはコンパクトディスク(CD)の約半分です。

ミニディスクの種類について

一般的にミニディスクと言われているものには、音楽を楽しむミニディスク（MD）とコンピューターデータなどを扱うMD DATAディスクおよびMD DATA2ディスクの3種類があります。本機では、画像の記録用に記録用MD DATA2ディスクを使用します。

□ MD DATA2ディスク

動画像などのデジタルデータを扱うディスクで、データの記録/再生用ディスクです。

□ MD DATAディスク

コンピューターデータなどデジタルデータを扱うディスクで、データの記録/再生用ディスクです。

□ 音楽用ミニディスク

オーディオ用のディスクです。再生専用のものと録音できるものがあります。

市販のコンパクトディスク（CD）ソフトと同様に音楽を聞くことのできるディスクです。

「MD DATA」および「MD DATA2」はソニー株式会社の登録商標です。

MD VIEWはMD DATA2ディスクのソニーの登録商標です。

本機で使えるディスクは

- 録音／録画／再生：MD DATA2
- 音楽再生のみ：MD（音楽用）

これ以外のディスクは、本機ではお使いになれません。

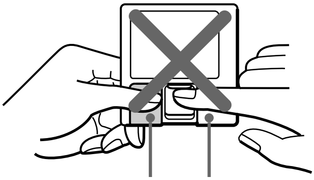
- **本機は**Video MD**フォーマットに準拠しています。**
  Video MD**ロゴのない他の機械で記録されたディスクはお使いになれません。**
- NTSC**方式以外の映像信号が記録されたディスクはお使いになれません。**

ミニディスクの取り扱いについて

ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい画像や音で楽しめるように次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

直射日光があたるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。

定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。

システム上の制約による症状と原因

MD（ミニディスク）システムでは、従来のカセットやDATとは異なる方式で記録が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

短いトラックを何トラック消してもミニディスクの残り時間が増えない

ミニディスクの残り時間を表示するとき、8秒以下の部分は無視することがあります。そのような場合は、短いトラックを消しても時間が加算されません。

画像の保存や編集に時間がかかる

数百枚の画像が入っているディスクで、保存や編集を行うと、時間がかかります。

画像を取り込める時間が少ない

編集を繰り返すと記録できる時間が減ることがあります。

編集したトラックを再生しながら早送り、早戻しすると、画像または音がとぎれる

再生しながら早送り、早戻しするときは、通常より高速で再生します。そのため、短いトラックがディスク上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、画像または音がとぎれることがあります。

“インフォリチウム”バッテリーをご利用いただくために

バッテリー残量はこうして計算される

ミニディスクAVレコーダー使用時の消費電力は、その使用状況（液晶画面を使っているか、オートフォーカスがどのような動きをしたかなど）に合わせて変化します。つまり、使用状況によってバッテリーの消費量は異なります。

“インフォリチウム”バッテリーは、ミニディスクAVレコーダーの使用状況を確認しながら、その消費電力を測り、電池残量を計算しています。そのため、使用状況の変化によっては、残量表示が一度に2分以上減ったり、増えたりすることがあります。

残量時間が5〜10分と表示されているときでも、使用環境によっては液晶画面またはファインダーに が点滅することがあります。

より正しいバッテリー残量を得るには

ミニディスクAVレコーダーを「撮影スタンバイ」にして、静止している被写体に約30秒以上向けたままにしておいてください。このとき、ミニディスクAVレコーダーは動かさないでください。

もし、正しい残量を表示していないと思われる場合は、一度バッテリーを使いきってから再度満充電してください。ただし、高温／低温での長時間使用や、何度も充電を繰り返したバッテリーは、満充電をしても正しい表示に戻らないことがあります。

取扱説明書に記載されている連続撮影時間と残量表示が異なる理由

撮影時間は、周囲の温度や環境などにより変化し、低温下で使用すると撮影時間は特に短くなります。取扱説明書に記載の連続撮影時間は、満充電*1（または実用充電*2）したバッテリーを摂氏25度の環境下で使用したときの値です。実際の使用では、周囲の温度や環境が異なるため、残量時間が取扱説明書に記載の連続撮影時間とは異なります。

*1 満充電

ACアダプター／チャージャーの充電ランプが消えたあと、さらに約1時間充電したときの状態

*2 実用充電

ACアダプター／チャージャーの充電ランプが消えるまで充電したときの状態

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。

それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店にお問い合わせください。

ミニディスクAVレコーダー

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
撮影または インタビュー撮影が できない	• 電源スイッチが「カメラ」または「インタビュー」になっていない。	•「カメラ」または「インタビュー」にする。	29, 43
	• ディスクに空きがない。	• 不要な画像を削除する、または新しいディスクを入れる。	83
	• バッテリーが消耗している。	• 充電する。	16
	• スタート／ストップモードが「地面撮り防止」になっている。	•「ノーマル」にする。	117
	• 結露（内部に水滴が付着している。	• ディスクを取り出して、そのまま数時間おく。	131
すぐに撮影が止まる	スタート／ストップモードが「地面撮り防止」になっている。	「ノーマル」にする。	117
電源が途中で切れる	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぐために自動的に電源が切れます。	電源スイッチを一度「切」にしてから、「カメラ」または「インタビュー」にする。	—
ファインダーの画像がはっきりしない	視度調節が正しくない。	視度調節する。	31
手ぶれ補正が働かない	メニューの「手ぶれ補正」が「切」になっている。	「入」にする。	53
オートフォーカスが働かない	• 手動ピント合わせになっている。	• フォーカスボタンを押して、を消す。	51
	• オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	• 手動でピントを合わせて撮影する。	51
撮影したら黒いインデックスができた	撮影中に電池が抜かれた。	「インデックス変更」で新しく作る。	79

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る	スミア現象といい、故障ではありません。	—	—
録画時にピー音が出ない／シャッター音が出ない	メニューの「おしらせブザー」が「切」になっている。	「入」にする。	117
画像が明るすぎる、または暗すぎる	• 明るさが手動調節になっている。 • 逆光補正モードになっている。	• 自動調節に戻す。 • 解除する。	52 48
液晶画面とファインダーの画像が消える	ディスクを出し入れすると画像が消えます。故障ではありません。	—	—
電源スイッチを「カメラ」にすると液晶画面やファインダーに画像の出るのが遅い	時間のかかることがあります。 故障ではありません。	—	—

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ビデオ操作ボタンが働かない	• 電源スイッチが「再生／編集」になっていない。	•「再生／編集」にする。	37
	• バッテリーが消耗している。	• 充電する。	16
ノイズが入る	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。	—
音声が小さいまたは聞こえない	• 音量を最小にしている。	• 音量を大きくする。	40
	• 音声リミット (AVLS)が「入」になっている。	•「切」にする。	117
トラックが削除できない	• プロテクト設定がされている。	• プロテクト設定を解除する。	78
	• ディスクの誤消去防止つまみが開いている。	• 誤消去防止つまみを確認する。	23
テレビやビデオにつないで再生するとき画像や音がでない	ー	AV接続ケーブルを映像音声出力端子からいったん抜き、再びつなぐ。	—
通常の再生ができない	プレイモードでリピート再生を設定した。	プレイモードを「ノーマル」にする。	63

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
音楽用ミニディスクの1曲目から再生できない	前回再生したときディスクの途中で止めた。	• 1曲目を選択しなおす。 • 1曲目に戻るまで⏮ボタンを繰り返し押すか、一度ふたを開けて、再生を始める位置をディスクの最初に戻す。	—
再生中に画像や音がとぎれる	• 振動の多い場所に置いている。 • トラックの録画時間が極端に短いと、画像や音がとぎれることがあります。	• 振動の少ない場所で使う。	—

撮影中・再生中・編集中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチを「カメラ」「再生／編集」「インタビュー」にしても動作しない	• バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。 • 電源コードのプラグがコンセントからはずれている。 • ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチが「充電」になっている。	• 充電されたバッテリーを取り付ける。 • コンセントに差し込む。 •「ビデオ／カメラ」にする。	16 21 21
ファインダーに画像が出ない	液晶画面が開いている。	液晶画面を閉じる。	31
バッテリーの消耗が早い	• 温度が極端に低いところで使用している。 • 充電が不充分。 • バッテリーそのものの寿命。	— • 充分に充電する。 • 新しいバッテリーに交換する。	— 16 —
ディスクぶたが開かない	• 書き込み中 • 録画・編集中に電源をはずした、またはバッテリーが消耗してしまった。	• しばらく待つ • 電源を入れ直す、または充電されたバッテリーを取り付ける。	— 16, 21
撮影が始まらない	• 書き込み中	• 画面で点滅中の「スタンバイ」が消えるのを待つ。	—
バッテリー残量の表示が正しくない	• 温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。 • バッテリーそのものの寿命。 • バッテリーが消耗している。	— • 新しいバッテリーに交換する。 • 充電されたバッテリーを取り付ける。	— — 16

撮影中・再生中・編集中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
録画・編集ができない	• ディスクの誤消去防止つまみが開いている。	• つまみを戻す。	23
	• トラックがプロテクトされている。	• プロテクト設定を解除する。	78
	• 再生専用ディスクが入っている。	• MD DATA2ディスクと取り換える。	—
	• 録画または編集中に電源が抜かれた、または停電になった。	• それまでの録画の内容は消える。初めから録画しなおす。	—

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
付属のワイヤレスリモコンが働かない	• メニューの「リモコン」を「切」にしている。	•「入」にする。	117
	• リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	• 障害物を取り除く。	—
	• リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が正しく入っていない。	• ⊕極と⊖極を合わせて正しく入れる。	151
	• 乾電池そのものの寿命。	• 新しい乾電池に交換する。	151
タッチパネルのボタンが働かない	–	画面を調節（キャリブレーション）する。	134
全てのキーが働かない	–	電源を取り外し、再度入れ直す。	—
操作を受けつけない	• 結露（内部に水滴が付着）している。	• ディスクを取り出して、そのまま数時間おく。	—
	• 使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けた。	• 次の手順で操作しなおす。 **1** すべての電源をはずす。 **2** 約30秒間そのままにする。 **3** 電源をつなぐ。	—
「ディスクエラー」が表示された／青画面のまま動かない／「メモリーオーバー」が表示された	• 損傷しているディスク、または録音や編集の内容などの情報が正しく入っていないディスクが入っている。	• 電源を取り外し、再度入れ直す。 • ディスクを入れなおす。	—
「このディスクは使用できません」が表示された	Video MDフォーマットやNTSC方式に準拠していないディスクが入っている。	MD DATA2ディスクを使用する。	—

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
充電ができない	ACアダプター／チャージャーが正しく接続されていない。	• 正しく接続しなおす。 • モードスイッチを確認する。	16 16
ヘッドホンから音が出ない	ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。	• ∩ジャックにしっかり差し込む。 • 音量を上げてみる。	—
時計が正確に動かない	長時間電源をはずしていたため内蔵の時計用電源が消耗している。	ACアダプター／チャージャーを使用し、本機につないでおく。	133
録画日時が記録されない	時計合わせをしていない。	時計を合わせる。	112
時計表示が出ない（--.--.-- --:--になる）	時計合わせをしていない。	時計を合わせる。	112
起動画面のまま動かない	—	• 一度電源を取り外し、再度入れ直してから、もう一度やり直す。 • ディスクを取り出し、再度入れ直す。	— —
「お待ちください」が出たままになる	トラックが非常に多いとディスクに読み込む時間がかかります。そうでない場合は →	• 一度電源を取り外し、再度入れ直してから、もう一度やり直す。 • ディスクを取り出し、再度入れ直す。	— —

ACチャージャー／アダプター

充電中のバッテリーを取り外し、もう一度、同じバッテリーを取り付ける。

→ **再び点滅した場合**
別のバッテリーを取り付ける。

→ **再び点滅した場合**
ACアダプター/チャージャーに異常があると思われます。

→ **点灯後、再び点滅しなかった場合**
充電時間が過ぎて充電ランプが消えていれば、初めに取り付けたバッテリーに異常があると思われます。

→ 異常があると思われる商品について、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

→ **点灯後、再び点滅しなかった場合**
充電時間が過ぎて充電ランプが消えていれば、異常はありません。

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面とファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、（　）内のページにあります。

警告表示

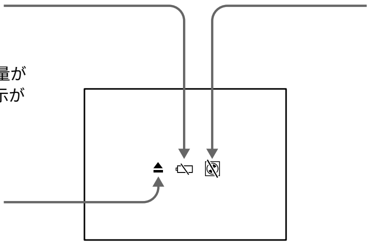
バッテリー消費時の警告

点滅
バッテリー残量がない
状況によってはバッテリー残量が5分から10分ほどでも警告表示が点滅することがあります。

ディスクを取り出す必要がある警告

遅い点滅
- ディスクが誤消去防止状態になっている

速い点滅
- ディスクがいっぱいになっている



ディスク関連の警告

遅い点滅
- カメラモードでディスク残量が15秒を切った
- インタビューモードで残量が5分を切った
- ディスクが入っていない
- ディスクが誤消去防止状態になっている

速い点滅
- ディスクがいっぱいになっている

おもなお知らせメッセージ

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。
メッセージにしたがって操作してください。

- バッテリーを取りかえてください（16）
- このバッテリーは古くなりました　取りかえてください（16）
- インフォリチウムバッテリーをつかってください（16）
- ディスクを入れてください（22）
- ディスクの誤消去防止ツマミを確認してください（23）
- メニューで日付・時刻をあわせてください（112）
- これは音楽用ディスクです（135）
- これはMD DATAディスクです（135）
- これは再生専用ディスクです（135）
- ディスクの取り出しができます（22）
- ふたが開いています（22）
- 文字数がいっぱいです（74、76）
- このトラックはプロテクトされています（78）
- 本機では音楽専用ディスクには録音できません（135）
- ディスクエラー（141）
- 装着電源を確認してください（16、21）
- 本機の温度が高くなりすぎました　しばらく電源を取り外してください（15）
- 録画中にはディスクぶたは開きません（140）
- これはトラックのない音楽専用ディスクです（135）
- このディスクは使用できません（135）
- メモリーオーバー（141）

主な仕様

ミニディスクAVレコーダー

システム

形式	ミニディスクデジタルAVシステム
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
ファインダー	電子ビューファインダー：カラー
撮像素子	1/4インチCCD撮像素子 約68万画素（有効約34万画素）
ズームレンズ	10倍（光学）、40倍（デジタル） 焦点距離 f = 3.3〜33mm （35mmカメラ換算では42〜420mm） F1.7〜2.2 フィルター径30mm
色温度切り換え	自動追尾／ホールド、屋内（3200K）、屋外（5800K）
最低被写体照度	11ルクス（F1.7）
被写体照度範囲	11〜100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上
データ圧縮方式	MPEG2方式（映像） ATRAC方式（音声）
画像データ形式	Video MD準拠 主画面： 704×480 インデックス画面： 176×112
使用可能ディスク	MD DATA2ディスク（録画・再生） 音楽用MDディスク（再生のみ）
録画・録音・再生時間	MD DATA2ディスク （動画録画時） LPモード：最大20分 VPモード：13〜20分 SPモード：最大10分 （インタビュー録音時） 最大260分 音楽用MDディスク（再生のみ） 最大160分（MDW-80使用、モノラル録音ディスク再生時） 最大80分（MDW-80使用、ステレオ録音ディスク再生時）
記録枚数	（静止画のみ記録時） 最大4500枚（MPEG2 Intra-Picture採用）
記録方式	レーザーストローブ磁界変調方式
再生読み取り方式	非接触光学読み取り（半導体レーザー使用）
レーザー	AlGaInPレーザーダイオード、λ=655nm、NA=0.52
エラー訂正方式	リードソロモンプロダクトコード (RSPC)（MD DATA2使用時） アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード（ACIRC）（音楽用MD使用時）
変調方式	DCコンポーネントサプレストRLL（1,7）（DRL）（MD DATA2使用時） EFM（オーディオMD再生時）

音声

チャンネル数	ステレオ2チャンネル
サンプリング周波数	44.1kHz
周波数特性	20〜20,000Hz±3dB
ワウフラッター	測定限界値以下

入・出力端子

S映像出力端子	4ピンミニDIN（1） 輝度信号：1Vp-p、75Ω不平衡、同期負 色信号：0.286Vp-p、75Ω不平衡
映像／音声出力端子	特殊ステレオミニジャック（1） 映像：1Vp-p、75Ω不平衡、同期負 音声：規定出力レベル194mV（10kΩ負荷時）
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック（Ø 3.5）（1）
マイク入力端子	ステレオミニジャック（Ø 3.5）（1） 規定入力レベル0.388mV DC2.4V 入力インピーダンス6.8kΩ
REMOTE端子	ステレオミニミニジャック（Ø 2.5）（1）
LINE IN端子（音声）	（付属接続コード） ステレオミニジャック（Ø 3.5）（1） 規定入力レベル194mV 入力インピーダンス47kΩ以上
10BASE-T端子	（付属接続コード） 8ピンモジュラージャック（1）

主な仕様（つづき）

液晶画面

タッチパネル付き

画面サイズ	3.5型
有効画面領域	72.4×50.4mm（幅×高さ）
使用液晶パネル	TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリクス）駆動
総ドット数	184,580ドット 横839×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー挿入口入力7.2 V
消費電力	ファインダーを使ってのカメラ録画時（SPモード）：7.0W 液晶画面を使ってのカメラ録画時（SPモード）：8.0W AV接続ケーブル接続再生時（SPモード／LCD入）6.5 W
動作温度	0℃～＋40℃
保存温度	－20℃～＋60℃
外形寸法	74 ×111 ×118 mm
（最大突起部含まず）	（幅×高さ×奥行き）
本体質量	約680g（バッテリー、ディスク含まず）
撮影時総質量	約790g（バッテリー、ディスク含む）
内蔵マイクロホン	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
スピーカー	ダイナミックスピーカー
付属品	7ページ参照

ACアダプター／チャージャー AC-VQ800

電源	AC100-240V、50/60Hz
定格入力容量	35VA（充電100V時）、 40VA（ビデオ／カメラ100V時） 50VA（充電240V時）、 50VA（ビデオ／カメラ240V時）
定格出力	ビデオ／カメラ動作時： DC8.4V、2.0A 充電時：DC8.4V、1.4A
動作温度	0℃～＋40℃
保存温度	－20℃～＋60℃
最大外形寸法	約136×48×90mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約250g

バッテリーNP-F550

使用電池	リチウムイオン蓄電池
最大電圧	DC 8.4V
公称電圧	DC 7.2V
容量	10.8Wh
使用温度	0℃～＋40℃
最大外形寸法	38.4×20.6×70.8mm
質量	約95g

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

バッテリーパック
- NP-F550

DCアダプター／チャージャー（カーバッテリーアダプター）
- DC-VQ800
- DCC-L50

ワイドコンバージョンレンズ
- VCL-0630 S

テレコンバージョンレンズ
- VCL-2030 S

フィルター
- VF-30PK S

三脚
- VCT-670RM
- VCT-570RM

ビデオライト
- HVL-20DW2

ビデオフラッシュ
- HVL-F10

マイク
- ECM-MS908C

キャリングバッグ
- LCS-M1（専用品）

ショルダーベルト
- BLT-10/11

クリーニング用アクセサリー
- KK-LC1

1999年12月現在
ご購入の際には販売店にご相談ください。
ご購入のアクセサリーに付属の取扱説明書をお読みください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません

万一、ミニディスクAVレコーダーやミニディスクなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このミニディスクAVレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度お読みになり、故障かどうかご確認ください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はミニディスクAVレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

海外で使うとき

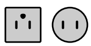
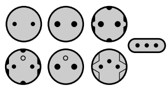
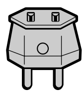
本機は外国でもお使いになれます

付属のACアダプター／チャージャーAC-VQ800は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米、南米など	 主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACチャージャーのプラグを直接差し込みます。	

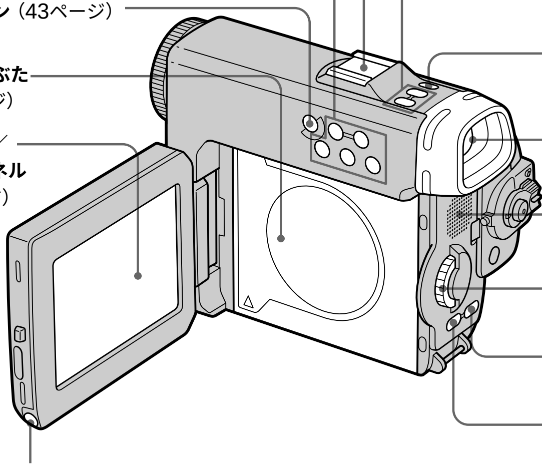
日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

他機接続・その他

各部のなまえ 使いかたの説明は、（ ）内のページにあります。

本体

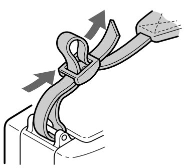


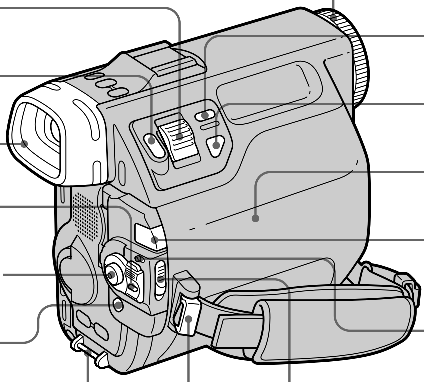
このマークは、ソニーのビデオ機器関連商品の純正マークです。

GENUINE VIDEO ACCESSORIES
純正マーク

ソニーのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはソニーのロゴマークが付いているビデオ機器関連商品をおすすめします。

ショルダーベルト（別売り）の取り付けかた





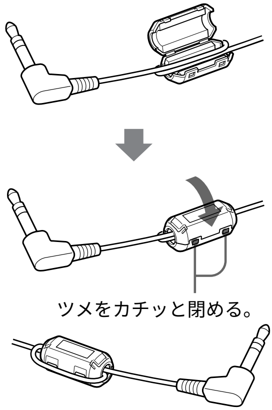
フェライトコアの取り付けかた

VCCI規格に適合させるために、ケーブルから発生するノイズを低減させるフェライトコアが、本機には付属されています。本機をお使いになる前に、右図のようにフェライトコアをケーブルに取り付けてください。

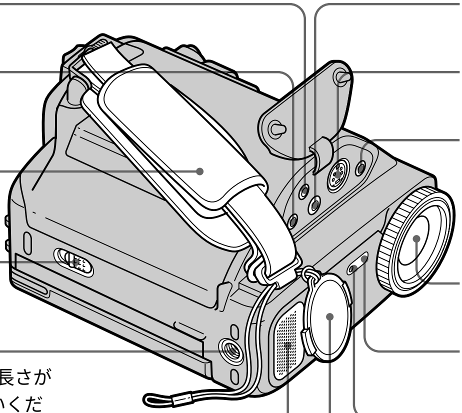
ご注意

- フェライトコアは、できるだけプラグに近い位置に取り付けてください。
- ヘッドホンは、フェライトコアにケーブルを１回巻きつけられる太さのものをお使いください。（目安：外径2.5mm以下）

- **ヘッドホン／外部マイク**
  小さい方のフェライトコアをお使いください。



- **オーディオ用接続ケーブル**
  大きい方のフェライトコアをお使いください。
  フェライトコアを取り付けた側を、本機に接続してください。



REMOTE端子

ヘッドホン 🎧 端子
ヘッドホンを使うときはステレオミニジャックのものをお使いください。

グリップベルト（28ページ）

ディスク取り出しつまみ（22ページ）

アタッチメント用ネジ穴
三脚を使うときは、ネジの長さが7.5mm未満のものをお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。取り付けが安定しない場合は、付属の三脚アタッチメントをお使いください。

映像／音声出力端子（42、120ページ）

S映像出力端子（42、120ページ）

マイク（プラグインパワー）端子（ステレオミニジャック）

レンズ

リモコン受信部

録画ランプ（29ページ）

レンズキャップ

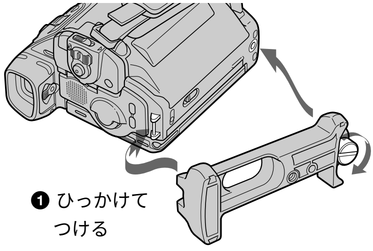
内蔵ステレオマイク

ヘッドホンを使うと
スピーカーから音は出ません。

別売りの外部マイクを使う場合
マイク（プラグインパワー）端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。

REMOTE端子
別売りのリモコン三脚、ビデオフラッシュを使用するときに接続します。
146ページの別売りアクセサリーをお使いになることをおすすめします。

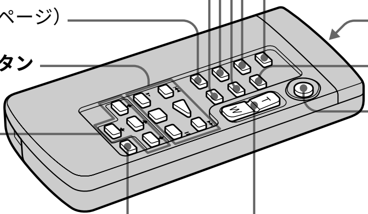
三脚アタッチメントの取り付けかた



ディスクを交換するときは、必ず三脚から本機を取り外してください。
三脚アタッチメントは取り付けたまま、交換できます。

ワイヤレスリモコン

本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。



マークボタン（76ページ）

削除ボタン（34ページ）

画面表示ボタン（41ページ）

インデックス変更ボタン（80ページ）

録音ボタン（43ページ）

メニューボタン（26、114ページ）

リモコン発光部

オーディオ／ビデオ操作ボタン（38、123ページ）

フォトボタン（29ページ）

←/↑/↓/→ボタン
本体のコントロールダイヤルのように、インデックス画面でトラックを選んだり、メニュー項目を選んだり、コマ送りしたりすることができます。

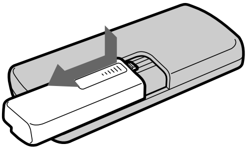
スタート／ストップボタン（29ページ）
撮影スタンバイまたは撮影中に使います。リモコンではスタート／ストップモードを「地面撮り防止」にしての撮影はできません。

決定ボタン
メニューで選んだ項目を決定します。

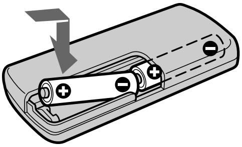
ズームボタン（32ページ）

電池の入れかた

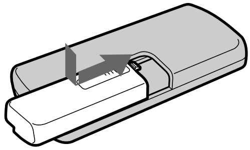
❶ **押しながらずらす。**



❷ **入れる。単3形2本**



❸ **もとに戻す。**

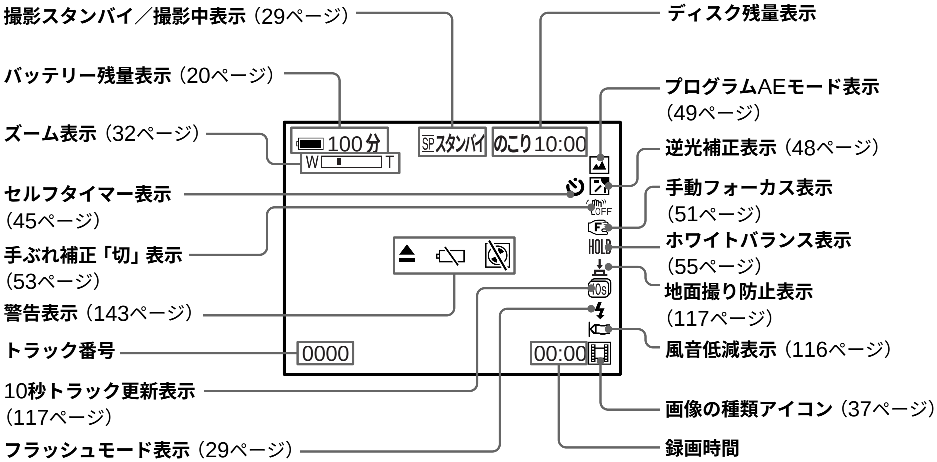


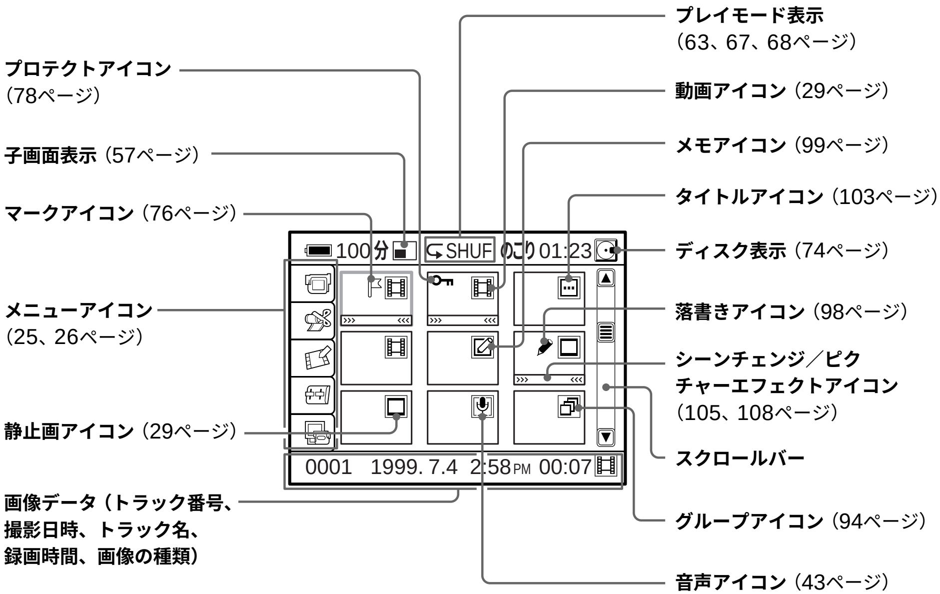
リモコンについて
本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

リモコンとリモコン受光部との間には
障害物がないようにご注意ください。

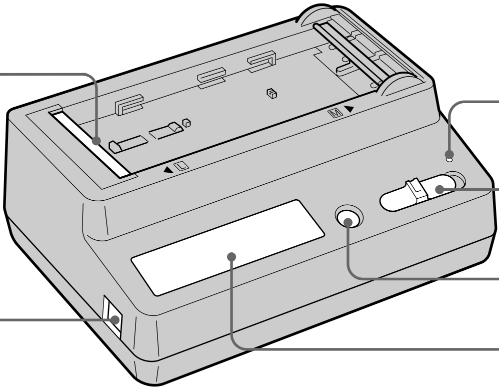
リモコンの操作範囲
リモコンの届く範囲は屋内使用時で約5mです。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。

液晶画面とファインダーの表示





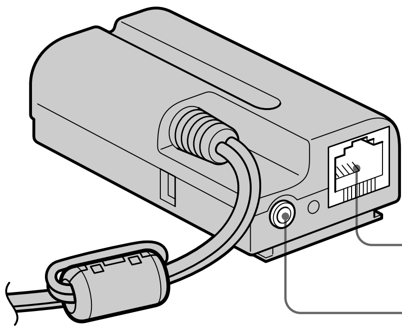
ACアダプター／チャージャー



表示窓の表示



接続コード



検索する

用語解説

ア行

インデックス画面…37**ページ**
トラックの代表画（インデックス）を一度に表示する画面。トラックの検索に便利。

インタビュー撮影…43**ページ**
主に音声を録音し、必要に応じて静止画も録画できる。

オートシャッター…116**ページ**
電子シャッターのシャッタースピードを明るさに応じて変化させ、光量を自動調節する機能。NDフィルターを使わずに明るすぎる場面を撮影したときに生じる光学的なぼけを防ぐのに役立つ。

カ行

逆光補正…48**ページ**
逆光で被写体が暗く映るのを防ぐ機能。本機は明るさをいつも一定の量に保つ働きがある。逆光で撮影するときにもこの一定の「量」を保とうとして、被写体が暗めになる。逆光補正の機能を使うと、この「量」が多くなり被写体を明るめに自動調節する。

サ行

撮影スタンバイ…29**ページ**
「撮影を待機する・準備する」という意味。電源スイッチを「カメラ」にし、撮影一時停止で次の撮影を待機している状態。

シーンチェンジ…105**ページ**
1つのトラックの再生を始めるときや、次のトラックに移行するときに、フェードやワイプなどの演出効果を入れる。

自動ピント合わせ…51**ページ**
横方向に走査する映像信号からピントを検出する機能。そのため、被写体が横じまだけのものや背景とのコントラストの低いものは、自動でピントが合いにくいことがある。

視度調節…31**ページ**
ファインダー内の接眼レンズの位置を動かし、撮る人の視力に合わせて、ファインダーの画像がはっきり見えるように調節すること。

タ行

手ぶれ補正 …53**ページ**
カメラの揺れを感知して、その揺れを補正する機能。手ぶれ補正を使用しても画質や画角、消費電力は変わらない。

ハ行

ピクチャーエフェクト…108**ページ**
画像にモザイクや白黒などのデジタル効果をかけること。効果はトラック単位でかけられる。

プログラムAE（エーイー） …49**ページ**
被写体や撮影状況により適した撮影を可能にする機能。本機には8種類のモードがある。
シャッタースピードやアイリス（絞り）をモードにより自動で調節する。

誤消去防止機能
ディスクまたは各トラックごとに設定することができる。
ディスクをプロテクトする（23ページ）。
トラックごとにプロテクトする（78ページ）。
プロテクトすることにより、録画や編集ができなくなる。

マ行

マーク設定…76ページ
他と区別したい画像にマークをつけられる。再生順で「マーク順」を選ぶと、マークのついた画像を先に再生する。

数字・アルファベット順

9分割画面…60ページ
動画の一部を9枚の連続写真で表示する。1画面で速い動きを確認するのに便利（1トラック内限定）。

ATRAC
Adaptive TRansform Acoustic Codingの略でCDに迫る高音質を実現した音声信号圧縮技術。音楽用ミニディスクに採用されている。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリー…137ページ
”インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリー。本機はインフォリチウムバッテリー対応。
InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略。
通信、放送、蓄積メディア、コンピューターなどの分野で共通に用いられているデジタル動画像符合化圧縮、音響符合化およびその多重・分離方法についての国際標準。本機はMPEG2を採用している。

NTSC方式 …147ページ
日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたディスクやテープは、ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式のビデオでは再生できない。
海外で本機を使うときは、ご注意ください。

S映像端子／S1映像出力端子…42ページ
映像信号を構成する色信号と輝度（白黒）信号を分離して、より鮮明な映像を再現する端子。S1映像信号では、通常のS映像信号にワイドモード自動選択用の信号が加算されている。
（本機はS1映像信号形式ではありません。）

SP/VP/LPモード…32ページ
Standard playing modeとVariable playing modeとLong playing modeの略で、記録レートモードの名称。
SPモードは、高画質だが録画時間は短い。
VPモードは、被写体により使用データ量を調節する。それなりの画質を保ちつつ、SPモードより長く録画できる。LPモードよりは短い。
LPモードは、SPモードに比べて画質はやや低下するが録画時間は2倍になる。

Video MD
MD DATA2ディスクに映像を記録するための方式。映像信号をMPEG2、音声信号をATRAC で符号化する。

主な機能ガイド

明るさが気になるときの機能 [撮影中]

花火大会や夕暮れ、夜景を撮るとき	サンセット＆ムーン	49ページ
逆光（被写体の背後に光源がある）のとき	逆光補正	48ページ
結婚式・舞台など、一部分が明るいとき	スポットライト	49ページ
スキー場、海岸などとても明るいとき	ビーチ＆スキー	49ページ
好みの明るさに固定したいとき	明るさボタン	52ページ

インパクトある画像を作るための機能 [撮影中]

静止画を撮りたい	フォト	29ページ
被写体を引き立てたい	ソフトポートレート	49ページ

さりげなく自然な画像にするための機能 [撮影中]

ズーム時の画質低下を押さえたい	デジタルズーム	32ページ
意図的にピントを合わせたい	手動ピント合わせ	51ページ
遠くの被写体にピントを合わせたい	風景	49ページ
ゴルフスイングなどの速さをとらえたい		
シャッタースピードおまかせ（明るさに応じて1/250～1/3000）	スポーツレッスン	49ページ
シャッタースピード優先（固定）	シャッタースピード500/1000	49ページ

撮影し終わったディスクで行う機能 [再生中・編集中]

撮影した画像に手で書き込みをする	落書き	98ページ
動きの速いシーンをじっくり見る	9分割画面	60ページ
他のシーンと見比べる	子画面表示	57ページ
撮影した画像にデジタル処理する	ピクチャーエフェクト	108ページ
撮影した日時を確認する	トラック情報	75ページ
タイトルを入れる	タイトル機能	103ページ
タイトルの入った場面を探す	ジャンプ	71ページ
動画だけ次々見る	ソート	69ページ
場面転換する	シーンチェンジ	105ページ

索引

検索する

ご案内

ソニーではお客様の技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。
本機をお使いになって不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記まで
お問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：　048-794-5194
受付時間：　月～金曜日　午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日、弊社休日を除く）

MD DISCAM ホームページ
MD DISCAMを楽しく使っていただくための情報や、
最新サポート状況をご案内しています。
このホームページでユーザー登録をしていただくこと
をおすすめします。
● **http://www.sony.co.jp/mddiscam**

Sony online　http://www.world.sony.com/
「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35 | お問い合わせはお客様ご相談センターへ ●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Printed in Japan

この説明書は再生紙を使用しています。